

79. 彼はベサニー大學に在學一年間の間に於てどの級に入れられても常に首席を占めた。けれども教授會は一年しか在學せぬ學生を最高優等の成績を以て卒業せしむるの可否に就て意見が分れた。しかしクラークは遂にその名譽（最高優等）を與へられた。

註 During the year he was in Bethany College に於て year と he との間に when を入れて譯して見るがよい。he led his class 「彼の級を導く」より「彼の級の首席にある」he led all his classes 「どの級に編入せられても必ず首席となつた」。この college では出來さへすればドシドシ上の級へ編入して行くと見える。faculty は集合名詞で「職員」「教授團」to split over..... 「.....の件に關し意見が分れた」。over は「.....の問題に關して」の意があつて。例へば They quarreled over the matter. Let us talk over the matter at our leisure. (孰れゆくり相談しやう) の如し。to be graduated with honors 「優等で卒業する」。honors の複數に注意。次に來る was awarded the honor の honor は the honor of being graduated with honors の略也。

80. 優しい顔容の下には如何なる困難と雖も之をびくとも思はざる一の決心が隠れてゐるのだつた。

註 exterior は「外面」則ち「顔容」。

81. 世界中最高の場所則ちエヴァレスト峯は從來人間が之に達せんとして色々試みたれど皆不可能に終つたのであるが近頃この高峯に登攀せんとする英國人の遠征隊が組織されつゝありとの公表が出たが是れ蓋し未だにエヴァレスト山登攀の念願が放棄せられてゐない證據である。

註 dizzy は「高き所などに登りて眼まひがする様な」。the dizziest spot 「最高頂」。thus far は so far と同じく「是まで

の處で」「今迄の所では」の意。to defy は「不可能ならしむる」「無効ならしむる」の意なり。例 The beauty of the scenery defies description. (風景の絶佳なる 逆も筆舌の能く盡くすところに非ず)。

82. 新しき世界の法規は今や我等の聞聲となつた。中央帝國諸國は舊法規擁護のために起つたのだが聯合國は從來屢戰爭の原因たりし國際關係の状態を一掃せんと決心したのであつた。「戰爭を終息せしむるため戰爭」なる語が口から口へと能辯に繰り返へされて我等の腦裡に深い印象を刻んだ。

註 a new world order 「新しき世界法規」とは「民族自決」とか「民衆政治」とか「公開外交」とかを指してゐるのである。是に反して「舊法規」とは「領土侵略」「少數者壓制」「秘密外交」等を指してゐるのである。stand for 「.....を擁護せんため奮起す」。to make a clean sweep of 「全く一掃する」。Glibly 「滑く」「すらすらと」「口軽るに」。appealed to our imagination 「吾人の幻覺に訴へた」則ち吾人の空想力とか想像力などに深く喰ひ入つて吾人は大に考へさせられたの意。The war to end wars この一句は歐洲大戰爭中聯合國側の凡ゆる人の口によつた標語であつた。

83. 彼は恭々しく彼女に一揖し切手を一枚買入れそして窓口の彼方に座つてゐる若き婦人によく御眠りになつたかと尋ねた。彼女は禮儀に外れない限り最も手短かに受け答へした。

註 made purchase of = purchased. asked her how she had slept 「よく眠まれたかと尋ねた」是は朝の起き立ての挨拶で Have you had a good sleep? How have you slept? など尋ねるのである。compatible 「一致する」「兩立する」だから the utmost briefness compatible with civility

「禮儀に背かぬ範圍内の最も簡潔さ」。

84. 歴史の吾人に與ふる教訓は歴史の教訓を學ばざるにありと聞いてゐる。然るに世界の大統領達や總理大臣達は平然しかも盲目的に彼等の先蹤者の陥つた陥穽に這入り込むのは確實である。歴史を良心の鏡にかけて精讀する時はこの恐るべき古への事例に盲目的に追隨するの傾向を全治せずとも之を減ずるの効があらう。

㊦ *plain pitfalls of their predecessors* 「彼等の先蹤者が陥つた所の誰の眼にも明かな陥穽」。*this tragic blindness to the past* 「過去に對して斯様に盲目的に追隨すること。其がやがて悲劇的結果に了るのであるがその盲目的なこと」。*might mitigate, if not cure,* 「全治はせずとも輕減することが出來やう」。

85. 著作家が建てゝ貰つて最も嬉しいと思ふ記念碑は彼の國人の彼の出版書に對する愛則是である。

㊦ *proud* は「自慢なる」「誇れる」より「……を持つて嬉しい」の意となる。*country* は此處では「國土」ではなく「國民全體」を指す。

86. ウォレン式インディアペーパー。則ち一時の厚さが一千四百二十頁もあるといふ紙の極端なる薄さにも由るのですが昔日部厚くて且不恰好であつた書冊が今では輕くて優美なる冊子として出されるやうになつたしかも比較的に低廉なる値段で賣れるのである。

㊦ *Due in part to* …… 「一部分は……に由りて」だから「……にも由るのであるが」。*sell at relatively low prices* 「比較的低廉なる値段で賣れて行く」。この *sell* は *passive*

sense を帯びてゐる自動詞なので *These goods sell well.* (是等の品はよく賣れる) と同じ *sell* である *price* には、*at* が先立つ。

87. 吾人は合衆國大統領のこの言を聞いて満足の意を表せざる能はずである。蓋し彼の言は過日本誌に掲載の予輩の論説を裏書するものなれば也。

㊦ *cannot but feel satisfied* 「満足せざる能はず」。

88. 如何なる他の二國と雖もこの二國の如く國際的友誼の立派な記録を有してゐるのはなからう。さればこの卓越せる歴史を永遠に繼續することは兩國々民の眞摯なる希望と共に義務たらざるべからず。

㊦ *No two nations can be found with a better record of* …… に於て *negative + comparative* の形だから *superlative* の *scense* を持つてゐる。則ち「この兩國は全世界中孰れの二國よりも國際的友誼の最も立派な記録を持つてゐる」の意味である。

89. 吾人の多數は學校若くは大學に於て各時間の退屈なことゝ愉快なことゝの互ひに入り違ひになつてゐたことを追懷することが出来る。退屈な時間の方が恐らく多くを占めてゐたらうけれども愉快な時間の方の樂は是を償ひ得たのである。此等の樂しき閑話を追想せんことを欲する人はアレシア・チャブリン嬢の近著を一覽せられんことを御勧めする。盡し同書に於て讀者はありし昔の感興の復活せるを感ずるだらう。

㊦ *The alternating dullness and brightness* 「*dullness* と *brightness* とが代り代りに現はれて來ること」「退屈ないやな學科もあれば面白い愉快な學科もあること」。*to make up for* 「償ふ」「埋め合せをなす」。*interludes* は音樂などに

於ける「相の手」なり。嚴肅なる人生に於ける一問話則ち「閑話」と譯した。こゝでは學校時代の逸話を指してゐる。Miss Althea Chaplin's pages に於て pages は book の意。cannot do better than 「……をなすに如くは無し。turn to 「……に向ふ」こゝでは「一覽する」。

90. 辭書を作り上げ且その辭書の一頁一頁を他人に點檢批評せられた人にとりては其辭書が實際以上に尊いものと考へるといふのは免れ難いことである。

㊦ work through 「やり了せる」。been examined on it page after page 字引などを著すと世間の批評家が鵜の眼鷹の眼で何か誤もがなと一頁一頁綿密に點檢するのだがこゝのはその事を言つてゐる。more highly than one ought to think 「彼が考ふべきよりは高く」だから「實際以上に尊いもの」と譯した。

91. 若しも或る讀者にして自分が英語の如き斯様な完全な語學に精通してゐるといふ自信を抱く程立派な英語を話すとは思へぬならば。さういふ人に對してチャブリン嬢は次の慰籍を以て待つてゐる（慰籍を喜んで與へる）其は。我等の所謂文法上の誤謬は歴史的辯明があることである join と line とを押韻せしむるが如き人々でも彼等の背後にホープの權威ある先例を持つてゐるのである。

㊦ to take credit to themselves for…… 「が他に勝つてゐるといふ評判を自己に收むる」則ち「自信を抱く」と譯した是は to give a person credit for (その人の……の點に於て勝つてゐることを認めてやる) と相對してゐる。instrument は「機關」であるがこゝでは language の意。蓋し language は人が思想を交換するの機關だから。magisterial example of Pope ホープは英文學史上の大立物である。ホープすらこれを

使つてゐるといふので權威ある先例となしたのである。magisterial は magistrate 地方長官、判官)より出てゐる。

92. この著者のジョージ・ビユーカナン傳はこの學者(ビユーカナン)の描寫としては比儔なき良書である。

㊦ George Buchanau はスコットランドの學者で且詩人で(1506—1582)スコットランド女王メーリーの傳であつた。stands unrivaled 「比儔なし」。

93. 何等異常なる發見がこの書の中に載つてはゐない。

㊦ signal は「特徴ある」「持筆すべき」。mark these pages—page は無論本で「この本には際立つて珍らしき發見とか發明の記事がある譯では無い」。mark は「特徴附ける」。

94. オリヴァー・オニオンスの如く熟練したる技巧家の筆より成る小説はその題目の如何を問はず常に一讀の價值がある。其故は同氏の作は必ず驚歎すべき興趣津々として。且この人獨特的なる要素を備へてゐるに定まつてゐるから。

㊦ coming from the pen of ……の筆に成る」。accomplished は「多藝多能の」「完成せる」こゝでは「熟練したる」と譯した。craftsman は「技術家」「技巧家」であるがこゝでは「小説家」を指してゐる。idiosyncratic は「特異質の」則ち「この人獨特の發表方の」。

95. 或る秘密の絲の縋れをほどく巧なる技巧の單なる一例としても又絶えず讀者を鋭き不安(結果がどうなるだらうかと早く結果を見たいと待つてゐる間の心持)的態度に保つて行くことの單なる一例としてもオリヴァー・オニオンスの「傍聽禁止」の如きは

「月の石」や「白衣の婦人」などの著者 (Wilkie Collinsの事) に依つて書かれたのだと曰つても肯綮せらるゝが如き立派な作だ。

㊦ **unravel** — **ravel** (纏れさる. 絡ます) の反対語で「解く」「ほぐす」。tie の **untie** に於けるが如し。worthy of the writer of 「.....の著者が書いたといつても決して恥かしからぬ」。

96. よき書翰はよき受取人を要する。誰だつて自分の友人が自分の書いた手紙を同情的の心で読んでくれると倚頼するに非れば落付と安心とを以て自分の心の裡を吐露することが出来るものでない。

㊦ **count upon** 「.....をあてにする」「倚頼する」「當てにして待つ」。

97. ゼームス・デンヴィー博士書いて曰はく「政府自身よりも國民全體の方が戦争のことをより深く心配してゐるといふ感じが廣く漲るに至つた事がアスクイス内閣を顛覆した眞の勢力であつたのだ。どの内閣だつて國民の先導をなす内閣ならば國民の擁護を受くるに相違ないと考へて可也」と。是れ頂門の一針歟。

㊦ **to be concerned about** 「.....を心配する」。

98. 私も貴下の様に. しかし一ケ年間にではないが. ペピスを二回までも通讀した. そして私の識れる書物の中では「興味ある」と言ふ語の嚴正なる意義に於て最も興味ある書と考へる。本書のどこの平方吋を取つたつて興味ない箇所がない. そしてこの書は「オセロ」と同様それ獨特の奇蹟である。

㊦ **twelve months** は一年の意に使ふ。之を一語として **a twelve-month, two twelvemonths** となす場合多し。例 **He has been here a twelvemonth.** (彼は當地に一ケ年もゐた)。in the strict sense of the term, 「この語則ち interesting なる語の嚴正なる意義に於て」。人々は濫りに interesting なる語を使つてゐるが余が今 interesting なる語を使用するのは眞正の意義のために使ふのである。a miracle in his way 「それ獨特の奇蹟」とは「他の追隨を許さぬ」。

99. ホイツテン氏は倫敦兒でないけれども氏の過去の倫敦に關する智識は頗る該博である。

㊦ **a Londoner born** 「生れつきの倫敦兒」。a London that is past 「過去の倫敦」。この不定冠詞に注意せよ。London は固有名詞であるから不定冠詞を要する筈に無いが、往昔から今まで否未來永遠まで存在する London を特に或過去なり未來なり一時期に劃つて之を考へる時 a London that と書く。斯ふいふ風に固有名詞に不定冠詞を使用すること屢ある。

100. 察する所この老客齋家の富に對して我こそは遺産相續人なんめりと自ら豫期してゐた連中は尠くはなかつたらしい。何となればスミスは各一千磅だけは約束して貰つてあつたと——是はスミスの話だが——言つてゐる約九十人の人の名前を列擧して印刷してゐる。しかも實際の遺言狀を開いて見るとその九十人の中の殆んど誰も名前すら出てゐなかつた。

㊦ **to look upon as** 「.....なりと考へる」 regard as に均しい。prospective legatee 「豫想の遺産相續人」則ちあの人死んだら屹度遺産相續人になれるといふ將來の見込のある人である。legatee は legacy (遺産) から來た語であるが動詞及動詞類語の語尾に en が附せらるゝと「働を受ける人或は物」の

意となる場合多し下に數例を擧げて見ると

employ employee (被雇人)

pay payee (支拂を受くる人)

draw drawee (手形の宛名人)

address addressee (手紙の宛名人)

lease lessee (借地人・借家人)

vend vendee (買主)

commit committee (委員・委任を受けた人の意より
出づ)

101. 彼の作品ピット像はケンブリッジ大學の買上げる所となつた。彼は是で四千磅の大金の支拂をうけた。

註 subscribed for 「豫約申込をなす」茲では「豫約して買上げられた」の意。

102. 有名なるベルアン研究所は最近郵便通信により全然新しく且最も趣味ある方法にて語學教授の特別部を開設した。

註 through the post=by correspondence. 通信教授のこと。

103. 斯く世間の評判高くなつたのは全く理由があるのである。何となれば何人もこの新しき課程は以前のに比べて非常な進歩であるといふことに意見が一致してゐるからである。

註 to be justified 「その正當なることを證明せらる」則ち「これには 正當の理由があるのである」。improvement upon the old one 「前の分よりは進歩してゐる」。to improve と動詞にしても「……よりは進歩した」といふ場合には on を要する。

104. この愉快な運動の後で私は身體が引締つた様に感じ次の一週の勤勞の準備が出来たやうに感じそし

て私は私の全能力を揮ひ得ることを確信するのである。

註 to brace は「引締める」。to brace oneself up は「元氣をつける」。秋の暮りたりの冷空気を bracing air といふ。braces (名詞) は「づぼんつり」。

106. 人の外にあらはるる行動を支配するものは思想であるがこの思想といふ複雑なものを吾人が観ることが出来るならば凡ての現在生存してゐる男若くは女の個性は恐らく興味深きものであらうがこの個性なるものを書き物にして發表することは極めて難事であるそして例へば日記類の如き形式で熟慮して認められたる時は (飾つて書くから) 兎角失望させ易い (感服しない)。蓋し、成程我等は戸を閉めマツチを磨り遊戯をやるが如き簡単な行動をなすにも何かの方法で自己の箇性を裏切らずしては出来ないとは雖も我等は文字で以て明かに自己の眞の「吾」を表はしその「吾」の世間に關する思想を發表する究極の自白並に自己裏切をなすことを逡巡する。是れ世に偉大なる日記者の尠き所以であつて又一切虚飾に掩はれずして彼の心を内的に觀察した我等に與へたペビスが今日猶我等を喜ばしむる所以である。

註 could we perceive は if we could perceive の意。when done deliberately は when one's personality is deliberately expressed in writing のつもりである。「日誌とか日記とかの形式で念入りに書いたものを世間に發表されると一向感服出来ぬものが多い」。といふのは虚飾が加はるからである。we may not shut a door, or strike a match, or

play a game, without betraying our personality in some way or another 「何か、かかの方法で吾人の個性を裏切ることなしには戸を開いたりマツチを磨つたり一遊戯をしたりすることが出来ぬ」則ち「どんな簡単な仕事をなしても必ず個性が現はるゝものだ」。論語に「其の以てする所を視、其の由る所を觀、其の安んずる所を祭すれば、人焉んぞ瘦（かく）さんや。人焉んぞ瘦さんや」とあるが其と全然同義。in black and white 「書き物として」則ち口頭ではなしに書面に認めて。Pepys は Samuel Pepys と言ひ 1633—1703 の人英國海軍卿となりしことのある人有名なる日記者で己の時代のことを巨細に速記式暗號で日記的に認めて殘しておいたのを the Rev. J. Smith なる人がその暗號を解いて出版した(1825年)之に由つてチャールズ二世の時代の英國朝廷の内情などが非常によく覗かれるのである。an inside view of his mind 「彼の心を内部から見た光景」。「自己より見たる自己」。

106. 彼の意力の大きかつたこと驚くべき計りである。他の者なら多くは降参して病人の境遇を甘受すべき處を彼は自分の病氣と闘ひそして能ふ限り最後の一時間に至るまで勤め働いた。一度劇烈なる病苦の後で彼は曰つた。「私は負けない積りです。よしやお醫者の書籍の索引に列記してあるあらゆる病氣の徴候を出すに至るとも」。

㊦ give in 「降服する」。
accept the rôle of 「位置を甘受する」。rôle は演劇に於て各俳優の役割を言ふ。to the last possible hour 「是がもう最後のギリギリの時間だといふ時間までも」。attack は「病氣の一としきりの苦惱」。develop は病氣の徴候が色々と變化して行くその進展するを言ふ。

107. 彼は自己に鞭打ちて驚くべき許り多く神經的精

力を費して働いた。恐らく彼の如く半死の人にしてこれ以上活力ありし人は未だ世になからう。

㊦ spurred himself on 「馬に拍車を當てゝ急がせるが如く自己を鼓舞して……せしめた」。on appalling expenditure of nervous energy 「神經的精力の驚くべき消耗」とは非常に神經を使ふこと。Surely there never was a half-dead man more alive 「彼は半分棺桶に足を突込んでゐる様な病弱な人間の癖に活力の強きこと如何なる強健者も之に及ばぬ」といふやうな意。

108. ダンロップ教授は哲學と科學の二つながらに精通するといふ稀有の名譽の士である。

㊦ at home in 「精通してゐる」。

109. トッドハンター博士曰く。この論文は演壇上の演説の如く雄辯であつてはならぬ。其は詩歌の如く個性の囁きでなくてはならぬ——その囁が他人に立聽かれたかのやうな。

㊦ 109. rostrum 「演壇」。as from the rostrum 「演壇よりの如く」とは「演壇から來る演説の如くに」である。

110. 本書は戦争で失明せし兵士救恤のために出版せられたのであるとしてこの書に對する需要は最も多額に見積つた豫想を既に突破してゐる。

㊦ in aid of 「救ふがために」。exceeds the most sanguine expectations 「最も多血の豫期。則ち最も希望に満ちたる豫想最も多く見積つた豫想をも超過してゐる」。

111. 毎年フースフーは其前年度の分より少量づゝ大きくなつてゆくそして吾人に著名の士の出生率は盛に増しつゝあるに相違ないといふ嬉しき保證を與へる。そして讀者にして公平な心でこの書をすつと

一渡り見通すならば敬服すべきことにフースフーは世の中のあらゆる方面の著名の男女にその門戸を開放し（著名の人ならば無差別に掲載する）てあらゆる種類の専門家實業家の緊要なる参考書となるのである。

㊦ a celebrity = a well-know person, to be on the increase 「殖ゑて行く」。之の反対は to be on the wane, rightly 「正しく」 open its door to..... するのは正しいことであるの意。それで「敬服すべきことに」と譯した。walk of life = calling, profession, in every walk of life 「人生のあらゆる方面の」。professional men 「辯護士とか醫師とか教師とかその他専門の學術藝能で以て生活する人」。之の反対の語は business men である。

112. ゼー・ストーラー、クラウストン氏が「檻を抜け出した狂人」なる小説を以て社會に現はれ讀書子を熱狂せしめてから最早や參十年である。

㊦ dawned upon 「太陽が東の空にほのぼのと現はれて世界を照らし初むる」より轉じて「出現する」「認めらるゝに至る」の義となる。delighted world は最初から喜んでゐる社會ではなくして彼が社會に現はれたので喜んだの意。斯くの如く結果を表はす形容詞が最初から存在してゐるかの如き位置におかれたる場合が頗る多い。at large = at liberty, free 「監禁の場所から逃亡して未だに捕まらぬ」。at large には又 He is popular with the people at large. (彼は一般の世人に信望がある) の如く in general の意もある。

113. 彼（フィリップ・ギツブ）の外貌がデーヴィド・コッパフィールドに似てゐることは無論だが其に劣らず彼の性格がデーヴィド・コッパフィールドに酷似してゐる——彼の眞面目な素朴さに於て、彼

の控目に出す諧謔に於て、彼の感情の深刻なる點に於て、彼の廣き同情に於て、彼の萬事萬物に對する犀利なる觀察の興味に於て、就中人情の觀察に於てそれから之に加ふるに、彼の文學的經歷並に雜誌記者としての經歷がある。

㊦ There is a great deal of David Cpperfield in his character 「彼の性格にはデーヴィド・コッパフィールドに酷似したところがある」。この a great deal of は There is something of a poet about him の something of と同じ使方である。into the bargain 「お買けに」「加之」。

114. ボルトンは穴みたいな淋しい場所であるそしてフィリップ・ギツブと彼の若き妻——彼の妻それは彼の十臺の時に結婚した妻——とは再び倫敦の空を憧れた。

㊦ ボルトンは英國ランカシア州の一小邑である。in his teens 「彼の十臺の時に」。十三歳より十九歳までの數字は teen といふ語尾を持つてゐる故に十臺のことを teens といふ。二十臺は twenties, 三十臺は thirties, 以下かういふ風に言ふ。long for 「憧憬する」。倫敦に歸りたく思ふ。

115. 彼がそれらの永い恐ろしき年月の間如何に立派に身を處して行つたかは茲に細説の要がない。

㊦ acquit は acquit oneself well, acquit oneself of a duty の如き phrases として使はれるので「己の身を巧みに處する」「自分の職分を盡す」の意。needs no recounting 「細説の要なし」。

116. 予想ふに彼のペンと彼の書物とを以て靜かな田園生活を送るといふことは今でも彼が眞に憧がれてゐる所らしい。

㊦ **yearn for=long for.**

117. この有名なる定期刊行物の剛膽にして俊秀なりし創立者の価値ある後継者とならんがためには大に腹帯を締めて活動の用意をせねばならぬ。

㊦ **gird up his loins**「腹帯を締めて大に覚悟を極める」「難局に向ふ準備をする」。**to follow in the footsteps of**「……の先蹤を追ふ」「……の跡繼をする」。

118. 批評は創作と殆んど變らぬ位六ツケしいそして美の鑑識に王道がない(美の鑑識眼を養成するの早道はない)。

㊦ **There is no royal road to**……「……に達するの早道無し」。之は **There is no royal road to learning.** (學問に王道無し。則帝王だからといつて學問を早くらくに覚えらるゝの途がない。貧者と同じやうにコツコツと修學せればならぬ帝王が旅行でもする時はやれ道普請、やれ道清め、やれ護衛兵とあらゆる方法を以て其旅行を安樂ならしむるやうに出来るけれども學問計りはさうは行かぬ) という諺から轉化した形。**the beautiful** はこゝでは **beauty** の意。

119. 戦争が始まつた時フレッチャーは直ちに詩人として彼の奮起すべき機會ござんなれと思つた。

㊦ **an occasion to which he must rise**「彼の奮起すべき機會」(55) 参照。

120. 君は自己の仕事は打捨ておいて他人の爲めに働いてやるなどは以ての外の話である。

㊦ **to be behind with**「……を處理するこゝが後れてゐる」。

121. ストーム、ゼームソン嬢は近頃興味深く刺撃多き一書を著した。あなたはその書と意見が合はず

とも少くとも面白く讀まるゝであらうそして恐らくこの書の與ふる主義綱領から劇場に對するあなたの趣味が新たにそゝらるゝだらう。

㊦ **an arresting volume**「人を捕へる書物」則ち「興味深くして手放し難い本」。**take fire** は **catch fire** と同義で「火が附く」「燃ゆる」より「甦る」「復活する」。其で意譯して「新たにそゝらるゝ」とした。

122. 一般に認められてゐる道德の價値を攻撃するに方りてニーチエは藝術家にとりて至高に重要な一真理の記憶を世人に促した。彼曰はく人生に於ては人が生命よりも尙多く愛する物がある。其は自己を超越して自己よりも美はしきものに達せんとする力である。

㊦ **reminded the world of a truth**「社會をして一真理と想ひ出さしめた」。**remind** は **remind a person of something** という形で使はるゝ。

123. この書は精神深養精神更新の書である。成程其は吾人を空想てふ奇しき翼に乗せて飛翔したり奇異の物語を傳へたり若しくは深淵なる哲學を説いたりなんぞはしてゐぬ。が、この詩人が寺院の玄關に佇みて吟唱する場合も、潮満ち寄するテームス河畔の荷揚場にほのかに明け行く冬の曉を歌ふ場合も彼の詩は必ず吾人に吾人が人生の表皮を打破つて人生の奥底に横はる秘密と親炙する稀なる場合に見、感じ而して祈願する色々の事柄を想ひ起さしむるものである彼は吾人に

「草の光り、花の榮えの時」

を呼び歸してくれるのであるそして現今の如く暗黒の時代。醒めたる時代に於ては。如何なる書でもこれだけの事をしてくれるものならば吾人は深く感謝して然るべきである。

④ **flight** は「飛翔」の意より轉じて比喩的に人の頭腦の働が空高く鳥の翔けるが如く自由奔放に翔り舞ひ上がると言ふのだ **The flights of genius**. (天才の高翔。則ち何人にも思ひも及ばぬ考へ方), **a flight of fancy** (空想から思ひ到つた事柄) などの如し。此處で **carries us on no strange flights of imagination** 「この作者は別に天才肌がないから怪異な空想の高翔に吾人を乗せて運び去りばせぬ」則ち「空想が産んだ珍らしい思想を吾人に與へばせぬ」の意。 **propound** 「提議する」「提出する」より「説く(道々)」となる。 **whether the poet muses in.....while the tide comes flooding up** これはこの作者の詩にかうした場面があると見え。 **porch** は西洋建築物に於て馬車や自動車などがそのきはまで乗りつけられる四本柱のある廊下風になつた大玄関である。 **he recalls for us.....** 「彼は吾人に代つて思ひ起してくれる」則ち「吾人に想ひ起さしむる」。 **break through the outer crust of life** 「人生の表皮を突き破つて中に這入る」則ち「人生の真相を究めんとする」。 **come into communion with** 「.....と交通する」より「親炙する」と譯した。 **Secret at its heart** 「人生の奥底に横はる祕密」。 **"the hour of splendor in the grass, of glory in the flower"** は有名なるウオーゾースの詩 **Intimations of Immortality from Recollections of Early Childhood** (幼き頃を追懐して靈魂不滅を知らしむるの歌) 中の文句で「幼き時には野邊に生へてゐる草や道端に咲く名もなき花にも一つの榮光を見出で無限の感興を起こしたものださういふ時を再び呼び戻すことが出来ない」と本文に出てゐるのを引用したのである。 **in the days of darkness and disillusionment** 「暗黒の時代」と

いふのは「思想界渾沌せる時代」の意。 **disillusionment** は **illusion** 「幻覺の醒める事」 **disillusionment** の時代とは空想とか想像とかいふ氣分が去つて仕舞つて只らう實利實益にのみ走る時代の意。 **we cannot be too grateful** 「如何に感謝しても感謝し盡くせぬ」 **cannot.....too** の形式注意。

124. 出版人までがビーアボーム (ムマツクスビーアボーム) 氏のことを「真似の出来ないマツクス」と禪名で呼ぶやうになつて見ると最早やこの妙に平凡になつてしまつた禪名は廢してもよい頃であらう批評家も彼を左様呼ぶことをもうやめたがよからう。所謂批評を筆にする人々にはこの禪名はよく文意を助くる物と考へた。シルヴェスター、スヌツクス氏を「チーフサイドの聖者」と呼ぶことは動き濫ぶるペンには愉快なる助け舟となつたそして吾人は——他人はいさ知らず少くとも余は——ビーアボーム氏を上記の如く禪名することは頗る愉快なることと思つた。けれどもこの遣り口は少し度を越し過ぎた。この鸚鵡返しの無意義の禪名呼びは廢棄すべし。殊にこの禪名のつけられてゐる御本人が衷心それを厭がつてゐるのであるから。

④ **now that.....** 「今や.....であるから」或は「もう.....となつたからには」。 **it is time (that).....** 「最早.....すべき時である」。 **it is high time** とすることもある。 **hackneyed** 「使ひ古された」「珍らしくなくなつた」。 **We who pen what we call criticisms** 「吾人が呼んで以て批評となす所のものを筆にする我等」則ち「我々批評家」の意。 **pen** は此處では動詞。 **truce** は「休戦」 **armistice** と違つて **battle** 中に降服その他の申入をなすために暫時戦を休むること。 **A truce to this par-**

rotting は缺文で There must be a truce to this parroting とあるべきところだ。epithet は「甘くあてはまる名前」「釋名」be sick of it「厭になる」。

125. 當代の世人の愚、奢侈、虐榮を巧に指彈する彼のわざとらしからぬ諷刺的なユーモアは實に貴重なる財産であつて無視すること能はざるものである。

㊦ unforced 「強いて出されたのでなく 自然的に出た」。humor は「滑稽」「諧謔」であるけれども 又 或人の滑稽的諧謔的情調を指すことがある。茲のは其れで通例 ユーモアと音の儘譯してゐる。times は「時代」「時世」。bad times (不景氣) good times (好景氣) と times の複數なるに注意。asset は通例 assets と複數に使用し財産の意である。asset と特に單數にする時は財産を構成する一項目の意となる。assets and liabilities (資産負債對照表)。too valuable to be ignored 「餘りに貴重にして之を無視することが出来ぬ」。

126. 當今日刊新聞には研究的態度を以てなしたる新刊書籍の批評を掲載すること追々減じ行く傾向があるしかも當今程批評の必要なる時は未だ嘗てなかつた。

㊦ space is being given「掲載の場所が與へられる」。reasoned criticism 「無茶な批評でなく研究考察を加へた批評」。never was criticism more needed 「今日以上に新刊書籍の眞面目なる批評の要せられたること無し」。

127. この物語の梗概を述べんと企てることは話の實質に不利を與へることとなるだらう——この話の驚歎すべき妙所はその叙述に存するのだ。

㊦ summary 「概略を撮むこと」。do it an injustice は do it justice (公平に取扱ふ其に對して公正なる處置をなす) の反對で「其に對して不公正な處置をなす」則ち「折角の眞實を没

して仕舞ふ」。

128. 同氏が今回著された書は頗る面白い本である。そして小生一箇の考へではあの二倍位長い作だとよいにと思つた。

㊦ I for one 「他人はざい知らず 概者一箇としては」。wished it twice as long as it is 「之を讀んだ時私はこの本がこの二倍の内容があつたら申分ないがと思つた」。twice as.....as..... 「.....の二倍の.....」。

129. 彼が小説に手を染めやうと決心したのは彼が辯護士試験を受ける準備のため勉強してゐた時の事だ。

㊦ bar は裁判所の被告の立つ横棒の意より進んで「裁判所」となり「辯護士の職」となつた。辯護士のことを barrister と曰ふのもこの語から出てゐる。studying for the Bar 「辯護士試験受験のため研究中」の意。to try one's hand at..... 「.....を試みる」。

130. 彼は随分旅行した男だそして現在も猶旅行家たるを失はぬ。澤山の大旅行の中で世界一周を二回までやつてゐる。

㊦ He is a great traveller 「随分旅行をする人である」。こゝで he has always been, and remains, a great traveller. こゝの a great traveller は has always been にも remains にも係るので「過去に於て 中々旅行をやり通しにしてゐた男だが今日でも依然として旅行ばかりしてゐる」。expedition は「遠征」だから「大旅行」と譯しておいた。

131. 文學的趣味はあまりに多種多様に變動多き性質のものであるから逆も單數で描寫することが出来ぬ(文學的趣味は十人十色で 各人盡く銘々の好き不好

きがあるから單に literary taste といふけれども逆も單數で描寫は出來ぬ複數則ち literary tastes としなくてはならぬと洒落て言つたのだ)。けれども吾人の多數は甘く書かれたる探偵小説ならばいつでも面白く讀めるといふ意見に於て一致してゐる。有名なる且つ學殖ある批評家が嘗て當今の世の中では探偵小説は彼が眞に愛讀する唯一種類の小説であると公言したことがある。

㊦ variable 「(人によつて) 變じ易き、色々に変る」。much too variable に於て much は too を modify してゐる。只 too variable よりは非常に意味が強い。unite in confessing 「……を告白することに於て一致してゐる」則ち「意見が合致してゐる」。

132. 彼は言ふべき材料を持つてゐる。そして人が聲高く熱心に且つ説破せんずる勢ひで己の言ふべき事柄を言ふ場合には群集は之に傾聽するものである。一度群集が彼の是非とも「皆様の御清聽を煩はさ」ねば措かぬの熱心に絆されて耳を傾けて來るともう今度は彼としてその聽衆を引張つて行きさへすればよいのだそしてジョン・コーノス氏は各種の方法でこの筆法を採つてゐる。

㊦ He has something to say 「彼は言ふべきあるものを持つてゐる」則ち他人の學問や學說を鸚鵡返式的に繰り返す輩とは違つて獨特の一家の所見を持つてゐるの意。says his say などの say は noun で「彼の言ひたいこと」。是の類句を擧げると

Say your say. 「何でも言ひたいことがあつたらお言ひ」。

Let him have his say. 「彼にも發言の機を與へてやれ」。

Once they have yielded to……これは adverbial clause で「一旦彼等が彼の……に絆されて、彼の願を聞き入れた以上は」の意。Now that……と同等形式である。

133. 今日の(劇場の)舞臺では平氣を装ふといふ態度は卷煙艸若くは煙管の助がなければ殆んど表はすことが出來ない。この點に於てセークスピアは一つの仕草を缺いてゐたわけである。といふのは沙翁劇のどの部分にも彼は煙艸とか喫煙とかいふ語を全然噤もしてをらぬから。

㊦ nonchalance の形容詞の形は nonchalant 副詞は nonchalantly であるが「平氣の平左」「落付き拂ひ」の意である。get it exprest (expressed) 「外觀に表はす」。trick は「わざ」「藝」「仕草」。missed a trick セークスピアは世界の最大劇作家で隨分各種の劇の上の tricks を書いてあるけれどもこの喫煙のしぐさだけは知らなかつたのは惜しい話であるの意。nowhere does he so much as mention……「……を噤することすらしてゐない」。沙翁劇中のどの登場人物も煙草を口にして出てくるのは一人もないのみならず煙草のことを登場人物が噤したり語つたりする場面すらない。

134. 沙翁劇の人物の中には煙管を啣へて煙草をスパリスバリと燻らしてたらズーツと引立つがなあと思はれる人物が大分ある。

㊦ would be all the better for 「……があつたらすつとよくなるとの意」。この all は「凡ての」の意ではなく adverb で wholly, quite の意である。かういふ意味の all の類句は all the same, all at once, all too soon の如きもの。

135. チェスタートン氏はオクラホマ市に於て講演を始むるに方り斯う斷言した「私は講演が出來ない癖に講演をするといふさういふ變つた英人の一人であ

ります」と。彼の一時間の講演の終に於て聴衆の大部分は彼の意見に一致した（則ち彼の講演は失敗であつた）。

註 Chesterlon は Gilbert Keith Chesterton (born 1874) といつて英國の現存の文豪である。the majority of his audience agreed with him 「聴衆の多數は彼と同意見だつた（彼が最初余は講演なんぞ出来る人間ぢやないと前置きしたがその前置の彼の言に同意した。則ち Chesterton は講演が下手であると断定した）。

136. 山岳鳴動して鼠一匹を出だす。

註 我國にも「大山鳴動鼠一匹」の言ひ草があるが是が丁度その直譯とも言ひたい位甘く合つた言ひ方である。labor は「苦む」「憫む」の義がある。「山が苦み憫む」といふのが「山丘鳴り騒ぐ」と解して可なり。

137. オーストラリアとニュージーランドとは大洋洲の委任統治權の協定に關して英本國並に日本に對し利害の衝突を見るに至れり。

註 at odds with 「意見が異なる」「利害が衝突する」mandate は歐洲戰爭の結果として大に使はるゝに至つた語で「委任統治」若くは「委任統治權」より「委任統治する土地」の意ともなる。例 Islands north of the equator are Japanese mandate. 委任を受けて統治をする國を mandatory といふ。

138. ニュージーランドは初め大英國が流刑殖民地として開きたる土地であるが近年に至り全世界中最も注意深く最も完全に統治せられてゐる屬領の一なりとの評判を獲るに至つた。この改悛した前科者の殖民地でかういふ法律が通過した。そして本年（一千

九百二十一年) 五月一日實施せられるのだ。「窃盜・強盜・殺人若くは自殺等を描寫せる活動寫眞は本領土に於て一般に觀覽せしむることを許さず」。

註 territory も dominion も共に「領土」であるが英國に於てはカナダ・南阿・濠洲・ニュージーランド等を British Dominions beyond the seas と呼んでゐる。penal colony 「重罪囚を流謫する殖民地」。reformed 「改悛せる」。嘗ては殺人・強盜等の大罪人の住み場であつたニュージーランドに於て殺人強盜等の光景を示す活動寫眞を嚴禁するの法令が出るとは何たる時代の進歩よとの意味があるのである。

139. 炭田に於ける罷業の目的は政府を威嚇して石炭業に補助金を下附せしめ石炭業に偽似性の國有業の形式を附與しやうと企てゝをるに外ならぬのだ。しかしこんなことをすると産業上の凡ての刺戟を失ふこかたになつて仕舞ふだらう。

註 intimidate into—ing 「威嚇して.....せしむ」。coal trade 「石炭業」より「石炭業者全體」の意となる。bastard は「私生の」「庶出の」より「偽似の」の意となる。which would kill all incentive in industry 「産業上の凡ての刺戟をなくして仕舞ふ」といふのは凡て民業を官業に移すといふことは産業發達の刺戟を失ふ結果となるの意。

140. 到る處の國々に於て世人は大戦以來資本家と労働者は互に味方となつて仕舞つて。そして現在勞資兩者間の主なる論争點は如何にして出來得る限りの最大の利益を公衆より絞取りらうかといふにありといふ事實を發見しつゝあり。吾人の信ずる所によれば現在の産業上の問題は事實上資本對労働の問題たることが熄んで之に代つて製造家對消費家の問題と

なつたのである。

㊦ capital and labor 「資本と労働」「資本家と労働者」 wring something from a person 「絞り取る」「厭がるのを無理に出させる」。versus は Latin 語で toward, against の意「……對……」の「對」に使ふ。

141. 商況不振益々其度を加へ生活費着々向下するといふ現在の場合に於ては物價昂騰、事業救興の時期に制定せられた高率賃金に減額をなすことは止むを得ざることと思ふ。

㊦ With the trade slump intensifying の構造 則ち with + noun + present participle の形は屢出て来る形だから注意を要する。booming trade 「俄に景氣よくなれる商業」 boom を名詞にすると「俄景氣」。

142. 前のカイゼルが再びもとの王權を恢復したいとの希望を如何ばかり強く抱いてゐたかも知れないが其希望は恐らくチャールス前ハンガリア王が舊王位を恢復しやうとして如何に慘敗せしかを見ては粉微塵に挫かれたに相違ないと言ふ者がある。

㊦ Whatever hopes the former Kaiser may have had of ……「前のカイゼルが……したいといふ如何ばかり強い念願を抱いてゐたかもしれないがその念願は」。to blast は霜とか火山の灰などが草木を「萎靡する」「枯死せしむる」の意より希望、名譽などを「失墜する」「挫く」等の意となる。Charles はハンガリアの廢王であるが過般竊かに自國に歸つて民心未だ王政を慕つてゐるかと思つてみたところ 誰一人として再び彼の王位に復することを冀ふものがないので惨めな結果を以て再び國外に連れ出たといふ話がある。それを指してゐるのだ。

143. 音楽と葉巻とはアインスタイン教授の唯一の娛

樂である。同教授の日日吸ふ葉巻の數量は彼の健康を慮つて教授夫人が制限を與へてをるが彼がピアノ若くはヴァイオリンのために費やす時間の總量に對しては制限の施しやうが無い。因にアインスタイン氏はピアノ、ヴァイオリン二つながら巧みに奏する由。

㊦ relaxation 此處では recreation に同じ。「娛樂」。the amount of time he chooses to spend at the piano or with his violin に於て piano の前には at があり violin の前に with があるに注意すべし。

144. 彼が發受する書信は随分多量である。一日平均六十通の書狀が彼の所へ配達せられる。

㊦ to have a large correspondence 「いつも澤山手紙を受取る」。on an average 「平均に」。

145. 彼の近邊の百姓連は毎年年末に於てその前の年よりは懷中具合が一向よくもなつてゐるぬ（寧ろだんだんわるくなつて行く）始末なので命を縮める位過勞をしてゐる。

㊦ working themselves into premature graves 「早過ぎの墓場に彼等自身を働かす」とは「餘り過度に働いて夭折を招く」。with the close of each year …… no better off financially. 「各年年末は彼等を財政的にその前の年より豊かなりとは見出さぬ」とは「毎年、毎年年末になつて懷中具合がその前年に比べてよくなつてゐらぬ有様」。year とか day とかいふやうな語が find や see の subject となること屢あり。例 The year of the Restoration saw him enter Cambridge, where the teaching of Isaac Barrow quickened his genius for mathematics. 「王政復古の年（1660年）に彼はケンブリッジ大學に入學した。其處でアイザック・バローの教を受けて

彼の数学の天才が更に磨かれた」。better off は well off (豊かなる、内福なる)の比較級。well off の反対は badly off (貧しき、内輪の苦しき、困窮してゐる)。

146. 農夫が己の生産品を賣つて得る金額とその生産品が彼の手を離れたる後賣れ行く値段との間の不公平なる値鞘に農務卿が眼をつけたのである。小麦六十八仙がとこで出来てゐる麩麵が三弗九十一仙で賣れ、羊毛の製絲が一ポンド = 付四弗六十仙を呼んでゐるのに原毛僅かに一ポンドに付十五仙也といふ事實を見ては農務卿としてこの大いなる値開きを均衡せしめるために政府の爲すべきこと多いと感ずるのが蓋し當然であらう。

註 difference in price 「値鞘」。what those products sell for 「その生産品が賣れ行く値段」。この sell は自動詞で「賣れて行く」の意。

147. 殆んど何處の家にでも家長の専用の室があるものだ。つまり家長が其處でどつしりと落付き其處で自己の娛樂を追ふといふ習慣になつてをる専用室があるのが通例である。

註 sacred は「神聖なる」の義より reserved or appropriated to some person or purpose の義となり「其人若くは其目的以外には何人にも入ることを許さぬ」の義。書齋のことを sanctum sanctorum (holiest of holy places) といふもこの sacred の使ひ方と同じ行き方だ。

148. この徐行列車から百碼も隔つてゐるところに稀有の光景があつた。一匹の牝麒麟がその仔を庇ふやうにして立ちながらその麒麟の仔を捕へやうと機會を狙つて脅迫的の態度を以て地上に蹲くまつてをる

一匹の牝獅子に向つて不恰好に前の方へ蹴りつけてゐたのである。所が牝獅子は中々素速いので牝麒麟の蹄に引つ掛けられる虞はなかつたが可愛さうに仔麒麟を保護せんがための足蹴が時折仔麒麟自身に中るのでした。

註 the sight of a life-time 「一生涯の光景」則ち「一生涯の中で二度と見られぬ實に稀有の觀物」。to wait (待つ) は元來自動詞に使用して wait for 若くは till と結ばれるのであるが object に時を表はす語の來るときの次の phrase の如き場合とに於ては他動詞 (await) として用ひられる。

He is waiting his opportunity.

You must wait my convenience.

I am only waiting the signal.

the blows meant for its protection 「それを保護せんがための打ち方」。

149. 大ざつぱに申しますと南方で所謂ビーオネツヂと申しますのは白人がどんな方法でも自由意志で奴隸的境遇に入ることを甘んずる黒人を使役してゐる状態を網羅するのである。

註 peonage これは亞米利加では疾うの昔奴隸が廢止になつたけれども今日でも黒人が納得づくで或年期間奴隸生活に入る場合(殊に借金をして返済できぬ場合)を peonage と呼ぶのである。

as it is known 「かうした名で知られてゐる所の」。in the South かく South と capital letter で始めてゐると北米衆衆國の南方を指す。

150. アトランタ雑誌の用語を借りて申せばジョルヂア州ジャスパー郡の農村に於ける十一人の黒人殺害の犯人は財産位地。若くは人種に論なく假借なく所

刑せらるべきである。又同誌の同業者コンスタチューションは之に讚して曰く「今や裁判所として本問題を根底までも穿鑿し確實に誰にその罪があるかを究めるべき時である」と。

註 In the words of 「……の語を其儘流用して申せば」。perpetrator 「犯行者」「下手人」 perpetrator or perpetrators としてあるのはこの殺犯人の下手人が一人であるか或は二人以上共犯であるか分らぬからかうしたのである。to sift は篩で篩ひ分けるの義であるがこゝで詳しく穿鑿するの意である。where the guilt lies 「罪が誰にあるか」。

151. 又別の新聞は斯う言つてをる「この戦慄すべき虐殺は他地方の人たると當地方（南方）の人たるとを問はず何人にも見るに忍びぬ事件でこの残忍無道の行爲を犯した者共は一刻も早く其生命を以てこの罪を謝せしむべし」と希望してゐる。

註 shambles 「屠獸場」「虐殺の場」「虐殺」常に複数形で使ふ、これに續く動詞は場合 場合により單複何れともなる。この場合では單數となつてゐる (means や news と同じやうな形だ) revolting 「むかつく」「ぞ一つとする」。

152. 各國家が夫々軍備を枕に眠ることをやめざる限り（軍備を完全にして始めて安心するといふ態度を拋棄せざる限り）戦争の夢が絶えぬであらう。

註 sleeping on their arms 「腕を枕に眠る」にもちつて「兵器を枕に眠る」則ち軍備を完全にしなければ安心出来ぬといふ態度」。

153. 政事家達は着々として軍備制限（武装撤廢）を談じつゝあるが發言の自由を與へられざる人々は銃の引金に頻に油を塗つてゐる。

註 right along 「着々として」こゝの right は adverb で straight, immediately, completely などの意義がある。Go right away. 「直ちに行け」。Go right on. 「どんどん進んで行け」。等の如し。oiling the triggers 「引金に油を塗つてゐる」。兵士がいつでも戦闘の出来る準備をしてゐるのを指す。

154. 鐵道運送の鶏卵の破損に對しその賠償決濟のため一千九百二十年中鐵道會社より荷主若くは荷受人に支拂はれた金額は百二十六萬七千弗といふ大きな金額に上つてゐる。紐育の鐵道時報のさる記事の筆者の説に據れば一般に運送せられる品目の内で壊はれ易い點に於ては鶏卵はレコードを保つてゐる（鶏卵以上壊はれ易いものはない）。硝子と雖も之とは比較にはならぬ。該筆者の言へるにこの卵破損の原因は取扱の粗暴に因ること極めて尠く主として不適當なる荷造りに基くのだとの事だ。支那人は卵の荷造法をよく識つてゐる。幾百萬の卵は中華民國より壊れずに我國に送られてゐる。處が我々米國人は無學な東洋人に教へて貰ふよりはと依然まるで卵が石鹼ででもあるやうに送荷することを續けてゐるそして百二十六萬といふ年々の請求書に尊大なる平氣の體度を以て支拂ふことを續けてゐる。

註 tidy は 服装や室内などの「整へる」「清楚なる」の意の形容詞であるがこゝでは considerable の意「可なり」「頗る大なる」。He has left a tidy sum behind him. (彼は相當の遺産を残して死んだ)。It is a tidy day's work. (其は一日の仕事としてはたつぷりある)。in settlement of 「決濟のため」。claims 「損害賠償要求」。according to the writer 「記者の意見に據れば」。to hold the record for 「……の件に

ついでにレコードの保持者である」則ち「……の件につきては之に匹敵するもの無し」。 **objects subject to transportation** 「運送の取扱ひを受ける品物」。 **subject to** は「免れざる」「受け易き」「……の傾向ある」「よく……する」の意。 **Glass cannot compare with it.** 「硝子と雖も脆さに於て卵と比較にならぬ」。 **compare** は此處では自動詞であつて「匹敵する」「匹儔する」の意。「荷造の不完全のためにこの破損を來たすのだ」といふのを **The breakage is due to improper packing.** とするも **Improper packing is responsible for the breakage.** とするも同一である。 **subject** の異なる點に注意。 **Flowery Republic** 「中華民國」の直譯。いくらか支那のことを茶化して言つたのだ。 **cakes of soap** 「石鹼の塊」の意。 **cakes** は「菓子」の原意であるけれども扁平なる固めた物質の一片を指す。例へば **a cake of wax, a cake of tobacco** の如し。

155. ジョン・パロースは體力と健康とを求めてカリフォルニア州で一と冬を過ごして彼が大に愛し且永い間愛したカツキルス山の家へ歸る途上彼の八十四回誕辰より數日前に死亡した。實に一千九百二十一年三月二十九日の事である。

註 **within a few days of his eighty-fourth birthday** 「彼の第八十四回誕辰にもうあと數日といふ時に」。 **within…… of** の形に注意。例 **I came within an ace of being drowned.** (危く溺死するところでした)。 **It was within a few minutes of sunset.** (日没に間もない時でした)。 **in search of** 「……を求めて」。

156. 翌朝起きて見ると十月頃のやうな爽やかな身を引締めるやうな風が吹いてゐた。私の室の窓の外で楓樹はザワザワと枝を揺り動かしてその輝く葉を日光にあて、飛び散らしてゐた。

註 **Next morning work me to** 「次の朝は予を……に眼醒めしめた」則ち「翌朝起き上つたら……を識つた」の意。「翌朝起きて見ると十月のやうな新鮮な爽快な風が吹いてゐた。」 **crisp** は「固くて脆い」の原意の形容詞であるがそれから轉じて霜置く冬の朝の如く「身を引締める寒さの」「心がキリリと引締まるやうな天候の」の意となる。 **across my windows** 「私の窓を横きつて」則ち「窓の外で」。

157. 冬の寒風が煙突も倒れよと計り強く吹きまくつてたのも三月の出水が下水溝に囂々の音を立て、溢れ流れてたのもほんの昨日の氣がするが町の尖塔の頂の風見の向きが變るとともに春の神は山中の隠れ場所からにこやかに出現して來た。

註 **tug** は「劇しく引く」「強く引く」の意で自動詞他動詞の兩様に使ふ。自動詞の場合には **at** を伴ふ。(序に學校生徒の遊戯に「綱引」といふのがあつたがあれは英語では **tug of war** といふ)。 **winter was tugging at the chimneys** 「冬が煙突を力強く引つ張つてゐた」則ち「冬の強い風が煙突も倒れよといはん計りに吹きまくつてゐた」。 **freshets** は「海中に流れ込む淡水の流れ」「春の雪融或は降雨より生じた奔流」。 **but yesterday = only yesterday.** **shifting of the cock** 「風見鶏の位置の變更」則ち「風見の向きが變つたこと」。

158. 彼が彼の聽者に向つて語り出る時は吾人は恰も佛蘭西劇場に於て何か古文學の文句でも暗誦してゐる俳優の言を聞くやうな氣がする——かうした完全無缺なる言語の使ひ方を彼はするのである言語それは彼が例の獨特の身振りをしながら言ふが如く「小河の流れるが如くに滑かにしかも鋼鉄の如くに強靱なる」言語である。この言語の言ひ廻はしの巧なこ

とに劣らず彼は又彼の勝ぐれた聲を意のままに活用するの斯うした力を持つてゐる。則ち今低聲の辯解でもするか如き口調で語るかと思へば今度は聲高き雷鳴的の調子となる。今世に現存する演説家にして彼以上に聴者を動かして激越なる感情を奮ひ起さしめ彼以上に聴者を熱せしめて大なる奮勵を起さしめる能力を有せし者は未だ嘗てあつたことを聞かぬ。

註 **auditors** は **audience** (集合名詞で聴衆を暗稱する) の箇々別々の人を指す。 **declaim** は「朗讀する」「暗誦する」「雄辯に演説する」(是より **declamation** 「演説」の語が出てゐる)。 **classic text** 「文學上の本文」則ち「古文學中より引抜いた文句」。 **consummate** 「極致の」。 **with characteristic gesture too** 「これを言ふのにすら例の彼獨特の様子をしながら」。 **as well** は「國語を完全に遺憾なく使用すること、同様に、則之に劣らず」。 **now in low, pleading tone** 「今は低い辯解するが如き口調で言ふかと思へば」。 **now in loud, thunderous tone** 「今度は高い雷鳴的の調子」になるといつた具合。 **to inspire his hearers to high emotion** 「聴衆に強き刺戟を興へて劇しい感情を激發せしむ」。 **to fire them to great enthusiasm** も同様。

159. 斯くの如きは實にヴィヴィアニが我國への今回の——彼には第二回目の——この訪來に際し始めてなせし演説に於て與へた印象である。

註 **on this, his second, visit here** 「此の彼の當國第二回目の訪來」「彼には二回目の今回の訪來」。これは **on his visit here, which is his second visit** 若くは **on this visit here** —— **his second visit.**

160. 一千八百九十年代の末葉に市街電氣鐵道が俄に

景氣の敦興した頃に彼は斯業に關係するやうになつた。一般世入の噂ではこの時隨分金を拵へることに成功したらしい。

註 **boom** 「俄景氣」。歐洲大戰中染料とか藥品とかが日日昂騰を續けたため一擧にして所謂「成金」となつた人があるがあれは **boom of dye-stuffs, boom of drugs** と言ふべきである。 **in the late nineties** 「一千八百九十年代の末葉」一千八百九十年より一千八百九十九年までは **nineties** であるが九十年より九十二三年頃までは **early nineties**, 九十七年頃より九十九年頃までは **late nineties** である。 **with considerable pecuniary success** 「可なりの金錢上の成功をして」。

161. 遣外大使。殊に彼が今就任せんとするが如き重要なる位置へ派遣される大使は氣轉に富み、慎重にして、上品なる趣味を有し、禮儀作法をよく辨へ、健全なる學殖ある人でなくてはならぬ。そして自分の國の利益を計るの念強くしてこれの前には彼一箇人の野心も怨恨も影をひそめる底の人物たらざるべからず。

註 **to so important a post** と何故 **to** があるかといふと **ambassador to.....** とあるべき處だからである。 **the Japanese Ambassador to the United States Government**; (駐米大使) **our Ambassador to the Court of St. James** (遣英大使) の如し。 **a post he is now to fill** の **to fill post** の構造注意。 **tact** 「氣轉」。 **discretion** 「慎重」。 **polished manners** 「行儀作法禮節の完備せること」。 **sound scholarship** 「健全なる學殖」。 **ardervation to his country's welfare which.....personal animosities.** 「個人としての野心や怨恨の上に超越する自分の國の福利に一身を貢獻すること」則ち「自己の國益を思ふの念強くしてその前には自分の野心とか自分らの私の恨

みとかいふ様なものは念頭に置かぬこと」。

162. 何かの罪で以て有罪の宣告を受けた黒人がその犯罪に何等の關係もない白人によつて立替へて支拂つて貰つた金額は所謂「働きで償却する」といふ條件の下に、保釋をして貰ふなり罰金を支拂つて貰ふといふやうなことは現今の法律制度の下に於て極めて頻發の事柄である。

㊦ **under the law** 「現在の法律制度下にては」。 **convicted of some offence** 「或る犯罪で有罪の宣告を受けたる」。 **in court** 「法廷で」。 **to be bailed out** 「保釋して貰ふ」。 **charge** は告發されたる「罪」。 **on the understanding** 「……の條件で」。 **as the phrase goes** 「世間に流布してゐる文句を借りて言へば」。この **go** の用法は **as the saying goes** (諺に曰はく) の **goes** と同じである。 **work out the amount** 「その金額を償却し盡くすたけ働くこと」。 **on his account** 「彼に代つて」。

163. 當時の駐佛米國大使ヘリック氏はこの難境を切抜けるに必要な能力と經驗とを持つてゐた。

㊦ **the then American Ambassador to France** 「當時の駐佛米國大使」。 **to cope with** 「……と争うて負けぬ」「拮抗する」。 **to cope with the situation** 「現在の境遇に打克つ」「難境を切抜ける」。

164. 過激派は英國側へ八艘の露國商船を降服して差出した。そしてその商船はクロンスタットの西北十五哩の海中に轟沈せしめられたとだけの報導(詳しいことは一向分らぬ)が無線電信で達した。

㊦ **the bare fact** 「それだけの事實。悉しむ事は一切分らぬ」。 **radio** は **radio-telegraphy** のことを略して言ふので無

線電信の事。 **Bolsheviki** は **Bolshevik** の複數 (**Bolsheviks** とも書く) で露國の過激派の事。 **surrender** は「降服して……を敵に明け渡す」の意。クロンスタットは露國のペテロブルグの西方にある軍港。

165. 彼は朝食を以て一日中の最上の食事としたそして晝食は軽く済ませた。でないといふと三時頃には半眠りの状態に陥るのだつた。

㊦ **went light on lunch** 「晝食は軽く済ませた」。この反對は **went heavy on** ……である。

166. 彼には随分奇癖があつた——しかし誰か癖のない人間があるか——しかも彼の癖は人に害を與へるやうなではなかつた。

㊦ **his** は **his eccentricities**.

167. 彼は貴金屬類を嫌つた。そして服の釦穴に花を差すことも嫌であつた。かういふ物は兎角自分をそはそはさせるからだと言つてゐた。

㊦ **to fidget** は「そはそはする」「落付がない」。

168. 彼は長髪の子や短髪の子やスパットを着ける男子や大きな鼈甲縁の眼鏡を着ける婦人に對して強き嫌惡の情を持つてゐた。

㊦ **short-haired women** 「短髪婦人」。新しき婦人は髪を短くするのを喜ぶ。スパットはよくハイカラーな西洋歸りの人がつけてゐる靴の上に被せるゲートルのやうな格好のもの。 **shellrimmed spectacles** 鼈甲縁の眼鏡。金(銀)縁眼鏡は **gold (silver-)rimmed spectacles**.

169. デーヴ位獻身的に打込んだ友達を多く持つた人はあまりなからう。彼は人間に對して眞の心からの愛を抱いてゐた。殊に人生の生存競争の劣敗者に對

しては一層愛を注いでやつた。

註 Few men ever had more devoted friends than Dave had. の文に於て few は意味は negative だから例の negative + comparative で Superlative の意義を有してゐる。「彼程 献身的の友達を澤山持つてゐたのは世に罕である。 heart fondness 「心からの愛」。 found the struggle of life a losing battle 「生存競争を負け軍と知つた」「劣敗した」。

170. 彼女は年の頃三十五六歳で澄み切つた聲と相手の男子に自分自身のことを語らせる天才とを持つた天鵝絨のやうな感じのする若い婦人だつた。

註 velvety young woman 「天鵝絨 (velvet) のやうな感じを 與へる若き婦人」。皮膚の柔かなことを意味するのだ。 in her middle thirties 「三十五六歳の」。 (169) の in the late nineties 参照。 limpid voice 「清く澄んだ聲」 a genius for making a man talk about himself (この人に對すると 思はず自分の事をベラベラと喋べらざるを得ないやうにならせる 天才的なアート)。

171. 彼は彼女に自分の内心の衝動を打ち明け又彼の 宗教に就ても話した。これらの事たる彼には大學時 代以來彼が恐らく何人にも言はなかつた不可侵の事 柄だつたのだ。それを皆彼女に語つて仕舞つた。

註 his inner impulses 「彼の内心の衝動」。衝動とは前後を 顧みずにフト起る或事をなさんとする心。内心の衝動とは人間は 心の奥底では色々な煩惱妄想しきりに起つてあれを爲したい見た い。食べたいなど起るに儘せてをけば種々雑多な衝動が起つて來 る。 since college 「大學時代以來」。

172. 表面は意志の堅い人の様には見せないで。彼女は 自分の交つてゐる凡ての團體に於て一種微妙なる 勢力を揮つた。

註 to exercise 「振ふ」「行使する」。こゝでは勢力を「發揮した」 の義。 subtle 「捕捉し難き」「神祕の」。 group of which she was a part 「彼女がその一員である團體」。

173. 彼女は薄氣味悪い位古い談話をよく記憶してゐ た。彼女は春のあの朝街路の曲り角で誰某が彼女に 出遭つた時に言つた文句を一語も違へずに思ひ出し て繰返すことが出来た。彼女はまるで或る人々がカ ルタの手 (トランプ遊などの時誰某が今斯く斯くの 札を持つてゐるといふ事) を覚えるのと同じやうに 個人との談話を暗記するやうに見えた。

註 weird は之を名詞に使用する時はスコットランドの方言で「運 命」の意であつて。之を形容詞に使用すると運命の如くに「不可解 なる」「超自然的の」「氣味の悪い」。 verbatim は ラテン語 から來て英語になり了してゐる語で word for word 「一語一 語」「一語も違はずに」。之と相對する語に literatim (「一字一 字」「一字も違はず」といふ語がある。 last spring を「去年の 春」と譯しては間違ふことがある。そのわけは例へば今が夏若く は秋であつて last spring といへば「今年の春」の意味である。 勿論一月か二月頃に last spring と申せば「昨年の春」の意で あるが。この場合は寧ろ諷い。 card hands 「トランプなどの遊 戲をなす際に札を毎回一枚づゝ各自分の手にとるのだが その時毎 にかういふ札は誰某の手に這入つた。かういふ札を誰某が握つて ゐるといつた。按排に對戲者の手持の札を覚えること」。

174. 彼等のお行儀のよいのは本能的であつた。かう 言ふのは非常に賞讃してゐることになるのだ。

註 which は Their good breeding was instinctive の全體 の clause を受けたもので私が今「彼等のお行儀のよいのは本能 的であつた。と言つたのは「多く (a lot) 語つてゐる」則「千言

萬語を費して賞め讃へるのと異ならぬ力がある」の意。

175. 彼は今後幾月かの間この日の朝位氣持よく心の
静平な朝は又とあるまいと思はれた。

㊦ was likely not to 「……しさうになかつた」「……しまいと思はれた」。for moons 嚴格に申せば moon は大陰曆の一と月だが茲では for months と同一。

176. 私共は他人の自由に干渉したり若くは寸毫と雖も他人に不利を與へることを欲しなかつた。さる代り一方に於て世間の人々が私共にはもはや第二の天性ともなつてしまつたこの私共のさゝやかな。人には害を與へぬ獨特の生活振りを干渉せず捨て置いて下されば忝いのです。

㊦ interfere with the convenience of others 「他人の便利に干渉する」「他人が斯うするのが自分に都合がよいと考へてゐるやり方をそれはいけない廢するが善からうといつた按排に干渉する」則ち「自由に干渉する」と譯した。hair's-breadth は hairbreadth と綴る。「毛髮の幅」だから極めて微細の長さ。それより「寸毫も」の意となる。通例 hair's-breadth は危機一髮の意を表はす。I was saved by a hair's-breadth. He had a hairbreadth escape. の如し。We would thank the world to leave us alone 「吾々を世間の人々が構はないで捨て置いて呉れたら有り難く思ふ」to thank one to……して呉れたら有難く思ふ」この infinitive は if の意がある。leave one alone 「構はずに捨て置く」。small 「小規模の」「大袈裟でなき」「眼立たぬ」。inoffensive 「人の感觸を害せぬ」「眼立たぬ」。personal 「個人的の」則ち「獨自の」「獨特の」。second nature. 「第二の天性」。Habit becomes a second nature. (習慣は第二の天性) なる諺に注意。

177. 余等獨身主義者等は仲間の友を教會の祭壇まで

伴ふ時(結婚式に附添男の彼を勤める時)にはその友を葬送したも同様だと感ずるやうになる。

㊦ celibate 「主義の下に結婚せぬ人」。accompany them to the altar 結婚式の時には花嫁も花婿も各附添人に擁せられて教會の祭壇まで進みその處で教師に結婚の儀式をして貰ふのであるが。花婿の附添人は best man と稱し親友の一人がなるのである(婿が花嫁に誓うために與へる指輪を手渡したりなんぞする役)。テサコゝの意味は平生終生御互ひに結婚なんぞすまい獨身生活を送らうと同盟をしておきながら fair sex の生擒となつて盟を破つて結婚する男が出来ると。もうその友とは世界が違つて仕舞つたので結婚式に立會つてやつたのは取も直さず葬式に立つたのも同様な氣持がするの意。

178. その朝私が眼を醒ました時には太陽はズンズンと上にあがつてゐた。そして騎馬若くはゴルフには申分のないよい日和であつた。

㊦ sailing up 空を海の如く考へて太陽がだんだん高く上る光景を斯く表はした。a peach of a day 「完全なる日和」。peach は亞米利加の俗語で person or thing particularly beautiful or pleasing of its kind の意がある。ここの of は同格の of で the fiend of a husband 「夫といふ鬼」則ち「鬼のやうな無情な夫」の如し。

179. 其から僕は髭を剃らうと思つて起ち上つた。君も覚えてゐるだらう僕は常に一日の仕事を開始するために毎朝十分に髭剃をしてサツパリとした感じを作ることに大に重きを置いてゐるのである。

㊦ to set store by=reckon precious or important. 之を negative にして to set no great store by (餘り珍重しない)。the clean feeling of a good shave 「丁寧に剃刀を當てゝ。顔中が奇麗になつた時のサツパリとした爽快な氣分」。

180. 予は予の八箇月の夫婦生活中予の妻となした之等無数の小さな喧嘩を茲に詳しく言ふことを好まぬ。只僕は斯ういふ事だけ言つて置くそれは一日一日は余には眼醒まし（この妻と同棲の馬鹿らしきことを覺醒せしむる）であつたといふ事である。

註 to go through = discuss in detail 「詳論する」。skirmish 「小競合(こぜりまひ)」。conjugal life 「夫婦生活」。everyday has been an eye-opener to me. 「一日一日が予には目醒ましてあつた」「日日新たなる事實があがつて来て連もこの妻と一生暮ることが出来ぬといふことを覺らしめるのであつた」。

181. その事があつて以來予は一切妻に反抗することを歇めた。そして予の廿年間の孤獨生活から造り上げた凡ての趣味も習慣も放擲して仕舞つた。今では予は如何なる品でも自分の前に置かれたものは盡く食べるし衣裳臺に置いてある着物はどれでも着用するし妻が定める約束取極めの如何なる日割でも寸分違はぬ様之を遵奉する積りである。

註 After that experience 「其の經驗の後」「その事あつて以後」。dresser 「着換の材料を入れた箱若くは籠(かご)類」。to cross every t and dot every i 「凡ての t 字には横線を引くことを忘れぬやうにし凡ての i 字には點を忘れぬやうにする(これは大抵の人はよく怠るもの。t を t としたまゝ i を i とした儘にしておくもの甚だ多し)」より「凡ての事柄を凡帳面に丁寧に實行するの」意。whatever schedule of engagements my wife wants to arrange 「妻が定めるとんな取極めでも」「何月何日誰某氏を訪問すること。何月何日には何々氏を招待すること。曰く何。曰く何と。一家の日日行事を妻が勝手に定めることを欲するのだが其に少しも文句を曰はずに盲従するといふ話し」。

182. 彼等一族は田園生活の利益を強く信じてゐた。そして彼の妻君は夜警用の犬を飼育するのを道樂としてその數實に七疋を數へる一方彼自身は又養鶏に興味を有つてゐた。そしてその飼つてゐる鶏群は朝の合唱から察するに全部雄鶏らしい。

註 to believe in 「.....を信仰する」より「.....の長所を認むる」「.....を善しと信ずる」の意あり。to go in for は「志望する」「(流行を)追ふ」「(主義を)執る」等の意あり。此處では「田舎に生活することを主張するのは意義あることだと信じてゐる」位の意。hobby 「道樂」「嗜好物」、of which she had seven は she had seven police dogs の意。by the morning chorus 「朝の合唱から察するに」是は鶏が朝聲を揃へて関の聲を擧げる様を指したのだ。by は「.....より察するに」。male は名詞で「雄」。

183. 私は一睡も出来なかつた。子供の内の一人は百日咳で屢々咳くし犬どもは隣村の盜人の足音を聞つけたのかの如くに鳴き續けるし。鶏が私がまだ床に入らぬ中からもう既に太陽お迎への挨拶をし初めるといつた鹽梅。

註 wink は「眼の一回の瞬き」を指す。I could not get a wink of sleep. とか I did not sleep a wink all night. など言ふ文は屢見受ける。序に午睡(nap)のことを forty winks と呼ぶことがあつた。I had forty winks after luncheon. の如し。whooping-cough は「百日咳」。kept hearing burglars in the next town 「隣町の盜賊の足音を聞き續ける」とは隣の町の盜賊の足音と聞える氣遣はないが、つまり何にも吠えるべきわけがないにしきりに吠へるといふ形容である。

184. フロラル・パーク(花園)もその一例だが兎角世

間には名前とそぐはぬ町の名が澤山ある。

㊦ **to live up to** は通例 **one's principles, one's faith** などを伴ひ自己の主義・信仰等を 實際に表はす。則「實踐する」の意である。こゝでは「名前を 實際に表はす」。Fireal Park といふ町に一向花などなく大阪といふ 都に一向大きな阪が無いことを指すのだ。

185. リンブルックのやうに陰氣な. 平凡な. 單調な. 興味のない小さな町のはづれに奇蹟のやうに美麗なる旅舎があるとは奇妙だ。之を譬へると汚い服装の貧しい老婦人が不潔な街路で突然美事な佛蘭西製のレース入の半巾をとりだして「ちよいと御覽」と言たつやうな貌である。

㊦ **outskirts** は常に複數形で用ひ「町外れ」「場末」である。**suburbs** (郊外) は更に外側の田舎を曰ふ。前者は市内に入るが後者は市外である。**should be** 「.....があるとは」と意外の意を表はす。**pulled out** は **out of her pocket** の意。こゝの比喩は甚だ面白い。

186. この旅舎は本道から離れたところにある。だから豫ねてこれを知つてゐるものでなくては泊りに来る客は無いわけである。ところで予等はテクテク歩きのために又もや恐ろしく空腹になつたものだから一寸何か食べにこの旅舎に這入らうと思つた。斯く腹が空くのは全く漫歩則ち終日戸外にゐることの一の賚である。こんなことをしてゐると食べる時には宛然巨人の如く食ひ。しかも眠るや小兒の如しである。

㊦ **beaten track** 「踏みならした道路」「本道」。それから **beaten track** は **ordinary life** の意味を持つてゐる。例 **We are**

afraid of leaving the beaten track (吾等は兎角日常習慣を離れることを厭ふ)。**one has to know of it to reach it** 「其に達せんがためには それのことを豫て知り置くの必要がある」則「かれがれこの旅舎のあることを承知してゐれば通りがかりに眼に留まつたから這入るといふやうな位置ではない」。**hike** は米國俗語で「コツコツ歩き」である。**stay out** 「外に止まる」則ち「外にゐる」。これと似た句に **stay away** がある。「近付かぬ」「離れて立つてゐる」の意。

187. 小さな鏡のやうな池や沼や河はこの地方自働車遠乗りの單調を破つてくれるそして時々見えて来る橋梁や一聯の垣根などは大に風景に變化を與へる。

㊦ **Bits of water** 「水の斷片」則「河や池沼」の意。**break the monotony of** 「.....の單調を破る」。**a stretch of hedge** 「垣根の延長」則「一聯の垣根」。**every now and then** は **now and then** と同義「時々」。**now and again, from time to time**, 皆同義。**to do much to** 「大に.....をなす」。こゝで「は景色に變化を與ふること多大」の義。

188. 吾等は無上に美味しい御飯を食べた。そして其からピーターは或る商用を果さねばならぬから是からブルックリンへ大急ぎで歸ると言ひ出した。吾々は彼を手離し度くはなかつた。のみならず未だ非常に暑かつた。けれども。彼はさう露骨には日はぬけれども。彼には商賣は第一で交際は第二であつたから吾々がいくら勸説しても彼を引留めることが出来なかつた。

㊦ **a meal to delight the gods** の句は **a feast for the gods** (素激な御馳走) と同じやうな構想で「神々を喜ばせる食事」則「美味なる食事」である。**to attend to business** は「商賣の方に心を向ける」則ち「商用を果す」。**he was a business**

man first,.....afterward (は Duty first, pleasure afterward. といふ sayingがあるがそれと同巧異曲であつて「彼は第一に商人である。而して後に交際家である」。「商用と交際用と二つある場合には先づ商用の方を執らねばならぬ其の方が第一だと別にその通りに露骨には言はないがさうした態度を示した」。 society man 「交際家」 society lady, society people 皆交際家の義は。 put は express の意。

189. 謀反者の中の數人は司令官を面と向つて罵詈したり脅迫文句を怒號した、けれども是は平素の個人的怨恨を晴らさうとしての爲めのみでこの他には司令官に對して虐待などしなかつた。

㊦ mutineer は mutiny (上官背反・上官抵抗) より出た語で「軍隊等で上官に反抗して起ちたる謀反者」。 damn は「呪ふ」「罵詈する」。この語は (May) God damn him! の如く呪ひの文句として下等社會の人が濫用する悪い語である。それで上品なる文學的作品なんかには damn といふ綴を避けて d — n とする。例へば It was d—d (damned) hot. 丁度日本文に於て厭ふべき文句を避けるために「君の〇〇は見えるぜ」といふやうなものだらう。 to his face 「面と向つて」「陰口でなく本人に向つて直接に」。 by way of 「.....せんが爲めに」。例。 He did it by way of apology. 「彼は謝罪のためにあゝしたのだ」。 otherwise 「その他の方法では」則ち「罵詈譏謗といふひどい目にはあつたけれどそれ以外には別に虐待を受けなかつた」。

190. かういふ荒海に於ては歐洲人を見付けて英國へ連れて歸つて貰へる見込みのある船付場は五百哩隔たつてゐるトリニダッドが一番近いので他はどれも是も五百哩以上のところ計りである。

㊦ wild seas 「荒海」。單に「海」と言へば sea と言ふべきだが次の様な場合は複數として扱ふ。

the British dominions beyond the seas.
the high seas (公海. territorial waters 「領海」の反對)
the mistress of the seas (海軍第一等國)
the four seas (英國日本の如き島國を繞らす海洋)
seas of blood (止ふ度なく流る血汐)
wild seas

haven は harbor や port と同様「港」「船着場」であるが轉じて refuge の意となることもある。 whence=from where.

191. 食糧を出来るだけ永く持たせるために一日三度の食事は食べさせたがその食事たる小銃彈一箇の重量に匹敵する食麵麩。豚肉一オンス (我八匁計り) 其にラム酒茶匙に一杯を水四分の一ポイント (我七勺半計) に割つたもの。實にこれだけである。諸君もし諸君にして物好きにかうした食物を自分の食料として計量し。そしてこれだけでほんの數日間だけ生活してみやうと試みらるゝならば。高價な金を出して食餌療法専門家に工夫して貰ふよりは遙かに速かに諸君の體重は減することであらう。

㊦ provisions 「食糧」。食糧の意味の時は必ず複數。 last は茲では動詞で「續く」「持ち耐える」「持つ」。 musket-ball's weight of bread 「小銃彈の重さ丈けのパン」。 rum は砂糖黍から發酵させて醸造した一種の酒。 quarter pint 「四分の一ポイント」。一ポイントは三合餘りだから我七勺半餘になる。 to be curious enough to 「.....する程物好きである」則ち「物好きにも.....する」。 to measure out 「分量を計つて差出す。分配する」などの義。 to dole out; to deal out; to mete out (分量を極めて分與する) の out に注意。皆同一構想也。 to live on it 「其を命の綱として其のみで生きて行く」。 dietetics は diet (常食) より出た語で (食餌養生法)。

192. 測定儀を見ると航行した総距離は三千六百十八海里となつてゐたこれは哩(まいる)則ち陸里に換算し概數で申せば實に四千哩といふ距離なのである。

㊦ log「船の航海した全距離を測定する器械」。recorded「右測定儀は……の距離を航海したことを示してゐた」。ofはdistance ofである。in round numbers「端數を捨て、若くは切上げて」。常に numbers と複數にする。a round sumはこれと違ひ「可なり多額」。statute mile「法定哩」則ち 5,280 呎の距離。海里 nautical mile は一名 geographical mile 又は Admiralty knot と稱し赤道の一分(一度の六十分の一)の長さを以て之に定めてゐる。6,080呎。

193. 彼の使命はこの背反者どもを何等憐愍に値せざる極悪罪人として探し出し之を死刑を受けさせるために本國に連れ歸るにあつた。

㊦ to run down は hunting の語で「追ひ詰めて捕へる」「探し出して引つ捕へる」。to run one out (隠れたところにあるのを見付け出す)も同義。動詞 hang は過去及過去分詞は hung, hung であるけれども「絞殺する」の意の時は hanged, hanged.

194. この男は職務に熱心であると同時に融通の利かぬをして法律の正文を以て如何なる境遇に於ても必ず服従すべきものと考へるといふやうな種類の役人であつた。

㊦ type=kind. the letter of the law「法律に記載の文言その儘」。「文言通りに」の意の to the letter の letter と同一。この場合の letter は spirit の反對語である。

195. この時の光景はこれ以上詳説せずとも此等不幸な英國水夫等が命懸けの最後の戦を闘つた事實以來

百三十年を経たる今日尚ほ聞者の感情を湧き立たしむに充分である。

㊦ to stir the emotions「感情を湧き立たしめんがためには」stir は「引掻き廻はす」の原意から「湧き立たす」と譯した。their last fight for life「命助からんとする最後の戦」則ち「これを外せば永遠に助からぬといふ戦」。

196. 彼は若しも彼が一寸横になつてほんの数秒でよい静かな人に知られない時間を睡つて毛布を被つたやうに壓へつける感じのする睡氣を脱することが出来たらばと思つた。しかしどうもまさか此處で眠る丈の勇氣がなかつた。只一回彼は自分の事務室の椅子を二つ並べてその上に不恰好に横はりながら寝やうと試みた。處が一職長が戸を推し開けて這入つた時には心中に怒氣を帯びて顔を赧め、頭が痛いと思ふやうなことを口ごもりながら、横になつた姿を見せない中に起つてゐるのである。

㊦ If only he could…… drowsiness; の文に於て If にて導かれる dependent clause がありながら之を受くる principal clause がないのは何故かと云ふに之は感歎文 O, if I could only come and see you. の形を Indirect narration に直したものだと思ふに宜い。本文譯そのつもりである。stifling blanket of drowsiness「睡氣の壓へつけるやうな毛布」「毛布で以て頭を壓へつけられる感じのする睡氣」。よく我々日本人が睡眠不足などの時頭に籠を被つやうだといふがそれと同義。to mumble「口をもぐもぐさせながら低聲に不明瞭にいふ」「口籠る」。to scramble「攀ぢる」。scramble to his feet「彼の足に攀ぢる」則ち「起ち上る」。foreman「小頭」「職工頭」。to push open (a door,「戸を推し開く」。

197. 提案中の將來再び獨逸の攻撃に對し佛獨西を保護せんとする英米佛條約は未だに米國の元老院に於て握り放しになつてゐる。

註 proposed 「提出せられたる」。slumbers in the Senate 「元老院に於て眠つてゐる」「元老院に於て握り放しに會つてゐる」。何故元老院が握り放しにしてゐるか云ふと米國元老院は開戦・講和・條約締結の批准權を持つてゐるからである。Anglo-America-French の形に注意せよ。Russo-Japanese War とか Anglo-Japanese Alliance とかの形は諸君はよく知つてゐやうが斯く三つ以上並ぶのに珍しい。

198. 獨逸で斯ういふ話が傳へられてゐる。カイゼルの皇子の内の一人が堅信禮を受ける準備をして貰つてゐた時の事だがその準備の役を仰せ付かつた僧侶は頻りに皇子の腦裡に凡て人間といふものは罪の人であるといふことの印象を與へやうと努めた。するとこの小皇子はかう抗辯した。「お父様は罪人かも知れないがお母様は罪人でないよ。其は私はよく知つてゐる。お母様は全くの聖者である」。

註 confirmation は基督教の一の儀式であつて洗禮を受けてある人が更に僧正の前に出て信仰の堅めの式を受けることである。その方法は僧正が當人の頭に手を置いて一二の問答をするのである。intrusted with 「……の件を委任せられたる」。この一小話は如何にカイゼルが自分の子供等の眼にも横暴無道を映じてゐたかを示し一方獨逸皇后が如何に婦徳圓滿なる人であつたか物語つてゐる。

199. ユーゴーもローランも共に寫實派であつた。そしてしかも誇張した寫實派であつたことは明かである。

註 Hugo は Victor Marie Hugo と呼び 1802—1885 の人で有名なる佛蘭西小説家でその La Misérables は全世界に知られてゐる。Jean Paul Laurens は佛蘭西の最近の畫家。近頃物故した。at that 「その點に於て」の意より「しかも」の義となる。

200. 船舶乗込みの米國水夫の待遇は従前よりよくなつてゐる。一千九百十五年に通過した海員令に據つて勤務時間に制限が置かれるし其他船内に於て色々の境遇の改善が設備せられた。

註 better off は well off (豊かに暮してゐる。懐中向きが宜い) の比較級。これの反對は badly off, worse off である。

201. 厳格な頭を有つた裁判官は屢人に隠して最もつまらぬ三文文學書を読むさうである。蓋し公平なる裁判を與へるといふ陰氣な商賣から一時頭腦を轉換せんがためなのである。

註 in secret 「内密に」「他人に知られぬやうに」。the most trivial books 最もつまらぬ片々たる雜書。講談とか落語とかさうした軽い軟い讀物。brain は頭腦と譯して「考へる力」「記憶する力」として用ゐる時は常にbrains と複数にする。that……may 「……せんがために」。divert 「他へ轉向させる」。melancholy business of meting out justice 「公平な裁判を與へるといふ陰氣な商賣」。茲の of は「同格」を表はす of である。to mete out は (191) の説明に於て申述べたが「割當てる」「分與する」「輕重を考へて相當に與ふ」等の意である。

202. 現代は自己廣告者。人を搔き退けて推し進む人。高位高官を狙ふ人。新聞雜誌に名や顔の出るのを求める人。かういふ人の多い時代である。随つて何人も絶えず出しやばつてえらい人の側へ近づくやうに

心掛けなければ成功することが出来ないと言ふ人がある。

註 It is cynically said 「皮肉に言はれてゐる」「皮肉つてかういふ風に言ふ人がある」。climbers は「登攀者」であるから茲では「高立高官を狙ふ人」と譯する。publicity seekers 「世に知れ渡ることを求むる人」則ち「新聞や雑誌に名が出たり寫眞が載つたりすることを希ふ人」。thrust oneself into は thrust one's nose in と同義で「……の處へ出しやばる」。spot-light は side-light, foot-light などと相對し劇の語であつて、或る特別の役者を觀衆によく見せんがためにその役者の所へ強い光を投げ掛ける仕掛けである。この意味から轉じて spot-light は花形役者となり轉じて所謂「えらい人」の意となる。

203. 然しながら時々偉大なる社會的價値があり且偉大なる社會的貢獻をなしたる人にして社會の認識を求めやうともせず又社會も之を認めなかつたといふやうな場合が現はれて來ることがある。

註 to come to light 「出現する」。to see the light (産れる) と對比せよ。

204. 彼は少しも不眞面目なることなくして鋭き諧謔感を有し。惱める者に對しては同情を缺かずして快活なる精神に富み。術學者的態度なくして學者肌であり。道學者の風少しも無くして正義正道を重んじ社會公衆に對する自己の義務は等閑にせずしてしかも家庭中心主義者である。

註 sense of humor 「諧謔感」といふのは諧謔趣味に富むこと。He has a keen sense of humor. などいふと非常に諧謔に對しては敏感であつて他人の言や行爲の滑稽な所をよく見破る力を有つてゐる。pedantic 「術學的」「學問を振り廻はす」。didactic 「教訓的」。

205. 彼は私の大學時代の同級生だつたので彼を知ること前後四十年以上である。大學を出てから後はホンの偶(たま)にしか會ふことは無いが會ふと必ず假令五分間位しか語り合はずともその會見によつて私は新しき力を受け私の仕事に對し鼓舞激勵を受けざることはありませぬでした。

註 to cheer on one's way 「鼓舞激勵に前進せしむる」。I never met him.....withought being refreshed..... 「その會見に於て元氣をつけられ鼓舞激勵を受けることなしに五分間と雖も會つて話したことは無かつた」則「假令ホンの短時間の會見でも會へば屹度……するのです」。

206. 劇場の經營を投機業者に一切許さぬことにし自己の名譽を重んじ自己の天職を尊敬する俳優の手に之を委ぬるならば演劇なるものは高尚なる情調を振起するの健全なる刺戟物となると言ふとチト大袈裟だが、少くとも健全なる娛樂を提供することであらう。

註 speculator 「投機家」。to place in the hands of (in one's hands) 「委ぬる」。calling 「天職」。the stage は「舞臺」の原意だがその意から轉じて「演劇」の義となる。

207. 儘にどの大都市にでも無くもがなの劇場や、斯ういふ俳優ならば劇界から葬り去られても惜しくはないといふやうな俳優は必ず多少はあるものである。

註 No doubt there are 「儘に……がある。」can well spare 「なくとも辛棒して行くことが出来る」。and some actors we could see は and there are some actors whom we could see..... である。we could see banished

from the stage without regret (see の次の whom を置いて譯すべし)「(二三の俳優が)劇壇から葬り去られるのを遺憾の念を抱くこと無しに見ることが出来る」則ち「こんな俳優ならば無い方がました」。stage はこゝで「劇壇」若くは「劇界」。

208. 自然は私が最も適してゐると思つた役割に私を作つたのです。それで私はその役割を果さねばならなかつたしそして、幕が落ちる(死ぬる)迄はその役割を了せねばならぬのです。

註 to cast は過去も過去分詞も cast, cast である。こゝでは過去。cast は鍛冶屋が金属を融かして之を鑄型に入れて色々な形に金属品を作ることを曰ふ。the part she found me fitted for = the part for which, she found, I was best fitted. part は劇の語で「役割」。to play a part の形で多く使ふ。play は「遊ぶ」に非ずして「演ずる」。till the curtain falls 「幕が下りるまで」則ちこゝでは「死ぬる迄」。人生を演劇に譬へて言つたものだから最後までこの譬へを維持したのである。

209. 演劇は今や金儲の爲の経営者の支配の下に移りつゝあります。そして金儲けと藝術的希望とは決して甘く調和しないものだ。

註 to pass under the control of 「.....の管理に移る」。artistic ambitions 「藝術的野心」「俳優が藝術に對して拘く理想」。to go together 「並行する」「一致する」。

210. 彼(ベタートン)は舞臺の上でも舞臺の外でも私の理想の俳優である。彼は常にその演技に於て真理を目標としたそして家庭に於ても真理に基いた生活をなした。

註 ベタートンは英國の古名優(1635-1710)。my ideal of an actor 「私が之が理想の俳優だと思ふ人」。on and off the stage 「舞臺の上で演劇をしてゐる時でも又それ以外の日常生活

に於ても」。aimed at truth in his art 「彼の演技に方りて眞實を表はさうと苦心した」。lived it at home (it は truth) 「家庭内に於ても眞實に生きた」則ち「眞實に基いて生活した」「虚偽虚飾を嫌つた」。to live the truth と live を他動的に使つたのは He lived a virtuous life. (彼は正しき生涯を送つた) He lived what he narrated. (彼は彼の言ふ通りの目にあつたのだ) など、同一の形である。

211. 人生は譬へば大きな綴字書の如くである。吾等が次から次へページをめくつて行くに従つて出て来る語がその意を了解するにだんだん六ツケしくなるのみである。

註 on every page we turn 「吾々がめくつて行く各ページに」。書物の頁を繰ること to turn over the leaves といふ。序でながら「新生涯に入る」ことを to turn over a new leaf といふ。the words grow harder to understand the meaning of の of に注意。of の object は先にある words である。この形は a pencil to sharpen my pencil with の with と同じである。

112. 彼は彼の父から酒好きの性を享け繼いだのだがこの酒慾に完全に打克つて酒一滴飲まぬやうになつた。しかしかうなるには随分苦しい奮闘を要した。

註 drink appetite 「酒を飲みたい慾」。drink (名詞) は一般に「飲物」の意だが大抵は alcoholic drink を指す。それで strong drink は「強烈な酒則ち火酒の類」であるし Let us have a drink. といへば「酒を一杯飲まうではないか」の意である。外に to be on the drink (酒飲癖がある) in drink (酔つてゐる) 等の熟語がある。but not with a hard battle は after a hard battle の意。

213. 學校教育は同一の莢の中の豆の様に相類似する

青年を作る。所が家庭教師や旅行によりて天真の發露の儘に教育せられたる人にして教育修養に自由な考を有する最も興味ある人に出會するのは誰しも經驗するところである。勿論かういふ人は元來の素質の一部として常にて自己の印象を確めたり若くは誤つてをればいつでも之を正さうと求むる研究心を有つてゐねばならぬが。

㊦ institutional education 「團體教育」「學校教育」。 broad は narrow の反對で「廣い」「自由なる」。 genuinely cultivated through tutors and travel 「家庭教師により又廣く各所に旅行することに由つて生れ付のまに教養せられたる」。 genuine は false (虚偽の) や spurious (質の) の反對で「眞實の」「本源の」の意。それで genuinely を「天真の發露のまに」と譯した。 outfit は旅行などの際にする「装ひ」「準備」である。こゝでは學問を受け入れるに要する「心の準備」である。

214. ラッセル氏が人にセクスピアの引用句の出所を尋ねられて未だ答へ得なかつた場合を知らない。

㊦ to locate は「在り場所を發見する」「其は何處そこにあるといふことを言ひあてる」。 when asked は無論 when he was asked の略である。

215. 佛蘭西人は持前の衝動的天性に驅られて戦前娛樂として飛行術に熱中した。そして遊戯具としての飛行機の改良發達上に彼等のなしたる進歩は佛國にとり貴重なる一財産たることを證據立てた。何となれば飛行術で以て只群集を喜ばせる以外に殆んど何も思つてゐなかつた飛行機操縦者が空中に心を傾注

しそして陸軍幹部に得がたき貴重なる報告材料を携歸つたからだ。

㊦ gone in for (182) を參明。asset 「資産」 liability (負債) の反對。 pilots 「水先案内」の原意である「飛行機操縦者」のみに使用せられてゐる。 thought of little more than 「... 以外には殆んど何も思つてゐなかつた」。 take to the air 「空中に心を専らにする」。 take to は begin, fall into the habit of, begin to busy one-self with 等の意義がある例 He took to humming a tune. He has taken to gambling.

216. 昨年佛國人はライト兄弟の爲めに一記念碑を設立した。是は始めて眞に空中を飛揚する空氣より重い最初の飛行機を製造した彼等兄弟の功績に對する最後の記念碑である。

㊦ Wright brothers (Wilbur Wright and Orville Wright) は亞米利加の人飛行機製造の先驅者。 to do honor to 「敬意を表せんがために」。

217. 戦争前に——予の記憶にして誤らなければ一千九百年中——ブレリオ氏が始めて飛行機上で英國水道を横ぎつた時エッチ。ジー。ウエルス氏は倫敦タイムズ紙に一文を寄せてこの水道の上空横斷の意義深きことを指摘し英國に於ける飛行術促進の絶對的必要なることを慫慂し。そして驚くべき精確さを以て飛行術が戦時に於て應用せらるゝ利用法の三四を豫言したのであつた。彼は又獨逸は倫敦市に爆彈を投下するであらうといふ事及偵察用飛行機を有せざる軍隊は敵に慘々の眼に遭はさるゝだらうと言つた

㊦ if I remember rightly (if I remember aright) とも言

青年を作る。所が家庭教師や旅行によりて天真の發露の儘に教育せられたる人にして教育修養に自由な考を有する最も興味ある人に出會するのは誰しも經驗するところである。勿論かういふ人は元來の素質の一部として常にて自己の印象を確めたり若くは誤つてをればいつでも之を正さうと求むる研究心を有つてゐねばならぬが。

⑤ institutional education 「團體教育」「學校教育」。 broad は narrow の反對で「廣い」「自由なる」。 genuinely cultivated through tutors and travel 「家庭教師により又廣く各所に旅行することに由つて生れ付のまに教養せられたる」。 genuine は false (虚偽の) や spurious (贋の) の反對で「眞實の」「本源の」の意。それで genuinely を「天真の發露のまに」と譯した。 outfit は旅行などの際にする「装ひ」「準備」である。こゝでは學問を受け入れるに要する「心の準備」である。

214. ラッセル氏が人にセークスピアの引用句の出所を尋ねられて未だ答へ得なかつた場合を知らない。

⑥ to locate は「在り場所を發見する」「其は何處そこにあるといふことを言ひあてる」。 when asked は無論 when he was asked の略である。

215. 佛蘭西人は持前の衝動的天性に驅られて戦前娛樂として飛行術に熱中した。そして遊戯具としての飛行機の改良發達上に彼等のなしたる進歩は佛國にとり貴重なる一財産たることを證據立てた。何となれば飛行術で以て只群集を喜ばせる以外に殆んど何も思つてゐなかつた飛行機操縦者が空中に心を傾注

しそして陸軍幹部に得がたき貴重なる報告材料を携歸つたからだ。

⑦ gone in for (182) を參明。asset 「資産」 liability (負債) の反對。 pilots 「水先案内」の原意である「飛行機操縦者」のに使用せられてゐる。 thought of little more than 「……以外には殊んど何も思つてゐなかつた」。 take to the air 「空中に心を専らにする」。 take to は begin, fall into the habit of, begin to busy one-self with 等の意義がある例 He took to humming a tune. He has taken to gambling.

216. 昨年佛國人はライト兄弟の爲めに一記念碑を建立した是は始めて眞に空中を飛揚する空氣より重い最初の飛行機を製造した彼等兄弟の功績に對する最後の記念碑である。

⑧ Wright brothers (Wilbur Wright and Orville Wright) は亞米利加の人飛行機製造の先驅者。 to do honor to 「敬意を表せんがために」。

217. 戦争前に——予の記憶にして誤らなければ一千九百年中——ブレリオ氏が始めて飛行機上で英國水道を横ぎつた時エッチ、ジー、ウエルス氏は倫敦タイムズ紙に一文を寄せてこの水道の上空横斷の意氣深きことを指摘し英國に於ける飛行術促進の絶對的必要なることを慫慂し、そして驚くべき精確さを以て飛行術が戦時に於て應用せらるゝ利用法の三四を豫言したのであつた。彼は又獨逸は倫敦市に爆彈を投下するであらうといふ事及偵察用飛行機を有せざる軍隊は敵に慘々の眼に遭はさるゝだらうと言つた

⑨ if I remember rightly (if I remember aright) とも言

ふ)は「予の記憶にし誤らすんば」。M. Blériot の M. は Monsieur の略で英語の Mr. と匹敵す。Blériot の full name は Louis Blériot. H. G. Wells は full name は Herbert Geo. Wells と言ひ英國の大小説家(1863年生) to put to use (こゝの use は名詞) 使用する」「實用に供する」to put to a good use 「よく使用する」より use to which aircraft was put 「飛行術が實用に供せらるゝその使用法」。craft は「術」「策」「業」などを意味する接尾語で handiercraft (手藝) priesteraft (宗教上の方便) statecraft (國策) 等の如し。to bomb 「爆彈を投げる」。aéroplanes for eyes 「眼としての飛行機」則「偵察用に供する飛行機」。at the mercy of the enemy は wholly in the power of, or liable to danger or harm from の意で「活かさうと殺さうと……の意の儘である」随つて「惨々な眼にあはされる」。

118. 戦争を終息せしむる努力に貢献しない人若くは區々たる黨派的利益を獲んがために國際政策を輕んずすが如き人はそは假令元老院議員たりとも國會議員たりとも將た又大統領たりとも全人類を傷ふ賊である。

註 senator 「北米合衆國の Senate (元老院)の一員」。congressman 「同じく合衆國の Congress (國會若くは下院)の一員。President は茲では「米國大統領」。dedicate oneself to 「……に貢獻的努力をなす」。to outlaw war 「戦争を法律の保護外に置く」「戦争を驅逐する」「終息せしむる」。to trifle with 「軽く取扱ふ」「愚弄する」「弄ぶ」。

116. 當今經濟國策はどここの國でも缺乏してゐるやうに見える。どここの國の政府でも一方では言葉柔かに軍備制限を口にしながら他方に於てはその舌の根未だ乾かざるに海軍及陸軍の擴張を命ずるといふ有様

である。

註 economic statesmanship 「經濟を基礎として國の政治を行ふの政策」「經濟國策」。a minus quantity 「負數」則數學でマイナス (-) のつく數 (之の反對は a positive quantity 「正數」)。talk of……in one breath and order……in the next 「前の息で……と言ひながら次の息ではもう……を言つてゐる」「一方に於ては……を口にしながらその言未だ乾かざるに他方に於て……と言つてゐる」。

220. エマーソンは寸鐵警句の書き方をした人だ。私は或る有名なる批評家が次のやうに言ふのを聞いたことがある。吾人はどれか一つエマーソン論文をとりあげてその各一つ一つの文を別々の小紙片に書取り、之を帽子の中へ入れて掻き交せ、そして今度手當り次第にその各文を排列するも猶吾人は原文と變らぬ位整頓せる論文を作りあげるだらうと。

註 to write in epigrams 「警句にして書く」。epigram は「諷詩」「寸鐵警句」。at random 「手當り次第に」。about as well……as 「……と殆んど同じ位に……」。副詞 about が as well…… as を modify し居るに注意せよ。

221. 言語文章が吾人の緊張したる神経系に與ふる効力は往昔の如くではない。當今の操觚者は社會公衆の心を強度に刺戟しなくては注意を喚起することか出来ない。少くとも左様彼等は思つてゐる。ハースト系の諸新聞は眼を射る如くけげげしい見出しを用ゐるのは彼等の考へでは近代人の心は散漫でない時には忙しいし忙しくない時には散漫であるからである。これ等煽情的新聞紙のこの手段は必ずしも常に發行者個人の趣味の發現ではなく、讀者の注意を

強要する方法に腐心しゐることを示すものである。

㊦ Words do not produce the same effect upon our tense nervous systems that they once did. 「言語はそれらが嘗に與へたるが如き同一の効果を吾人現代の緊張せる神経系に與へない」。則ち同一の言語を使ふてもその與へる効果は以前より遙かに減じてゐる。例へば日本語の例をとつていへば「彼は悲觀してゐる」の文は今より二十年も前には眞に彼は悲しみはかなんでゐる感じを與へたけれども今はホンの困却してゐるといふ位の意しか傳へぬ場合が多い。tense nervous system 「張り切つた神経系」。世が進むに従ひ神経が緊張して行くので言語も強い言語を使はればこたへなくなるのである。did は produced の代り。galvanize は「電流をかける」から轉じて「刺戟を與へる」の意となる。to galvanize a person into life (死せるが如くなつてゐる人を活氣づかしむ) to arrest attention 「注意を捕縛する」則ち「注意を引く」。The Hearsts of newspaperdom 「新聞界のハーストの徒」。The Hearsts は Hearst の如き徒輩。Hearst の full name は William Randolph Hearst と云ひ米國新聞界の大立物で彼の經營せる新聞は New York American, New York Evening Journal, Boston American, Boston Advertiser, Chicago Herald and Examiner, Chicago American, San Francisco Examiner, Los Angeles Examiner 等である。この人の經營する新聞は所謂黄色紙式で物事を大袈裟に書き立て平地に波瀾を起さうとする流義である。newspaperdom 「新聞國」「新聞界」。glaring headlines 「目立つ見出し」。modern mind 「近代の心」則ち「近代人の心」。is busy when it isn't distracted, and distracted when it isn't busy. 「近代の心は兎角何物にも搔擾されざる時には忙しくしてゐるし。忙しくない時には心がクシヤクシヤして掻き擾されてゐる(いづれの場合とも雖もゆつくり或記事を讀んで貰ふこととは六ツかしい)。tricks 「手」「策略」to compell attention 「強いて注意を引きつける」。

222. 一畫家の死に際して儀仗兵を差遣せられるなどは藝術家の經歷中に思ひ掛けざる事柄である。しかし佛蘭西人は常に剴切といふことに着目して物事なすの風があるそして歩兵の一箇聯隊と騎兵一箇中隊と砲兵二箇中隊がジアン・ポール・ローランの遺骸をその最後の永眠所まで葬送したといふ事實は佛蘭人の心理状態を示すものである。

㊦ Military honors 「儀仗兵をを遣はさるゝの禮遇」。with an eye to 「……に着目して」「……を心掛けて」。justesse 佛蘭西語で「精確」「適切」等の義。remains 「遺骸」複數に注意。故に次に遺骸の永眠地とするところにも their なる複數代名詞を用ゐてある。shows how the French mind works 「如何に佛蘭西人の心が働くかを示す」「佛蘭西人の心理状態を示す」。こゝに言ふ Laurens とは佛蘭西の名高い畫家だつたが一千九百二十一年三月廿三日死亡したので斯くの如き名譽の葬式をして貰つたといふ話である。

223. ローランの畫には一種話を語る性質を有つてゐるので。恐らくは其がために同業畫家達よりは藝術心なき一般公衆から多く慕はれたのだ。無論同業畫家達に對して彼の技術上の卓越は慥に牽き付ける丈けの魅力であつたには相違ないが。

㊦ story-telling quality of Laurens's work 「ローランの畫いた繪には物語をしてゐるやうな性質があることを」則ちその畫を見てゐると何か話を聞かされてゐるやうな感じのする繪。endears him to 「……に彼を懐かしきものならしむ」則ち「……あるために彼は……に懐き慕はれる」。artless public 「藝術眼なき一般公衆」。with the latter 「後者則畫家達に對しては」。technical excellence 「専門技術上の卓越」。engaging charm 「人を牽きつける魅力」。

224. 殘忍なる正眞の貧乏神は今やこの畫家の一身に迫つて來た。

㊦ Grim and real は poverty を形容してゐる。grim 「瘴惡なる」の意だが抽象名詞の modifier となることが多い grim silence (物凄き沈黙), grim smile (氣味の悪い微笑み) の如し。real 「眞正の」則ち茲では imaginary の反對で本統に貧困の境過に陥つたといふ意。to stare a person in the face 「その人の顔を正面からツロツロ見詰める」則ち「目前に迫る」「焦眉の急に迫る」。例。Ruin stared him in the face (破滅は今や彼の目前に迫つて來た)。Facts stare us in the face. (斯く明白なる事實ある上は如何とも否定し難し)。

225. サー。ウイリアム。オスラーは科學者の使用する重苦しい氣取り澤山の用語のために科學を人生に活用することが妨げられてゐるといふ事實を指摘した。

㊦ ponderous and pretensions vocabulary 「重々しいそして氣取つた用語」誰しも知る如く科學の用語は兎角六ツケしい。俗語で言へば簡単に且明白に解るものを廻りくどく莊重なる言ひ方をして難解にして仕舞ふ傾きがある。hamper 「妨げる」。ministry は to minister (役立てる) の名詞 となれるもので ministry of science to life は「科學を人生に役立てること」。

226. ベリマン夫人は十分能力ある主婦であるがさうした能力ある主婦の常として彼女は同家の田園住宅の家政一切を豫算組織で以て切廻はしてゐた。そしてベリマン家の大まかな主人公からこの目的のために支出して貰ふ支給金の範圍を超えないやうにして來た。けれどもいくら努めても以前のやうに收支相償はしめることが出来なかつた又町の商賣人が食料

原料品に對し要求する代金の無法に高價なるには腹立ちを禁ずることが出来なかつた。實際食料原料品は昨今ではその平素の値段の二倍若くは三倍もしたんだから。

㊦ Like the competent housewife she was に於て she の前に that があるべきである。「彼女は良妻であるがその良妻の如くに」其故「彼女 極く良妻であるのだがさうした良妻の常として」。この Like.....that one is (was) の形は随分屢見の所である。例。Like a true hero that you are, don't cry. (おまへはよい兒だから泣くものではありません)。on a budget system 「豫算組織で」則ち「豫算を立てゝ掛るといふ遣り方で」。to keep within 「.....の埒外に逸しない保つて行く」「超ゑぬ様にする」。allowance 「あてがひ扶持」「手當」。for this purpose 「豫算組織で家政を切廻はす目的のために」。try as she might = though she might try, or however hard she might try. make ends meet 「端をして出會はしむ」則ち「収入と支出との兩端を一致せしむ」「收支相償ふやうにする」。to make both ends meet とする方普通である。as they used to = as ends used to meet. outrageous demands 「無法なる要求」「法外に高價なる請求額」。demand upon her purse by the tradesmen for staple articles of food この upon, by, for の使ひ分けに注意せよ。staple は「原料品」「末製品」。

227. 一年前のことですが僕が未だパリオール大學で卒業前の學生として在學してゐた時の事私はメースフィールド氏に僕等の止宿所へ來て頂き氏の自作詩を二三種朗讀して戴いたり又御談しをして戴きたいと御願ひしたことがある。スルと流石運動家だけあつて快諾して呉れて彼の家から數哩も雪の降る夕方に自轉車で來なくてはならぬにも拘らず。やつて來

てくれたのである。

㊦ **undergraduate** 「卒業前の學生」「大學の最上級生」。 **Like the sport-man that he is** (226) を参照せよ。 **to bicycle** 「自轉車に乗つて行く」。この **Masefield** といふのは **John Masefield** と言ひ **Oxford** の現存大詩人である。

228. 彼ぐらゐの地位に達するとまるで法王の様に納り返り室の真中に立ちはだかつて適々己が其夜の來客中の大立物ものだといふ事實を頻に振り廻はしたい輩も随分あるが。

㊦ **Some men in his position** 「彼の位置に達すれば……したい人は随分あることだらう」。 **to pontify=to assume the air of pontiff** (法王の體度を粧ふ)。法王といふものは随分威張り返るものらしい。 **make the most of** 「……を最も多く利用する」則「振り廻はす」。 **the lion of the evening** 「其晩の大立物」。「万人が景仰する花形」。

229. 彼の長い白髪は几帳面に額から後ろの方へ梳き上げられてある。そして彼の青白い顔には通常一種放心とか不關焉式の様子を帯びてゐるから側を通る人が只今何時頃でしやうかと時間を尋ねに近づく氣にはなれない。

㊦ **His hair is brushed back from his forehead** 「額から後へ向て髪が梳きあげてある」これはこの頃流行の髪梳き方(男子の)。 **an air of abstraction and aloofness** 「心が遠き彼方にあるが如き状態と他人の事には我不關焉といふ様子」。 **to encourage one to** 「……する様に勇氣づける」「……する氣を起さしむる」。 **to ask him the time** 時間を見知らぬ他人に尋ねるのは一寸勇氣を要する。それで成りだけ人の好さうなのを撰んで尋ねるのは通例である。今この男は六ツケしい顔してゐるので他人が彼に近寄るのを厭ふといふ意也。

230. 市場にある各種債券の中どれが額面以下、どれが額面以上に賣買せられそして何年後(まあ壹年乃至百年までの處で)に満期償還せられて額面利率は斯く斯くだから該債券に對する純利廻りは幾何であるといふ様なことを書いてある本を手に入れることが出来んものでせうか。私の知り度い事は私が假りに債券を満期償還まで持つてゐるならば私の投資した金に對する實際の利廻りが幾何であるかといふことです。

㊦ **the net return on bonds** 「債券の純利廻り」。 **bearing various rates of interest** 「各種の利率がつく」。 **selling** 此處では「賣つてゐる」に非ずして「賣れ行きつゝある」。 **at a discount** 「割引値段で」。 **at a premium** 「割増値段で」。 **in from one year to one hundred years=in a period ranging from one year to one hundred.** **say** は「假りに」「まあ言はゞ」の意。此處で一年乃至百年といふのは絶対に大切な數字ではない。只一寸大體の見當を曰はぬと方先が見込の立てやうがない時にかういふ風に言ふのである。例。 **Suppose you were all of a sudden made owner of a large fortune, say, worth a million yen, what would you do?** **to mature** 「満期になる」。 **actual return** 「實際の利廻り」。

231. 彼の人氣はあらゆる點から見ても一年以前の彼よりは遙かに上つてゐる。

㊦ **prestige** 「評判」「人氣」「名聲」。 **to all appearances** は **to all appearance** と書く「どの點から見ても」「打見たところ」。 **twelvemonth** 「一年」 **month** と單數にしてゐるに注意。但し **twelve months** と二語に離して書く時は **months** と複數にする。

232. 現總理大臣の人氣のよいのは大したもの誰で

も彼を攻撃しやうとするとその攻撃が却つて攻撃者自身を傷ける。そして大抵どうにかして總理大臣に手傷を負はしたいと欲してゐる人々は今の處最も攻勢をとることを惧れてゐる。

㊦ any attack on him 「彼に對する 如何なる攻撃も」。 recoil on the assailant 「攻撃者に戻つて来る」。

233. ヴィエナで彼は極く親切に予の前途を祝福してくれ剩へ頼みもしないのに予の旅館まで同乗してくれることを厭はなかつた。

㊦ to wish one luck 「幸運を祈る」「御無事を祈る」。 genially 「親切に」「柔かに」。 to be above..... = too great or too good for 「.....するを屑しとせぬ」「.....するを耻づる」。例 He is not above asking questions (彼は質問することを耻とは思はぬ)。 One should not be above one's business. (自分の職業を耻ぢてはならぬ)。 at his own invitation 「こちから頼まないのに」。

234. 時は春。春といつてもかの鋭い風の吹く三月の某日であつた。三月といへば三月の風は冬の名残りであるけれども直きに之も去つて今にあれもこれも色々な生物が大きくなつて行くんだなあといふ柔かい豫知を以て吾人の感覺が痛みを覺える程柔かで且甘つたるく愛を求めるやうな氣分が漲りだすのである。

㊦ gusty は gust (一陣の秋・突風) より出來た語。 reminiscent of winter 「冬を思ひ出ださしむる」。 reminiscences (懷舊録・追懷談) はこれと同根。 whose blasts are succeeded by 「その春の寒風は去つて.....が来る」。 wooing 人間でも動物でも「異性の愛を求めて色々と言を盡し嬌態をする」の意。

prescience 「豫知」「先見」。 the senses ache with.....of growing things. 「萬づの物皆日に日に生長しつゝあるんだといふ事を豫知して何だか自分の感覺神經が痛むやうな鋭い印象を受ける」。

235. 書道は吾人にとっては瑣末な問題であるけれども日本では一の美術となつてゐる。

㊦ concern 「關係」「心配」。 a matter of minor concern with us 「我々にとりては小さき關係の問題」則ち「瑣末な問題」。 fine art 「美術」。

236. 外國交易の初期に於て日本人は之と同じ位の程度に雄辯術が西洋文明に於て占めて來た位地を了解するに苦んだ。

㊦ equally 「歐米人が日本の書道が一の美術だといふことがどうも腑に落ちぬと同様に」。 to be at a loss to understand 「了解に苦む」。 the place that oratory has occupied in the Occidental civilization 「西洋の今日の文明を齎すに付き雄辯術が大に効果があつたので。それでその雄辯術の西洋の文明に於て占めてゐる位地(高き位地)。 Occidental (西洋の)の反對は Oriental (東洋の) いづれも頭文字で始める。

237. 彼女は何も笑ふべき事がないのに彼が時々微笑むのを見た。そして一度多くの考へを包容してゐる沈黙からフト彼女が顔を上げると彼は前方に身をよせかけて明かに彼女を見詰めてゐたのである。その見詰めてゐる處を見られたものだから彼は少年の如くに顔を赧めた

㊦ looked up out of a silence that held many thoughts 「多くの考を包容する沈黙」とは「黙んまり込んでしきりに物思ひに沈んでゐたがその黙想からフト顔を上げた」。 so obviously 「明かに(誰が見たつてさうとしか見えぬ)」

238. 幼児と會見するに際しては吾人は出来るだけ吾人自身幼児の如くに振舞はねばならぬ。さればとて無論吾人は自體を縮少も出来ねば平素の服装を脱いで幼児の服装にとり換へることも出来ぬ。又は乳母車に乗つたり親や乳母の手に抱かれてその今會見せんとする赤ん坊の面前へ罷り出でるといふ風にも參らぬ。最上の方法は吾等が以て斯くすれば赤ん坊を喜ばしめると考へてゐる先入主的の考へ例へば、赤ん坊の機嫌をとるとか、顔を歪めたり、しがめたりするとか、櫛るとか、さうした先入主的考へを室の入口で帽子を外して帽子掛に掛けておくやうに捨てゝ仕舞つて、赤ん坊が他の赤ん坊に會ふ時に表はすやうな勿躰振つたしかも親しげな控へ目の躰度に基いて吾等の身のこなしを作るにある。

㊦ *one's self* は *oneself* と同一。後者の方普通。 *to exchange something for another* 「取換へる」。 *perambulator* 「乳母車」。 *into the presence of* (.....の面前へ) は *can we arrive* と *be conveyed* と兩方の動詞にかゝる。 *as it were*, 「恰も」「いはゞ」。 *grimacing* 「何人も赤ん坊に對してなす如く顔を七面鳥のやうに色々變化させて赤ん坊を笑はせやうと努むること」。 *to model.....on.....* 「.....の風に倣つて.....を作る」。 *on* の代りに *upon, after* を使つても同じである。

236. 若しも濠洲移民制度にして従來の政策に従つてやつて行くとせば今後一千年間は濠洲に人口充滿することはなからうと説くものがある。そして實際濠洲は該國內に白人種のみを置いて他は一切入れぬのは濠洲人の権利であつて何人も之に異議を唱ふるも

のがないけれども元來白人濠洲なるものが實行し得べき提案であるか大に尋ねたいものである。

㊦ *if settlement there is managed on the basis of past policy* 「同地の移民制度が過去の政策の規準に従つて行はるゝならば」。この *there* は *settlement there* と一所になるので「該地の移民制度」。 *basis* は「基礎」「規準」これの複數形は *bases*。 *it is said* 「かういふことが言はれてゐる」則ち「かういふ説をなすものがある」。 *to question* 「.....に異議を挟む」。 *to preserve the purity of the white race* 「白人種の純粹を維持する」則ち「白人種だけにして他人種を一切雜へぬことを持續する」。 *it may well be asked* 「尋ねらるゝも決して無理な問ではない」「蓋し尤もな問である」。これと同じやうに *it may well be said that.....* 「.....といふも又宜なり」。 *a white Australia* 「白人の濠洲」「他人種は一切入れぬ白人専用の濠洲」。この不定冠詞 *a* は何のためと附しあるかといふに「白人濠洲案」の立て方に色々ある故その一の意。 *feasible* 「實行し得べき」。

240. 自然美の大部分は悠々と研究も出来るし寫眞になり畫になり寫しとることも出来る。然るに霜や雪の微細なる結晶は吾人が之を視てゐる内に融けて仕舞ふのみならずこの霜雪のシメトリー (均齊の形) は非常に小型に出来上つてゐる故肉眼では之を賞美することが六ツケしい。

㊦ *beauties of nature* 「自然美」。 *at leisure* 「ゆつくりと」。 *reproduce* 「複寫する」「摸寫する」。 *by pen and brush* は *by pen and by brush* であつて「ペン畫でなり若くは彩畫で」。 *by the camera* 「寫眞で」。 *scale* 「規模」 *on a large scale* 「大規模に」 *on a small scale* 「小規模に」。 *the unaided eye* 助けられざる眼」則ち「望遠鏡とか顯微鏡とかに頼らざる眼」則ち「肉眼」。 *symmetry* は適當なる譯語が無い。矢張り

原語の儘シメトリーと言つておく方がよい。雪の結晶形の如くキチント前後左右相對する部分の均齊したる形をいふのである。

241. 露の發生は太陽の熱が徹去せられると空中の水の微分子が空中飛遊の速度を緩めるからである（それで多分の分子が一緒になつて水滴を形成する）吾人は露が降るといふけれども實際は降るといふよりは下から上へ昇つて來るといふべき場合の方が多いのだ。

註 to slow down (or up, off) 「速力を緩める（汽車、汽船等に於て）。molecules 「分子」。分子の下に atom 「原子」がある。we talk about dew falling 「露の事を降るといふ」。

242. 歐洲到る處の街道やら小徑（こみち）に沿うて屢出會はすあの聲こそ出さね道行く人に參拜を促す路傍の祠（ほくら）は亞米利加では一向見受けぬ光景である。さうした敬神の碑は亞米利加の天地にはふさはしくない。

註 wayside shrine 「路傍の祠」日本で言ふと石地蔵の類。silent invitation to worship 「尊敬に對する無言の招待」則「聲にこそ出さぬけれどもサアサア皆こゝへ來て之を拜めと勸むるが如き路傍に立てる社祠」。こゝの worship は名詞である。out of place 「不釣合の、不相當の」。

243. 彼の友で且同僚だつた男が捕へられ射殺せられた。デュークス自身にしても幾通りかの活動寫真劇を作りあげるに充分な位危機一髮的遁れ方をしたのだ。

註 colleague 「同役」。hairbreadth escape 「きはどい命拾ひ」「危い助かり方」。to fit out 船とか室とかを「艦装する」「こしらへ上げる」。活動寫真劇を fit out するは「首尾一貫の一

通りの劇に仕立てあげる」の意。fit out は又 fit up とするも同義である。enough.....to とあとの to に enough がかかつて居ることに注意。movie drama 「活劇」。movie は moving picture から簡單にしたもので movy とも綴る。

244. 最近英國政府に對して盡した功績を認められてナイト爵（勳爵士とも譯す）に列せられた未だ三十臺のこの青年はペトログラード、モスコー及其他の露西亞の中心都市に前後十八箇月在住した。或時は臨時調査機關の一係員だと振れ込んだり。或は兵器製造所の職工となつたり。或は赤衛軍に投じたりなんぞして本國政府に對して多大の情報通信に努めたのである。

註 in his thirties 「三十臺」。to be knighted 「ナイト爵に列せらる」。in recognition of his services to 「.....に盡したる勳功を考へて」。to pose = to give oneself out as 「自分は.....だと發表する」「.....の態度をとる」こゝでは「我は臨時調査機關の役員だと言ひ振らして活動した」の意。ran an extensive intelligence service 「多大の通信の役を勤めた」この run service の構造は to run errands (messages) 「使者の役を勤める」と同じであるとなる。

245. モスコー及ペトログラードへ屢出掛けて——そして予の司令官はかうした出張の度數を出来るだけ多くするやうに取計つてくれた——予は重要なる官邊の出所より軍隊に關係のある重要なる報告材料を掴んで來たり又は予が興味あり且價值ありと思つた様な社會一般の狀況に關する報告材料を蒐集することが出來た。

註 saw to it that..... 「.....となるやうに取計つた」この場合の

see は make provision, take care, give attention, make sure などの義がある。而してこれ等の使ひ方に二通りある see that..... と see to.....that.....と。例. See that it is done before sundown. (日没迄には其を仕上げるやうにせよ)。 See you don't catch cold. (風を引かぬやうに氣をおつけ)。 A good housekeeper will see to everything herself. (家政の巧みな主婦は萬事自分で目を通す)。 I will see to it that your interest be protected. (君の利益を保護させるやう氣をつけます)。 it は that 以下の clause を受く。 that 以下の clause に於て動詞が root (be の如く) になつてゐるのは may とか might とかが省かれたるに由る。 to bear upon.....に關係のある」。 source 「情報などの出所」。

246. 恐怖政策と不斷のプロバガンダとに由つて漸く軍隊内の兵士どもの脱走を防いでゐる。軍隊内に絶えず兵士引留め策の宣傳を行ふの要あるは如何に強く赤衛軍が眞に赤化したるかを示す證左である。

註 The rank and file 「兵卒(全體として見たる)」。 rank は横列。 file は「伍」である。 to keep in line 「隊内に引留むる」則ち「脱走しない様に引留める」。 terroristic measures 「恐怖手段」。 indication 「徴證」。 'Red' 特に quotation mark を施し且頭文字を以て始めてゐるのは最近露西亞の現状より出来上りたる red の新用法だからである。

287. 予等が湖水の眞中に漕ぎ出した頃ほひ月は晴れ晴れしく美はしく上つた。予等は疲れ果てゝはゐたが心中樂しかつた。予の侶等は何か歌を唱つてゐたが予は予が今見捨てゝ去らんとするこの大なる悲しき國土のことを冥想し續けたのであつた。予は今予の故國に亞いで親み愛するに至つたこの露西亞國をつくづく眺め又色々に想うても見た。そしてこの

國の運命は如何なるんだらうと涙ぐましくも不安に堪へなんだ。

註 The day rose=the sun rose. on what is to be her fate 「彼女の運命がどうなるかと」。文法的に譯すれば「如何なる運命が彼女の運命となるのであるかと」。

248. 野の草は又もや綠色に復り櫻花は空中に芳香を漂はせる陽氣になつたものだから白ツボンを着けゴム底の靴を穿いた熱心家——斯ういふ人には春が來たといふことはテニスが來たの意味である——は自分のラケット丁寧に調べたり冬の中に土龍(むぐらもち)が彼のテニスコートにあけた穴や隆起やらをどうしたら最も平つたく地均しすることが出来るかと考へ込んでゐる。

註 now that..... 「今や.....となつたから」。 that 以下は now を modify してゐるので.....する今に於て。則ち「.....するものだから」と譯する。 to scent the air 「空中に香を漂はす」。 white-trousered, rubber-soled enthusiast=enthusiast with white trousers and rubber-soled shoes. to whom spring means tennis 「その人には春とはテニスである」 「春が來ればとて外に何の目的もない只テニスをやりたい」。 to look to=to consider, take care of, be careful about. 例 Look to your manners. (行儀に氣をつける)。それから look to に see と同じ様に (245参照) look to it that.....の構造もある。 holes and ridges made by the moles 「土龍(むぐらもち)が掘つた穴及土の隆起」。 smooth はこゝでは動詞(動詞の場合には smoothe と綴る)で通例 out, down, away 等の前置詞を附して用ゐる。 how best to 「どうしたら一番よいかその方法」。

246. 一日三百三弗の給料は労働。これがもしも労働

ならテニスをやつて遊ぶことが材木を鋸で挽く仕事と同一だといつてもよいさういふ労働に對して貰ふのなら悪くはない。この額はハヴァナ市及全キューバ島民の人気男エミリオ・エクイラズがハイアライ戲を遊ぶ謝禮として彼の給料袋に入れて貰ふ金額である。因にハイアライといふのは丁度米國人の野球に於けるが如くキューバ人の熱愛するゲームである。

註 is an much like work as playing tennis is like sawing wood「それはテニス遊びが材木を挽く仕事と似てゐると同じ位に多く労働に似てゐる」則「これにもしも労働に似た點があるとすればテニス遊びが材木挽きに似てゐるといへよう」。
gets in his envelop 給料 貰ふ時に「袋」に入れて貰ふからかう言つたのである Jai-Alai は西班牙語でハイアライと發音するキューバ地方の遊戲の名である。that is to Cubans what baseball is to Americans「そのキューバ人に於けるは猶野球の米國人に於けるが如し」則ち「野球が熱愛されてゐると同じ位の程度にキューバ人に熱愛されてゐる遊戲」。この A is to B what C is to D. は比例の form なのでよく出る形である。例 Lungs are to the human body what leaves are to the tree.「肺臓の人體に於ける關係は恰も葉が樹木に於けると同一である」。

250. 何時でもエクイラズが出場するといふことが發表されると人一人漸く立てるやうな狭い場所でも中々得悪い。

註 is billed to 「……するやうに發表せらるゝ」。bill は日本語の所謂「ピラ」で「張札・引札・番附」等の意 (bill of fare 「献立表」) であるところから動詞にするとさういふ「紙片に印刷して頒布する」「發表する」である。standing room 「人一人立つだけの場所・すき目」この room は室と譯すべからず。is at

a premium 「額面以上である」「容易に得難い」。

252. 彼の人気たるや大したもので數日前ハイアライ戲の熱狂者等は彼に大型の自動車を一臺贈呈した位である。

註 Jai-Alai fans 「ハイアライ戲の愛好者」。fans [i fanatics を縮めてかくいふ近代語で運動競技の熱狂者 (観る方) を言ふ。baseball fans, football fans 等の如し。to present one with something の形に注意。

252. 凡ての運動遊戲中恐らくハイアライ戲程闘者の大なる膂力・忍耐力・熟練及巧妙を要するものはなからう。

註 to call for=demand, need. none calls for greater strength 「この競技程大なる力と……とを要するものがない」。on the part of the player 「競技者の側に於て」。

253. ゴルフ戲は今に専門的に之に従事する人々に對して金儲け策となる點に於て baseball と相比儔するだらう。

註 to rank 「位する」「位置を占める」to rank with (肩を並べる) to rank among (列する) to rank next (に亞ぐ)。a money-maker 「金儲けの手段」。go into=enter.

254. 歐洲戦争の初め頃我陸軍省及海軍省 (米國) は實用に供するヘリウムを天燃瓦斯から抽出する實驗作業をさせる爲め鑛山局へ相當の經費を廻付した。そして數ヶ所の工場で實驗して見たが内一ヶ所だけは成功した。是に基いて今度大規模のヘリウム抽出工場が建設せられたがその設備の出來上りを試験し運轉開始するまでに進んでゐる。

註 to appropriate は豫算などを「充當(あてが)ふ」to appro-

private.....to.....for「.....の目的のために.....に.....の経費を充當ふ」。
 on は work on で「.....に關する實驗的作業」。 commercial
 extraction「工業的抽出」とは抽出して之を社會の實用に供することを
 言ふ。 commercial は屢 military や scientific の對語となつて軍
 事上とか科學上の目的でなく之を商品的に扱ふ事。 commercializa-
 tion of aeroplanes といふと飛行機を一般乗客用(料金をとつて)とか
 貨物運送用に供することを指す。 helium とは水素よりも軽い氣體。 in
 connection with「.....に關聯して」より單に「.....に於て」。 based
 on this「是に基いて」。 to test out「徹底的に試験する」。 to put
 into operation「運轉を開始する」。

245. ヘリウムを使用すれば空中旅行は戦時と平時と
 に拘らず從來と比べて餘程安全となる。ヘリウムを
 詰めた飛行船と水素飛行船とを比べると事實上甲鐵
 船と木造船と位の差がある。

註 air travel「空中の旅行」。 dirigible は元と形容詞で「操縦
 し得る」の意より名詞として「操縦し得る飛行船」の意とな
 る。 A dirigibleis to a hydrogen dirigible practi-
 cally the same as.....is to a wooden ship の形は前に出た
 A is to B what C is to D の形と同じ筆法である。

256. 「『それから二人は婚禮式を擧げて仲よく暮した
 とさ。めでたしめでたし』といつた鹽梅のお話の結
 末は獨逸では諺にある鶏の齒位稀らしい(大抵の話
 は悲劇に終る)」と紐育イーヴニング。ポスト紙上
 でジョージ。ケントは言つてゐるそしてこの同じ國
 が嘗てはお伽噺の編輯家にしてお話を目出度い結末
 にして閉ぢることの名人なるジエーゴブ。ルードウ
 イグ。グリムを産した昔日のことを考へて感涯無量
 である(國民性が悲觀に傾いてゐる)。

註 “And they were married and lived happily ever af-
 ter” は色々の romance や adventure の話の大團圓によく
 ある形式であるがこの種の story の結末は現今の獨逸の文學に
 於て寥々たるものである。言ひ換ふれば獨逸一般の國民性は悲觀
 に傾いてゐるので文學上の作品も悲劇物が多くを占めてゐるとい
 ふ述懐である。 as rare as a hen's teeth といふのはよく「罕
 なり」の意を表はす simile (比喩)である。 proverbial「諺の
 やうな」「よく人の口に乗る」。 fade-out「話の結末」活動寫眞
 の終りに映畫が消えて行く有様から來た新語である。 to muse
 over「.....を沈思默想する」。 the greatest of happy-enders
 「小説の結末を幸ある楽しきものとして閉ぢる作家の隨一」。
 happy-ender=writer of fiction that ends happily.

257. 一千九百十七年則ち戦時の真最中に一方に於て
 戦場に出てゐる兵士は彼が受けたる大經驗に依て道
 德的に若返り精神的に新しき元氣を吹込まれて歸つ
 て來るだらうと豫言する人があると共に他方に於て
 兵士は戦場の悲惨事によりて墮落し感情硬化して歸
 つて來るだらうと豫言するものもあつた。而しこの
 二種の豫言者の孰れも適中しなかつた。兵士は改造
 せられて歸つて來もせず又野獸化して歸つて來もし
 なかつた。之に反し昨日の勇士は精神的に疲れはて
 る歸つた——則ち則社會に間に合はぬ人となつて。

註 heyday は full bloom とか flush の意で in the heyday
 of his prosperity (彼の全盛時代に) とか in the heyday
 of their youth and strength (彼等の若盛り且働き盛りに)
 の如く使ふ。 1917 は歐洲戦争の末期に近いけれども戦は尙酷
 であつたから in the heyday of 1917 を「戦争の真最中
 」と譯した。 to rejuvenate「若返らす」。「道德的に若返らす」
 とは子供の如く無邪氣に歸り奸智とか狡猾とかあゝした老獪さが

なくなるの謂ひ歟。spiritually inspired 「精神的に元氣を鼓吹せられて」則「潑刺たる新しき元氣を得て」。degenerated and hardened by the horrors of the battle field 「あまりに怖ろしい戦場の光景に會うて人間が墮落して仕舞ひ感情も硬化して仕舞つて喜びも悲しみも一向彼を動かし得なくなる」。was right 「言つたことが中つてゐた」。之の反對は to be wrong である。regenerate と degenerate とはよく似た形だが前者は「生れ代はらしむ」「刷新する」の意。degenerate は「衰頹する」「退化する」「墮落する」。

258. マホメツト教は目下阿弗利加に於て活動せる最も侵略的の傳導團體である。(北方阿弗利加)回々教徒の大部隊は非常なる速度を以て南方に猛進しつゝある、そして途々多くの土民にその虚偽の宗教を宣傳しつゝある。

㊦ aggressive=offensive 「侵略的」で defensive, protective の反對。missionary force 「傳導勢」「傳導團體」。at work 「活動せる」。horde は「遊牧民の群」の意より軍隊を輕蔑して言ふ時に用ふる。sweeping southward 「南方へドンドン進んでゆく」。stride 大股の歩幅 with rapid strides. 「非常な速度で」。with great strides, with a vigorous stride などの類句がある。reach the natives with their false religion 「彼等の虚偽の宗教を以て土民に接近する 則「傳導する」。

256. 或夜深更に思ひ掛ない時に突然出掛けて行つて各部の經營振に關する報告を直接に聴取しやうとする例の彼の筆法で寄宿舍に巡視に行つた。

㊦ at first hand 「人傳てならで 直接に」之の反對は at second hand.

260. 「放浪者の如くに楽しき」といふのは自分の氣

の向いた儘に天下の公道を夢の如くにさまよひ歩くことから生ずる心配などが微塵もない生活状態をよく表はしたものだ。

㊦ carefree=free from care 「心配のない。係累のない」。open road 「公道」。wherever fancy leads 「氣のむく儘に」。

261. これ等の連中は涓々として流るゝ鱗棲む流れの邊りに天幕を張りパーツと明るく燃え上る焚火の前に平和に煙草一二服吸つて其から河や森の音樂(流や風の奏する音樂)に調子を合せて夜の褥に就くとかうした生活振りは決して小さからざる特權であることを實現してゐます。

㊦ to realine 「實地に現はす」。trickling 「涓々として流る」清く淺き流れがチヨロチヨロとやさしい音を立てゝ流る光景。to camp 「天幕を張つて露營す」。smoke their pipes of peace 「彼等の平和のパイプを吸ふ」則ち「心は何の曇りも憂もなき研え澄んだ 平和な心で靜かに煙草(刻煙草を西洋煙管に詰めたるもの)を燻らす」長閑さを描はしたるもの。roll in は普通の場合ならば go in とするところだが天幕生活だから洒落てかうしたので「床に就くの意」。for the night 「寝るために」。例 He retired for the night. to the music of the stream and woods 「流れや森の音樂と調子を合せて」「水の音風の音にピッタリと心を合せて」。to は in harmony with の意。

262. 斯く少額の出費で以て遠距離に達し斯く多く變つた土地を見て來られる旅行の方法は他には全く無い勿論露營具一式買入れに最初一寸費用が要るが是はすぐにもとをひくのみならず一度買へば數ヶ年の間役立つ。

㊦ to cover great distances 「遠距離に達する」。country

茲では「國家」でなく「國土」の義 *variety of country* 「變つた土地」。 *outlay* 「支出」。 *pays for itself* 「其自身の費用を支拂ふ」とは最初に多額の入費がかかるけれども其以後日日の生活費が非常に安價であるから *hotel* か何かで暮す費用との差で以て直きに資本(もと)を引いて仕舞ふの意。 *is good for several years* 「數年間は保つ」。

263. 消耗的體質の民族であり色々多くの事業を向ふ見ずに遂行するの癖があるので我等の神經組織中のある者は絶えず恐ろしき緊張をなしてゐる。そして時々恰も空氣を詰め過ぎたタイヤ自動車若くは自動車の如く破裂するのだ(劇しき神經衰弱)。これが起つた場合には専門醫師は種々研究の結果破れた神經を恢復するには自動車で乗り廻はすことに匹敵する療法は無いと言つてゐる。元來この健康回復の目的のために自動車乗りをさせる療法の背景に存する根本原理は其は病者の心を轉換し且間斷なく空氣を變へるからであるらしい何か己の心配事のために死ぬ位憂へ惱んでゐる神經病者はいつでも「お忘れなさい」を繰り返し聞かされる。所が困つたことに人間の心といふ物はその心の働きを全然新しい方面へ向け換へなければこの忘れるといふ事は容易には來ない様に出來てゐる。

㊦ *hectic* 「消耗性の」。 *given to* 「……に耽る」。 *under a strain* 「緊張してゐる」。 *to give way* 「降參する」「倒れる」。 *nothing equals it for—ing* 「……をなすに其に及ぶものが無い」。 *shattered nerve-fibres* 「壊はされた神經纖維」則ち「神經病」。 *change of air* 「轉地」。 *nervous wreck* 「神經の難破者」則「神經病者」。 *to worry oneself to death*

over one's troubles 「心配事でひどく頭を悩ます」。 *comes hard* 「容易には來ない」「六ツかしい」。

264. 日本では日米戦争といふ問題が屢激しき議論の主題となり。鋭き新聞論説の主題となり又興奮したる新聞記事の主題となることがある。

265. 歐洲列強が没落するところを眼のあたり目撃したる後に於て吾人の大多數は如何なる國際間の係争にもせよ之を新しき語で言へば塹壕法にて決せんと試みるの愚なることを明白に自覺してゐる。

㊦ *to go down into ruins* 「没落する」。 *to settle an international quarrel by the caveman method* 「穴人法に依りて國際間の争を決する」とは今度の歐洲戦争は諸君も知る如く塹壕戦であつた。それで今後も戦争となればこの塹壕戦法を無論用ゐることであらうが穴居人法と書いたのはいくらか大古の穴居時代のことを洒落て文明が逆轉して再び野蠻なりし昔の状態に復るの意に取れぬでもない。要するに茲の意味は「國際間の争を干戈に訴へて解決する」の意である。 *so to speak* 「言はば」の意であるが *caveman method* などいふ句は一寸珍しい句だからその儘言ひつ放しには致し難いので *so to speak* を添へたのである。それで余は新しい語を用ひて言へばと譯した。

266. 日米兩國は開戦に引込まれるには餘り隔たり過ぎてゐる。

㊦ *to draw a person into* …… 「……をなす様に引きずり出す」。例。 *I felt it hard to draw him into talk*, (彼に口を開かせるに可なり骨が折れた)。 *to draw a person out of* …… (*into* の反對)もある。例。 *It was he who, at the last moment, drew me out of the temptation*. (危いところでその誘惑の手から僕を難して呉れたのは實にあの人でした)。

267. 吾人は公開なるものを民衆政治の大黒柱の一と

して之を貴重視するものであつて、又貴重視するも理由あることである。其は凡ての弊害をピンからキリまで除去するものではないけれど非常に多くの場合に於て弊害除去に効あること数字的に列挙し得る位である。

㊦ *cling to our faith in publicity* 「公開を以て……なりと信することを固守する」「公開が……なりと固く信ずる」。
and rightly 「そしてさう信ずるのはチャンと道理に基いてのことである」。
safeguard 「護衛物」だから「大黒柱」と意釋した。
from ague to zymosis 「瘧より醗酵病に至るまで」これはどういふ意味かといふと初め *cure* なる語を使つたものだから醫術の語で通さうとしたので、病名の語彙に於てアルファベット順に見て行くと *ague* が第一に位し *zymosis* が最終に位してゐてこの間に四百四病否無数の病名があるのである。故に余は「ピンからキリまで」と譯したのである。普通「ピンからキリまで」の英語は *from the eggs to the apples* といふ。*cure* で初めたものだから徹底醫術語を使用したいので最後にも *cases* (病症若くは患者) を用ゐてゐる。

268. ジエネヴァ國際聯盟會議に於て同聯盟の特別委員會の議事を公開すべしとのロバート・セシル卿の動議は否決し去られた。

㊦ *League of Nations* 「國際聯盟」。*Assembly* 「會議」。*to vote down* 「否決する」。*motion* 「動議」「提案」。*publicity in the proceedings of the select committees* 「特別委員會の議事に於ける公開」とは「議事を公開すること」。*committee* は集合名詞で一つの問題を協議するための幾人かの委員の集まりである。だから *committees* は各種の委員會があることを指す。

266. 汝の相手が並外れに控目に物を言ふ時は彼は公

開の原則を破るの罪を犯してゐる。彼が並外れに饒舌なる時は彼は宣傳による罪を犯してゐる。宣傳を述ぶるは他に對する批難を言明するに同じい。目今は宣傳は虚言と同意義となつて仕舞つた。

㊦ *more reticent than he should be* 「人として己の言を控目にするのは善いことだが度を越えて控目に過ぎる」。*synonymous with* 「……と同意義の」。

270. 倫敦に於ける獨逸對英佛二國間の係争の難問題は償金支拂の方法とか或は支拂はるべき總金高とかの問題でなく獨逸が講和條約上のその責務を認めるか獨逸が戦争を開きたる大罪の責任を正直に認むるか又巴里講和會議の條件を大體として承引する否かかの問題である。これ等の問題のいづれに對しても獨逸は應諾することを回避したそしてその回避は頑固なる拒絶に均しくなつたのである。

㊦ *crux* 「難問題」。*struggle between Germany, on the one side, and France and Great Britain on the other,* 「一方の相手方は獨逸國他の相手方は佛蘭西及英國。この双方間の争議」。*not so much A as B* 「孰らかと言へば A を言はんよりは B の方なり」更に碎きて譯すれば「A ならずして B なり」但しこの文に *as* が二つあるが先の *as* は *as to* (……に關して) *as* であつてこの *not so much…… as* の公式の *as* は後の *as* である。*criminal responsibility for the war* 「開戦の全責任。しかも其が有罪なる責任」。*in substance* 「枝葉の點は兎に角大體として」。*Paris terms=terms of peace concluded at the Paris Conference.* *amounted to* 「達する」「……までに至る」

271. 勉強とは學ぶことゝともに忘れること (間違つ

た學問などを覚えてゐてはいけないから之を捨て、
仕舞ふ)をも意味する。

㊦ Study means unlearning as well as learning. 「勉學
必ずしも學ぶことのみを意味せず時に由つて學んだ嘘を捨て、仕
舞ふことも必要である。則自己の師の説くところでも取捨が必要
だ」。

271. レニン及トロツキーの徒も必ずや次の如き事に
氣がついて來たらう。其は、假令へば波蘭との戦争
の如き對外國戦争があらうとも之に屈せず若くは多
數露西亞人が外部より露國の革命を顛覆しやうとす
る畫策だと信じてをるもの(諸外國壓迫的体度)あ
るも之に屈せず軍隊及國家組織(之でも一つの組織
と言ひ得べくんば)を團結して之に當るは容易だけ
れども暴虐なる政治と堪へ難き生活状態に反抗して
起れる共同の喊聲にかぶれた不平不滿の被壓迫民衆
に向つて露國兵を差向け之を討伐せしむるは容易の
ことに非ずと。

㊦ are evidently finding 「疑もなく……に氣がついてゐるに
相違ない」。it is one thing to…… and quite another
(thing) to……これはよく議論文に出て來る公式で「……するこ
とは一つの事柄であつて……することは似てゐても全然別事に屬
する」。例 It is one thing to blame others, and quite an
other to give an example yourself. (他人の缺點を習げる
は易しいが自ら範を垂れるのは難い)。to hold together 「チ
リチリバラバラにならぬ様固めておく」「團結する」。in the
face of (in face of とも書く)「……を冒して」「……を意とせ
ずに」。what they believed to be attempts from outside
「實際はさうではないかも知れないのであるが 彼等が外部からの

——せんとする畫策だと 信じてゐる事柄」則ち「彼等の所々外國
の陰謀」。

273 一千九百二十一年三月二日に七十一歳を一期と
して死んだチャンプ。クラークはまだホンの子供の
時自分の名がポーチャンプだつたのをチャンプと變
へねば厭だと駄々を捏ね通した男だが、この事柄は
如何にも彼の人格を躍如たらしめてゐる。「ポーチ
ャンプ」といふ名は實際は彼の母の里の姓なのだが
何だか高慢ちきに聞こえたのだ。それで未だ年も行
かぬ癖にチャンプは取り澄した顔をして兩親に一切
ポーチャンプの名を記した手紙が來ても一切開封し
ないし、ポーチャンプの名を記した小切手でも之を
現金と換へやうとはすまいと言つたといふ話である。

㊦ It is characteristic of…… 「……といふ事は彼の人格を示
してゐる」。little more than a boy 「子供以上たること
極く少し」則「未だホンの子供」。insisted on changing 「變
へることを主張して止まなかつた」。though it was in fact
his mother's family name 「實際それは彼の母の里方の姓で
あつたが」時々子供の呼名 (Christian name). に母の里方の姓
を與へることがある(我國では姓を以て呼名にすることは斷じて
無いと言つてもよいが)。これはそれである。as the story goes
「傳説に従へば」「噂によれば」。類例 as the saying goes (古
語に曰く)の如し。to cash checks 「小切手を銀行に持参し受
取人の署名をして現金に換へること」。

274. まだ若い頃には彼は一寸學者だつたのだ、そし
て僅かに二十三歳の時にマーシャル大學々長となつ
た、斯くてこの國に於ける最年少の大學々長たるの
名譽を擔つた。

㊦ something of a scholar 「一寸學者風のところがある」
 例. I am something of a carpenter. (私は是でも一寸大工の真似が出来ます。)

275. オレゴン州ポートランド市の公立図書館は同館経営者に於て定めた主義を實行してその主義を明らかにしてゐる。その主義とは斯うである「公立図書館は一の大なる商事會社で納税者は實にその株主なのである。だから図書館として納税者(則市民)の理想にかなふやうに努めて行きさへすれば納税者(市民)はその投資に對して相當の利益を得るといふことになるだらう。

㊦ to exemplify は illustrate by example の義で「定めた主義綱領を實地に行うて世間にその主義の程を知らしめる」。
 to lay down 「法律とか規則とかを制定する」。 that "the public library is....." の that 以下は principle を受ける。
 to live up to 「.....にかなふやうにする」これは前に一度出た phrase である。 proper return on their investment 「彼等の投資に對して相當の利益」。

276. 獨逸人自身にとりて起らんでよかつた最大不祥事は今度のあのやうな邪まな戦争に於て萬萬一勝利を占めることであつた。他方に於て獨逸人に對する最大の親切は彼等をして今度の戦争は利益がなかつたことを覺らしむるにある。

㊦ The worst possible thing 「あり得べき最も悪しき事」則「是以上なき最不祥事」。 that could have happened to the German people 「獨逸人に降りかゝつて來ないとも限らなかつた(幸ひにさうならずして濟んだのは大慶の至りであるが)。 on the other hand 「他方に於て」。 they should find that.....

「彼等に.....を覺らしめればならぬ」。 the war has been unprofitable=there was no gain in the war.

277. 地球上の凡ての文明國の輿論は一致して如何に巨額の賠償金と雖もそれが餘りに巨額にして獨逸の支拂ふことの出來ない程度で無い限りは獨逸として支拂はしむべきであつて決して巨額に失する虞は無いといふ事を主張せねばならぬ。

㊦ public opinion 「輿論」。 no cost can be too great for Germany to pay 「如何なる賠償金も獨逸として支拂ひ得ざる程の巨額に過ぐる能はず」則「いくら賠償金を取り上げてい猶も取り足りない感がする」。この negative+too の形式はよくある形だがやゝもすれば間違ひ易い。例を挙げると Drinking water cannot be too pure. (飲用水は純良な程よい)。 It is never too late to mend—Proverb. (過を改むるに如何に遅くても改むるに越したことはない)。

278. この人の眼や、僅かしか爲ないがその僅かの意味深重なる身振りの中に燃えてゐる生の方は熾烈な集注した天稟の氣質を表はしてゐた。この氣質たる之を消し盡す(彼を無きものとなす)に非んば抑へる能はざるが如き氣質であつた。

㊦ vitality 「生活の力」「活力」。 revealed an intense, concentrated nature 「.....より察すれば彼が熾烈なる集注的の氣質を有することが分る」。 short of=lacking, in want of. 例. We are short of hands. (人手が不足してゐる)。 by nothing short of extinction 「消し去ることを除きたる如何なる方法によりても」「消し盡されば.....が出来ぬ」。

279. デーヴイド。ペラスコの性格は今日と雖も寸毫變つて居らぬ——若し少しでも變つてをるとすれば彼の性格は度が強くなつてゐるのみだ。

㊦ **not a whit** 「少しも……せぬ」。 **if anything=if there is anything different.** 「若しもちつとでも變つてゐる點がありとすれば。

280. この青年は夜間街路を逍遙し歩くの癖があつた。晝間は精一杯働いておいて、一度夜の幕が落ちるを見るや、彼はブラブラ散歩し廻はるのが好きだつた。それは只新鮮な空氣を吸ひたい爲のみでなく靜かに空想に耽りたいが爲であつた。

㊦ **given to** 「……に耽りたる」。 **Hard working in the day time** 「晝間に精一杯働くものだから」。夜間は **at night** とし夜間は **in the daytime** とすに注意。 **after he saw the curtain fall** 「日が暮れた後」。 **the curtain falls** は演劇の語で「幕が落ちる」則ち一幕の終の意より一日の終り一生の終りの意となるのである。 **to commune with his thoughts** 「己の思想と親交する」則「空想に耽る」。

281. 彼の海狸のやうな額から察するに彼は夢想家に非ずして建設家である。

㊦ **beaver-like brow** 「海狸の如き額」。 **the builder, the dreamer,** と **the** を附しあるは **the nature or the ability of a builder, a dreamer** の意で **the+common noun=abstract noun** の一つの場合である。例 **He felt the patriot rise within his breast.** (彼は己の胸中に愛國心が油然として起るを感じた)。 **to betoken=indicate.**

282. 彼の父は俳優であつたが寧ろそれがために己の身を持つず位變通自在の多藝の人であつた——蓋しこの多藝多才といふものは之を巧みに使へば甚だ役に立つが之に使はれるとひどいことになる。

㊦ **versatile** 「變化が自由自在なる」「多藝多能の」。 **to the point of** 「……の程度にまで」「あまり變通自在のために自己を破壊し

(人格を破る、則身を持崩す) した位であつた」。 **versatility is a good servant and bad master** は英國の諺 **Fire and water are good servants, but bad masters.** (水火は役すべく役せらるべからず) を應用した形であつて「多藝多能といふことは之を巧みに善用すれば大によい事であるがこの多藝多能に使はれて之に左右せられると災ひが來る」是は「才子多く身を誤る」の意味なのだ。

283. 彼デーヴイドはセミチック人種だつた祖先の血を受けて未だ短衣を脱がぬ内から (則子供時代) 世界中到るところを漂泊するの癖があつた。

㊦ **Semitic ancestors** 「セミチック人種の祖先」「祖先がセミチック人種から出てゐる」。セミチック人種はアラビア人ヘブライ人、アッシリア人などを包含する人種であるが漂浪的氣質に富んだ人種。 **before he was out of short clothes** 彼が短い着物を脱ぐ前から、則子供の時から。子供は兎角短い着物を着せられる。上衣はジャケット形で腰までであるしツボンは大抵半ツボン若くは膝切りである。この意を日本語の **idiom** に直すと「未だ肩揚げの取れぬ内から」に當る。

284. 實業界にこの原則を當て嵌めるならば何等批難の打ちどころがない。もし又倫理學界社會學界及宗教界に於てこの原則を試練せしむるも猶且何等の缺點をも出さぬだらう。

㊦ **if driven=if it is driven. it will stand a hard examination** 「手厳しき試験に持こたへて之に及第するだらう」則ち「倫理學や宗教や社會方面にこの原則を應用しても何の缺點もなからう」。この **stand** は他動詞で「持ち耐へる」「堪へ忍ぶ」の義。例 **His nerves could not stand the strain.** (彼の頭はこの心配に堪へ切れなかつた——心配の餘り氣がふれた)。

285. 四日半の日數に亘るこの旅行の經費は鐵道乗車

賃を別にして (但しリディングストーンから途中氣まぐれに道草食つた汽車賃は入れて) 一人前六十弗と少々であつた。

㊦ covering four and one-half days 「四日半に亘る」。 exclusive of 「.....を除きて」。 spur trip 「臨時に氣が向いてなす旅行。則豫程になつてをらぬ旅行」。 spur は on the spur of the moment (其時の興に乗じて) の句でよく使はれる。 in and out 「リディングストーンから出入りの」。

286. 英國は最近もし何か具體的事實が開展して來ぬならば佛蘭西軍隊は更に進んで所謂ルールなる名で知られてゐる獨逸の工業地方に侵入するも差支ない旨事實上佛蘭西に對して同意を與へた。

㊦ virtually 「形式上はさうは明言しないけれども事實上」。 if something definite is not forthcoming 「何か確實なる事柄が現はれて來なければ」則「これならばといふ解決の見込が立つに非れば」。 forthcoming はこの形 (現在分詞) しかない動詞で「將に來らんとす」「將に來る見込みがある」の意。例. The money will be forthcoming. (金はその内に着くだらう)。 known as 「所謂.....なる」。 Ruhr のライン (Rhine) 河の一支流の名であるがこの沿岸地方は獨逸の主要工業地である。

287. 大統領ハーディング曰く。「大統領モンローの下に宣言せられ。爾來我共和國の根本主義として熱心に保護されて來たモンロー主義の主張する所は我南北亞米利加大陸は今後再び舊世界列強の植民計畫の目的地と考へて貰ひたくないと云ふことであつた」。

㊦ doctrine 「主義」「教義」。 [reclaimed under Monroe

「モンロー大統領の統治中米國の宣言せし」。 jealously 「嫉妬深く」「人に指一本指されんやうに」則ち「熱心に」。 maintained の subject は doctrine. these continents 「兩米大陸」。 Old World powers 「歐洲列強」。

288. モナコ公國のモンテ。カーロ町の特徴は同町のカジノである。それは麓に美しい庭を控へて高く聳ゆる白い塔が幾つか並び立つてゐる宮殿風の建造物であつて旅人がモンテカーロの町に到着する遙か前から遠望の出来る建物である。このカジノに於ける賭博は現モナコ公の先代が與へた特許の下に許されてゐるそして未だ未だ相當の期間この権利は續くのである。

㊦ chief feature 「特徴」。 Principality of Monaco は佛蘭西の南。地中海に瀕する極めて小さな一公國で面積僅かに八平方哩。 Casino は伊太利語で公共の娛樂場の意 the Casino と言ふ時は Monte Carlo の賭博場のことを指す。こゝの世界的賭博場に就て一言せんに 1898年にこゝの賭博會社は元首と契約を結んで政府に對し一百万磅 (之を 1899年と 1913年の二回に) を納金する外年々五千磅より始めて 1937年には五萬磅に達するまで逐次増加し行く國庫納金をなすといふ條件の下に天下暗れて賭博を公開してゐるのである。この契約は 1947年に期限が満期となつたのだ。だから has still a considerable period to run 「未だ相當存續する期間を持つてゐる」。 to run 「經過する」「存續する」。

286. 大洋學は彼が一生涯を捧げた専門學科である。彼が大洋の深淺を探究する事業に於てなした計り僅々一の専門學科に對し貢獻せし人は尠い。

㊦ Oceanography 「大洋學」。 Few men.....more work.....than.....の形は negative+comparative (=superlative)

の形とよく似てゐて矢張り **superlative sense** を興へる。

260. 大學課程を自分で學資金を働き儲けて修得して行くといふやうな學生は亞米利加の實社會ではよく見る世相である。

註 **work his way through college** 「苦學して大學を卒業する」。之と同じ言ひ方に **to work one's passage** 「船の中で水夫若くは雜役夫として働いて其を船賃として彼岸に運んで貰ふ」。 **figure** 「人物」。

261. 大平洋の地圖上に於てホンの針の尖で衝いた穴の様な大きさから小さなヤップ島がどうしたはずみか亞米利加人にとつて全世界に彌漫する位大きな問題となつた様に見える。つまり吾國の既得權の擁護の爲に此小島の干與する國際問題は非常に重要喫緊なのだ。

註 **a pin-prick** 「針の尖で明けた穴」。

262. 詭辨家はどんな理屈を立てやうとも、或程度までは吾人は善惡を計り之を評價し得るのである。そして如何なる人と雖も自己の良心の聲に従ふ時この善惡正邪の別を知らずと斷言することが出來ぬ。若しも吾人がこの二つの相反する力を則ち善と惡とを識別することが出來ないならばこの世は逆も我慢の出來ぬ所だが。幸に吾人は善惡を識別することが出來るし又實際識別してゐる。是蓋し些少の蹉跌あるに拘らずこの世界が進歩する以所である。

註 **Despite the sophists** 「詭辨家に拘らず」「理屈家はどんな理屈を捏ね回はすとも」。 **there are degrees of good and evil which we can measure and appraise** 「吾人が計量し評價し得る善と惡との或程度がある」則「或相當の程度までは吾人はこれは善なり之は惡なり或は是よりもこの方が更に善。之よ

りもあの方が更に惡と言つた鹽梅に善惡の識別は自づから出來るのである」。 **to leave alone with** 「……と二人切りで捨ておく」。 **left alone with his conscience** 「彼の良心と只二人切りで捨ておかるれば」則ち「彼にして良心の命に従ふならば（虛榮心とか傲慢心とかは去つて）」。 **to discriminate between (two)** 「識別する」。 **between** 無しに他動詞として使用することもある **a slight setback** 「些細の蹉跌」。

263. 手形や證券を偽造する人も彼が小切手なら小切手に他人の名を署名する瞬間まではえらい人であるかも知れない。只その一片の行のために彼は全くの別人となるのだ。ホンの眼を一度瞬きする程の時間の後に彼の道德觀が全變し而して吾人の彼に對する考も同様に一變せねばならぬ。

註 **worthy man** 「えらい人」。 **up to=till. to put one's name on** 「……に自己の名を署名す」。 **In the twinkling of an eye** 「ホンの一と瞬きの後に」。 **conception of morality** 「道德觀」。

264. 惡人は永く榮えるものではない。そして吾人は殆んど惡人を罰するの要を見ないといふのは彼等は最後には吾等が一指をも動かさずとも自分で自分の頸に繩を巻きつけて苦しき仕事の梟をつけるのにきまつてゐるから。

註 **The evil = evil persons. to put the rope round one's own neck** これは實際繩を己の頸に巻きつけ縊死するといふ文字通りの意味に非ずして「自分で自分を罰する」の義。 **painful business** 「苦しき仕事」則ち「惡事をなすものは自分の良心と苦闘せねばならぬ。それで苦しい仕事となる」。

265. 目今では露西亞で「自由な」生活するよりは亞米利加で獄舎に繋られる方が寧ろよい。

註 これは露國今日の滅茶苦茶な國情を評し得て妙である。‘free’に quotation mark を施してあるのは露國過激派政府は舊政府の壓政暴虐より免れて人民を free にしてやるつもりで革命を斷行しそして今のやり口で free だと稱して居るが之をしも自由と呼び得べくんば こんな自由よりも亞米利加に於て不自由中の不自由則獄舎に繋がれてゐる方がましである。

266. 合衆國の之を拂ひ得る能力から見れば辨償金額は極めて微々たるものである。

註 so far as..... in concerned 「.....が關係する範圍内では」「.....から見れば」。to pay は ability to pay と來るところだ。insignificant 「微量の」。

297. 目今亞米利加に於て二箇の主要なる論争點を求むるれば余は之を我が國際關係及工業關係だと斷ずる。而して多くの人——余もその一人であるが——は第二の問題を以て第一の問題よりは重要だと考へてゐる。その譯は若し我國人にして、内、理義正しき政治上及工業上の親和一致を結ぶことが出來ぬならば外、この亂麻の如き國際會議に於て吾人はどれだけの役に立たうや。

註 issue は point in question で「ある問題の係争點」より單に「問題」の意にも用ゐる。There are many, and I count myself among their number who.....「多々の人——私もその一人だが——は.....」。to establish 「設立する」「打建てる」「固める」。fraternalism 「兄弟たること」「親和」。at home 「國內で」。distracted councils of internationalism 「亂れたる國際會議」。

298. ルーズヴェルトの名は亞米利加の無識階級の如何なる大集團に對してもまるで呪符(まじなひ)の

如き力がある。そして是は將來永くこの状態で續くだらう。これら労働階級の人々がルーズヴェルトに於て感得したものは彼の絶對的嚴正といふことであつた。そしてこの點こそル氏の經濟及政治上の反對黨が常に非難しやうとして失敗する點である——これ無識階級の人々の判斷が正しいといふ今一つの證據である。亞米利加の普通の、思慮あり愛國心に富む労働者は如何なる他の民主政治擁護者よりもルーズヴェルトとリンカンに對して一層強く懐かしミ親しんでゐる。

註 is like a talisman in any great body of 「如何なる大集團の人々に對しても宛然呪符(まじない)の如き力がある」「一度ルーズヴェルトの名を曰へば一時に靜肅になり一同襟を正す」。plain people 「飾らぬ、朴訥なる人々」則ち「無識階級の人々」と譯した。to sense=receive by sense 「感じから得る」。unsuccessfully seeking to 「.....せんとして得ず」斯く unsuccessfully は successfully も同様だがその clause の結果を示す。to feel close to 「.....に對して親しい感じを抱く」。

269. この世に嫉妬心程恐ろしいものはない。誰か人が儕輩を抜いて頭角を擡げ始めると必ず非難攻撃的となる。.....これは下級労働者等に於ても同様である。若しも一職工が職工頭に昇級するとか給料が上がるとかすると彼がこの昇級を受けるに至つたのは「引き」があつたからだとか上の方へ奴隸の様にお追従をしたからだなどと言ひ振らしたがる輩が多い。

註 to show one's head above the average 「平均の上に頭

を示す」則「儕輩を抜きんで頭を表はす」。the target of every brick that anybody can throw「誰でも手當り次第に拾つて投げる煉瓦の標的」。茲では文字通りの意ではなく「非難攻撃の的となる」の意。the rank and fileは前にも一度出て来たが隊伍とか兵卒(幹軍とか 校の反對)の義より實業社會に於ても雜兵式の仕事をするものはthe rank and fileである。茲では労働者と譯しておいた。to get a raise in wages (salary)「増給(俸)せられる」。to get an advancement through a pull「引きがあるのて昇給する」。servile「奴婢の如くにお追従する」。

300. 南太平洋鐵道の發表する所に據ると從來の經驗上自働車事故(汽車との衝突)の原因の中で最も數多きは鐵道踏切に於て走り來る汽車と競走して(踏切を通過するのを待つてをればよいに)之が踏切に近かぬ前に線路を横切らふと試みることだといふ。

註 to beat「負かせる」「列車が踏切を通過する前に踏切を横切らんとする」。in its experience「同會社の經驗にては」the most prolific cause「最も數多くある原因」。prolificは元來 abundantly productive of といふ意味で「最も多く生ずる(事故を)原因」と解すべきである。

301. 往日は工場の職長といふものは兎角狭量な暴君振りを發揮したものだ。そしてこれは一職工から鰻上りに上つた職長の場合に於てその然らざるものよりも一層確實に斯うなり易い。予はその原因を尋ね合せて見たが人間といふものは自分の儕輩を抽んで高き位地に就く事を平氣でなし得るものは尠いといふのが一般の意見らしい。例へば軍隊に於て之を見るに一軍曹の方が將校よりも暴君式である。

註 In days gone by「過ぎ去つた日に於て」則ち「往日は」。gone byは形容詞句でdaysをmodifyしてゐる。fore manは「職工長」若くは「職長」と譯し多人數の職工の束ねをする役。qualities of a petty tyrant「小さなことをケチケチ言ふ暴王の凡ての性質」。this more certainly = this occur more certainly. to rise from the ranks「隊伍より上る。則ち「低い地位より出世して高き地位に上る」。if he did not = if he did not rise from the ranks. It seems to be a universal opinion that.....「.....といふのが衆口一致の定評らしい」。stand elevation(高き地位に堪へる。則ち高い地位に平氣で座つてゐること)をstand on the elevation(高所に立つ)と比較して見るべし。standを他動詞に使用すると自動詞に使用すると斯げかりの相違がある。more of a tyrantは前にHe is something of a scholar.なる文があつたが其と併んで「.....よりも暴王たる分子が多い」。commissioned officer「指揮權を附與せられたる武官」則「將校」。non-commissioned officer(下士)と相對してゐる。

302. 突然獲得した權力感(予は權力を有せりと自覺する感念)は人間の所有物としては險呑なものらしい。だものだから多數の場合に於て職工から突然職長の位地に上ると嬉しさの餘り當人の心の締がぐらつくのだ。

註 sense of power「權力觀念」。morale「士氣」「軍紀」。

303. 職工等と職長との間に爭議が起きてしかも其が永びくと經營の巧みな近世式の工業家は萬難を排して職長を庇護するなどいふことは一切しないで職長の方を減きつて職工は其儘にしておくのが普通である。

④ prolonged controversy 「永びく争議」。 industry は「工業」であつて「工業家といふ」譯はないけれども工業なる抽象名詞より工業に従事する人々全體の義となり「工業家」と譯してよい。この場合意味から見れば複數であるけれども形の上より矢張り單數として取扱ふ。だから gets rid of..... なる受け方をしつてゐる。to get rid of 「取除く」「追ひ掃ふ」。through thick and thin 「萬難を排して」。

304. 『この靴のことですがネ。一昨晚私は宅へ歸りまして妻にかう申したんです「靴を一足新調しなくてはならんやうになつた」。スルト妻の申しますに「いいぢやありませんか。町へ出掛けて上等のを一足御購めなさいませ。上等の方が結局安いですか」。その時私は申ました「私は靴に拂へる金はせいせい六弗しかない。しかも私の欲しいと思ふ上等の靴は十五弗以下では手に入らぬよ」。其で仕方がない私が町へ出掛けて出来る限りの上手に立廻つて買ったのがこの靴で。さる見切賣りで四弗半出したのです。この靴は私が欲しいと思つてゐる靴とは違ふんです。甘く足に合ひません。ですから時々靴が足に馴れるまでは脱がねばならぬのです。私は避けられるならこんなやくざな品を買ひはしないのです。がどうも仕方がないではありませんか』。

④ to go downtown = to go down town 大抵住宅區域と商店區域とはこの都でも離れてゐる。そして住宅區域に住むものが買物なり用達しに商店區域に出掛けることを to go downtown といふ。a good pair is cheaper in the end 「上等の靴は買ふ時は値が高いけれどもいつまでも持つし形が崩れない

から結局は安いことになる」。in the end = in the long run 「永い内には」「結局は」。short of これは前に一度出た形だが「.....が缺けては」「.....以内では」。a bargain sale 「大見切拔げ賣」。once in a while 「時々」。while I get them worked in 「靴を足に馴らせる迄」。trash 「ツマラヌ物」。有名なる沙翁の句 Who steals my purse steals trash. (余の財寶を盗むものはその罪惡むべしと雖も瑣々たるものを盗みたるに過ぎず) を比較せよ。

305. 心配が勞働者側に於て不安。能率不良。生産不足等の唯一最大の原因であるらしい。心配則自己及家族の健康に關する心配。彼が若しも不具となるか死んだ場合に彼の家族がどうなるであらうかといふ心配それに絶えず彼の心にまつはつてゐる失業の心配等である。

④ the haunting fear 「二六時中絶えず。休みなしに附纏ふ恐怖心」。

306. 簡單なる自働的作業に従事する職工等は仲間の者を打眺めたり自己及仲間の者等の不満足なる境遇を考へ込むより外に何も用事がないものだから聽ては自分の賃銀の不足とか彼の雇傭主の陋劣な事などに關して過激色を見るに至るのだ。

④ automatic operation 「自動的作業」。to brook upon 「ちつと.....を考へ込む」。red 「過激的。無政府的」の意。to see red 「赤色を見る」則ち「眼の前に過激な手段方法等がちらつく」。boss 「親方」。

307. 彼は大きな軀の男で高さ六呎目方は二百ポンドもある。そして私が十五年前にその谿に訪ねて行つた時に俺はまだ七十五歳の青年だと矜つてゐた。彼

は一生涯を通じて随分激しい耕作労働をなしたけれども彼の腰は兵士のやうに真直ぐであつた、そして彼の白髪と白髭それに彼の快活な顔に圓い赤ら顔の兩頬を加へて宛然繪本のサンタ・クロースの爺さんに酷似せしめた。

註 **proudly seventy-five years young** 通例の人ならば **seventy-five years old** といふ所だが(年齢何歳といふ時には假令三歳でも **three years old** で **three years young** でない)この老人が老いて益々盛にして七十五歳でも壯者と變らぬ元氣だから斯う滑稽的に曰つたのだ。 **to stand as straight as a soldier** 世に兵士程身體を真直ぐにして起居する者はないそれで斯う曰つたのである。 **to resemble very closely** 「酷似する」。

308. 雑誌コリアースに金を拵へる二つの善い健全なる秘傳がブルース・パートンの筆に依つて掲載せられてゐる。その一は或る資本家の秘傳だが、この人は平素は郊外に住んでゐて新聞紙の第一面に不祥な記事が載つて仲買人等が憂愁に閉ざされてゐる時にのみウォール街(紐育の株式取引の中心地)に出掛けた。其時に彼はウンと株を買ひ込んだのだ。然るに新聞の報導が驚く計りよい記事となつた時に彼は悠々として賣放した。「斯ういふ風にしてこの人は多額の財産を作つた」。も一つの秘傳は或る一人の男から出たのだがこの男の業務は遂に郵便局から禁遏せられた。この男は初め僅かに一弗で以て金儲けの百發百中の方法を傳授する旨の廣告をした。その方法は斯うだ「悪魔の如くに精出して働けそして一仙をも費やすな」。郵便局はこの教へは健全であるけ

れども之を賣ることは不法行爲だと考へた。

註 **tip** 「内密に傳へる秘法」。 **that of a financier** の **that** は **a tip** の代りだ。 **to live in the suburbs** に於て **suburbs** と多數になすこと注意。 **Wall Street** は東京ならば兜町・大阪ならば北濱の如き紐育の株式取引の大中心地である。 **only when bad news got on the front page of the newspapers** 「悪い報知。例へば戦争が始まつたとか火山噴發とか悪疫流行とかいふやうな不吉な報知が新聞の第一面に載る時に於て始めて」新聞の第一面は通例論説や政治的記事若くは新聞によつては全面廣告で埋めるのが習慣であるが非常時には一面にかうした記事が載る。 **from a man whose business was finally suppressed by the Post office** よく世間にある例だが金壹弗送れ。さうすれば金儲けの必勝策を御知らせしやうなど新聞に廣告するものがある。只の一弗でつて屹度金持になれる方法が分るならと吾も吾も送金してその方法の傳授を乞へば本文記載の如き阿呆らしきことを言つてよこすのである。則ち立派な詐欺であるから郵便局が之を禁止したといふのである。 **an infallible rule** 「外れることのない規則」。 **like the devil=with great energy. The Department** こゝでは郵便局のことを指す。

309. 一千九百十八年十月の對土耳其休戦以來戰勝列國政府が近東に於てなした數多の失策の中でこれ等列國政府の土耳其取扱に關する失策程その結果の面白からざる見込のものは尠い。

註 **errors committed** 「してかしたる失策」。 **error** や **mistake** をなすことを **to commit** の動詞で表はす。 **Near East** は **Far East** と相對して近東(後者は極東)と譯し、バルカン半島小亞細亞方面を指す。 **Near East** といひ **Far East** といひ特に斯ういふ語が出来てゐるのは歐洲列國が外交上特に注目する地方だからである。 **victorious belligerent Powers** 「戰勝列強」。 **few promise to be more deplorable than.....**

は few は half negative であるから例の negative+comparative の公式に當て嵌むべきである。marked the dealings 「.....の取扱ひに特徴付ける」則「.....の取扱ひに於て際立つて見えた」。

310. これ等兇惡なる罪惡は全然之を激發させる原因がなかつたものである。

㊦ unprovoked 「之を激發せしめる原因があつたのならよいが全然さういふ理由がなかつた」。殺人とかその他兇惡なる罪も何かその罪を犯さしむべき原因があれば幾分宥すべき處があるがさうした激發させる原因がなかつたの意。

311. そんなことをすれば斯ういふことが起るぞよと色々豫戒があつたにも拘らず。英國政府はバツームから先づその小部隊の陸軍を次いで最後にその海軍を撤退した。バツーム港に英國海軍の存在せし事がこの西共和國の士氣を鼓舞し彼等に後援があるといふ心強さを與へたのに。

㊦ Despite all the warnings 「色々警戒するものがあつたにも拘らず」。Batum は黒海沿岸の一港灣である。land force 「陸軍々隊」。naval force 「海軍力」。its presence at which port の its は naval force を受け which port は Batum の關係代名詞である。「該海軍の同港に滞在したことが.....を與へたそのバツーム港」と直譯すれば直譯するところ。

312. 一般の英國人が己の隣人を眞に自己と同様に愛し又自己の友のためには何處でいも生命を捨てることを厭はないといつた有様は其は戰時に限る事である。其は今も昔も變らぬ事實である。

㊦ The fact remains that 「.....といふ事實は依然として昔の儘だ」。on a thousand fields 「場所を撰ばず」。to

lay down his life 「彼の生命を捨てる」。

313. 戦争終熄の結果吾人は焦眉の急に迫れる工業上の諸問題に逢着してゐる。軍事關係のあらゆる方面より歸來する男女若くは戰時中一般工業界の労働者を吸収してゐた砲兵工廠とか兵器製造所等から平時工業に歸つて來る男女は何百萬といふ多數であるが是等の者に對して職業を見附けてやらねばならぬ。そして其も速かに見附けてやらねばならぬ。

㊦ The close of the war brought us all face to face with 「戦争の終熄の結果吾人は.....の問題にぶつつかつてゐる」。imminent 「目前に迫つてゐる」「焦眉の急に迫つてゐる」。imminent danger 等に多く言ふ。every theatre of war 「戦争の凡ての劇場則ち實際の戰場・野戰病院・後方勤務隊・その外戦争に關係のあるあらゆる勤務也」。peace-time industries 「平時工業」。absorbed 「吸収した」「奪ひ取つた」。

314. いつでも英國人が手の着けやうのない紛糾状態に陥る時には彼等は之が救濟策として協力提携の方策に走る。しかも危機一度び去つて仕舞ふや彼等は再び元の黨争に歸るのだ。

㊦ get themselves into a hopeless mess 「手も着けられない混亂状態に陥る」。

315. ウエルズ曰く「歐洲の兒童は濃厚なる國家的唯我獨尊心を持つて生長する。それあるがために實際上の目的には彼等を狂人化せしむる。彼等は生れ付きかうした唯我獨尊心を持つてゐる譯ではないが彼等が讀み書きが出来るやうになるや否やこの精神にかぶれるのである。英國人は英國及大英帝國の雄偉

といふことの外何事をも學ばぬ。佛蘭西人は、もし是以上がありとすれば、更により多く狂的に自國のことに集注してゐる。而してその他の國々皆然りである。結局歐洲の凡ての國はそれ自身シン、フエインであつてかの見苦しく愚なる「我等のみ」なる先入謬見を益培ひつゝあるのである。

註 an intensity of national egoism 「濃密なる國家的自尊心」 則「己の國は世界一番よい國、強い國と慢する心の深いこと」。 for all practical purposes 「實用に供するに方つては」。 are infected 「感染せしめらる」。 The British = British people. if possible 「英國人が自國の雄大にして世界に輝ける國柄を自慢してゐる。これの上を行くことが六ツケしいがもし出來るとすれば」の意。 Sinn Fein は愛蘭語で ourselves alone の意で愛蘭自治問題が自熱的になつた一千九百四五年の頃愛蘭内に Sinn Fein 黨なるものが出來愛蘭以外のものは凡て排斥するの方針をとつてゐるのである。 obsession 「心を奪ふ事柄」。

316. 所謂アルスター強制のために武力を用ふることは、その武力の如何なる種類の武力たるに拘らず絶對的に考へ得べからざる事である。余一個の意見否余の同僚等の意見より申せば——余は同僚等の一致の感情を知つてゐるから彼等に代つて曰ふのだが——其れ即武力強制は吾人が決して認容し若くは承諾すべからざる事柄である。

註 employment of force 「言論での説得を離れて暴力則武力で強壓すること」を指す。 what you call the coercion of Ulster 「所謂アルスター州の強壓」 what you call 「汝の謂ふところの」の汝といふのは誰といつて特に指す人あるのではなく一般的に言つたのである。 coercion of Ulster 愛蘭に自治を許すこ

とにすると愛蘭の北端の Ulster 州は之に反對を唱へ出した。といふのは Ulster 洲民は大多數アングロ、サクソン種であるからもし愛蘭自治が實現されるとその代議機關は孰れ愛蘭人が八九分を占めアングロ、サクソン種たる Ulster 州民は之に抑へられることになる。是がため Ulster は猛烈に Irish Home Rule に反對して來た。これを coerce (強制) して服させるに武力を用ふることの可否をこゝに論じてゐるのである。 as far as I am concerned 「拙者一箇の考へでは」。 to countenance 「許容する」。

317. ウエルス氏は全體としての世界に於て地方的の區々たる愛國心はより大なる愛國心 (愛世界心) に併吞せられて仕舞つて各民族は最早や互に他を妨害しやうと企圖することなく世界問題は共同の福利に傾注する教育あり組織ある共通の智識階級の指導の下に處理せらるゝの日を翹望してゐる。

註 looks forward to 「待ち設ける」。 to merge..... in..... 「一方を消滅して他方に合併す」。 會社など小さいのを大きいのに合併して大きい方の會社の名になすこともこの動詞で表はす。 thwart 「妨害する」。 intent upon 「.....に心を集注する」「熱中する」。

318. 吾人が斯くの如き理想時代に到達するには未だ々々多くの年月を闊みせねばならぬだらう。

註 We shall have a long way to travel before 「.....に達するまでには前途尙遠慮である」。

319. 是に達する最初の一步としては、小さいことの様だけれども國內に於けるこのシンフエイン魂 (排外精神) を除くことにあると堅く信じてゐる。

註 small as the first step way be 「最初の一步はよし小さくとも」。 to get rid of 「.....を除く」。 the Sinn Fein

spirit 「愛蘭人が愛蘭は愛蘭人の手で治めやう英蘭人の御世話になるは眞平であるといふやうな排他的精神」。

320. 彼等の論争點となすところのものは賃金や労働階級の現状の問題に非ずして上下合議の問題である。

註 The issue as they see it 「彼等の考へてゐる争議の焦點」。
not so much as 「.....にありといはふよりは寧ろ.....にあり」。

321. 亞米利加の労働者は明敏であつて中々欺瞞されはしない。彼等は資本家連が組合組織に由つて支持せると同じ自己防衛を組合組織に由つて支持せんことを欲するのである。

註 to bamboozle は俗語ではあるがよく使用せらるゝ語で to bamboozle one into ing 「欺かして させる」。 to bamboozle one out of something 「.....を詐取する」。
capital 「資本家全體」。

322. 一方では経費節減の名目の下に鐵道修理場の職工を解雇しておきながら他方にては鐵道會社は自社の修理場で費やす額の二倍半乃至四倍の費を拂つて他所の工場に依囑して機關車や貨車の修理をさせてゐる。

註 to lay off 「解雇する」。 in the name of economy 「経費節減を名目として」。 two and a half to four times as great as 「.....の二倍半乃至四倍の」。而してこの great は costs を modify してゐる。

323. 資本家側がその機關新聞紙等によりて鐵道會社及その他の大工業は時節柄の不況の犠牲となつてゐるといふ風説を頻りに流布して之を一般に信せしめ

やうとしてゐるがこの報導によりて上記の風説には何の根據もなきことを鮮明にした。

註 to bring the fact into clear relief 「その事實を鮮明なる浮彫にして持出す」則ち「浮彫の如くにカツキリと輪廓明らかに姿を表す」。 There is no foundation for 「.....の説は無根である」。 publicity machinery 「公表機關」だから「機關新聞雜誌類」を指す。 the times 「時世」。

324. 戦争はペイしない(儲からぬ)が萬人をペイせしむる(その費を負擔せしめる)。

註 pay を自動詞に使ふと「儲かる」「收支償ふ」の意があるこの文は pay の兩様の意義を巧みに play したのだ。

325. 露西亞國內に於ていくらかましたと思はるゝバンク(銀行)はマウンテバンク(山師)位なものだらう。

註 to amount to anything 「何かに達する」則「どうにかかうにか是ならばと思はせる様な」。 mountebank 「法螺吹・山師」。露國は目下過激派の世界で一才無政府に近い状態でどこの銀行もどこの銀行も信用は一切出来ないが是ならば幾らかましかと思はるゝ銀行はマウンテバンク位のものだと bank (銀行) と mountebank の最後の綴の bank とを引つ掛け word-play をやつたのである。

326. 今年は給料を除きあらゆるものを上げるによい年だらうといふ徴候がある。

註 Indications are that 「.....の現はれ来る徴候がある」。
this=this year.

327. 開闢以來世界は二回だけ人種的唾み合ひを去つたことがある。それはアダムがまだ若い時とノアが箱船から出て來た時とである

註 when Adam was young and when Noah came out of

the Ark. 「アダムが若かつた時」とはダイヴに子がなく従つて兄弟喧嘩などの絶對になかつた時の意 (アダムとイヴとはこの世界最初の男と女とであつたとバイブルは説いてゐる)。又「ノアが箱船から出て來た時」とはアダムとイヴの拵へた子孫が夥しく殖んで仲間喧嘩が堪へないので神は怒つて世界に大洪水を惹起して凡ての人間を流し殺した。只ノアとその家族とだけには箱船を作らせてこの水難から免れしめ給ふた。是れ故洪水後は仲間喧嘩は暫く絶えたのである。 free of = without

328. 開いた空氣 (戶外のこと). 門戶開放. 店舖開放. 條約公開. 開いた心 (胸宇の廣きこと) 等兎角開きたるは結構なことだ. しかし我國は今に尙開口のために苦しんでゐる。(ウォール・ストリート・ジャーナル).

註 Open air, open door, と凡て open の語の附く事柄は誠に結構には相違ないけれども open mouths (お喋り) だけはない方がよい。

329. 上には資本家あり下には直き謀反する労働階級ありこの兩者の間に挟まつた孤立無援の中産階級は彼等の壓制者等 (資本家及労働者) の眞似をして戦闘の出来る様に中産階級團體を組織するだらうといふ噂が時々出て來る。

註 Helpless victims はあとに來る middle classes の apposition である。capital 「資本家の總體」を指す。labor 「労働者の總體」を指す。it is rumored from time to time 之は挾句で「時々かういふ風評が立つ」。to take a leaf out of the book of 「.....の眞似をする」。oppressors 茲では資及家本労働者を指してゐる。蓋し中産階級者は上から資本家に壓せられて高い家賃を支拂はせられ高い食料品高い衣類を買はせられる一方一寸車に乗れば車夫の賃金が高い。荷物を運ばせると運賃が高

いかく労働者の中産階級に與へる壓迫も大なるものである organize themselves to fight 「戦ひ得るやうに組織立つた團體となすこと」。

330. この風評は他の國々よりも英國に於て一層頻繁に起つた。といふのは英國に於てほどの國も左様だが戦時状態が中産階級に打見たところ最も甚く崇つたからである。

註 war-conditions hit the middle class 「戦時状態は中産階級に最もこたへた」。apparently 「打見た所明かに」「疑もなく」。

331. 英國の新聞雑誌の報ずるところに據れば多くの場合に於て中産階級の一户の生活の程度はよい給料を貰つてゐる労働者の生活程度よりは低いといふことは避け難いのである。

註 press 「新聞雑誌の總體」「出版報導界」。standard of living 「生活程度」。necessarily 「止むなく」。

332. コーカシヤのジョージア共和國が過激派に感染することを甘く防止するだらうと多數の歐洲の觀察家は豫想してゐたが其にも拘らず。風評によれば。遂に降服したといふことである。そして更に之に加ふるに巴里の雑誌新歐洲の意見ではジョージアの勞農政府化はコーカサス地方の一般の形勢に根本的變化の來た事を意味するものである。

註 to resist Bolshevik infection 露國の過激派政府は色々と宣傳して四隣の國々を自國同様勞農國に變じやと努めてゐる。その宣傳誘惑に抵抗して勞農政府化せぬこと。to succumb 「屈服する」。之は常に to に伴はれる。to succumb to one's enemy; to succumb to a disease (何々病で死する) ; to

succumb の grief (こらへておた悲しみももう抑へ切れずには
一ツと計りに泣き出す)の如し。 what is more 「之に加ふる
に」。 the Sovietizing 勞農化すること(露國の現状は労働者と
農夫とが政權を掌握してゐるのだがその露國の現状の通りに化す
ること)。

333. 勞農政府がアザベイジアン及アルメニアに地盤
を獲得した以上はジョージアの如き建國日尙淺くし
かも脆弱なる國の滅亡は單に時の問題であつたので
ある。

註 Once 一度……した以上は」。この場合の once は conjunc-
tion であつて when once…… の義である。一例. Once
he hesitates, we have him. (一度彼が躊躇し出したらもう占
めたものだ彼は此方のものである)。 to secure a foot hold in
……に地盤を獲得する」。 question of time 「さうなるかなら
ぬかの問題でなくいつさうなるかの問題である」。

334. ジョージアが斯程永くその諸隣國の共同攻勢を
巧みに防ぎ得たのはこのジョージア國々民の一種の
特異性に由るのである。その特異性といふのは世間
に餘り知れ渡つてゐないが屢各國の新聞雜誌に誤り
傳へられてゐるコーカサス地方諸國の狀勢を説明す
る材料となるから吾人には興味深き筈である。

註 joint efforts of her neighbors 「ジョージアの近隣諸國の
協力してその國を倒さうとする努力」。 because of 「……ある
がために」。 peculiarities 「特異性」。 to throw a light on
「……を説明する」。

335. ジョージア國は若しもその各隣邦どもが同國攻
撃の目的のためにいくらか鞏固な條約を結びでもす
れば且とりわけ露國が之に物資上の援助及聲援を與

ふるが如き事あらば國の滅亡目睫の内にあると覺る
に至つたのだ。

註 came to see 「……を覺るに至つた」。 one's days are
numbered 「壽命は迫つてゐる」則「餘命幾何もない。 for offen-
sive purposes 「攻略の目的を以て」。この反對は for defen-
sive purposes である。 above all 「就中」。 Moscow 「露
國」。之に限らず國の首府を以て國の名の代りに使ふこと屢ある。

336. 日本の新聞の中には支那の一新聞が烏辭がまし
くも日本に對して忠言を呈するなどは以ての外だ
と怒つてゐる新聞もあるかも知れないけれどもかう
した忠言が親切な考から出てゐるものならば其は多
少日本の爲めにならうよ。

註 some sections of the Japanese press 「日本の一二の新
聞」。 may resent the idea that a Chinese journal
…… to Japan 「支那の一新聞が日本に對して敢て忠言を呈する
などいふその考を憤るかも知ぬ」「さういふ大それた考を抱くと
は怪しからぬと敦囑く」。 resent は他動詞であるから resent
at としてはならぬ。 venture a word of counsel 「忠告の一
言を恐る恐る呈する」。 when given in a helpful spirit =
when it is given in a helpful spirit 「悪意ではなく助けに
なうとの考へでこの忠告を出してゐるのであるならば」。 to do
a person good 「爲になる」「利益になる」。

337. 丁度之に當て嵌まる一例は支那新聞紙中華新報
の日米關係殊に太平洋上に於て最後までも争鬪の種
たるべき經濟戰爭に於ける日米關係に就きての同新
聞の所説は是である。

註 a case in point 「丁度之にあて嵌る一例」。 suggestions
「所説」。 economic war 「經濟戰」。 to fight out 究極まで戦
ふ」。

338. 日本人を支那の市場より排除しやうなどゝは飛んでもないお話しで支那人の頭には毛頭左様な考へがない。

註 nothing is farther from one's mind than.....「.....する事よりもその心から遠きものはない」「.....する事は毛頭思つてゐない」。exclude a person from「.....から排斥する」。

339. 通例物の順序としては侵略といふものは強き者から弱き者に向ふのが順序であるから吾人は英米二國が先づ軍備制限に手を染めてこの問題に關して好箇の模範を垂るゝことに由りて吾人の心を安んせられんことを囑望するのである。第一の曙光として余は英米二國が本問題に就て協議を遂げて都合よき一致點に達せんことを冀望する。これさへ出来れば其後は佛日伊の諸國は皆之に倣ふであらうと信ずる。

註 usual order of procedure「物の経過の順序」。for aggression to come に於て aggression は to come の sense-subject として for は之を導く語である。stronger にも weaker にも各その次に one を入れて考へて見よ。upon は攻撃の意を有してゐる。for America and England to set の for は looking for と一緒になつて「英米二國に.....せんことを囑望してゐる」の意。to set one's heart at ease「心を安んずる」。to take the initiative in—ing「率先して.....をなす」「先導する」。disarmament は元來「武装解除」の意であるが茲では「軍備縮少」。the first gleam of light「第一の曙光」。negotiate this question successfully.「この問題を討議して満足すべき一致點に達する」。to follow suit「之に倣ふ」。

340. 利用の方法さへ宜しきを得れば活動寫眞は二十世紀の最も有力なる教育機關の一ともなるが利用の方法を誤り之が警戒に不注意なることがあれば活動寫眞は容易に放埒とか國法無視とかいふ忌はしき事柄の練習所となるであらう——放埒. 國法無視. 則ち各自が自分勝手な振舞をするの状態を馴致するの場所となるであらう。

註 Rightly used=if it is used rightly. motion-picture (活動寫眞) は cinematograph; moving-picture; movy 等の同意語がある。wrongly used and not carefully guarded =if it is used wrongly and is not guarded carefully. training-school 又 training-college とも書き師範學校・教員養成所の謂であるが茲では文字通りに練習所とする方可ならん。Each individual is a law unto himself「各人は自己に對して法律である」とは「各人が道徳も國法も凡て無視して自己の慾望の命する所にの従ふ状態」。

341. 現今世界には約五オンスしかラヂウム鹽がない。そして年に約一オンス——礦石六千噸からの所産額——しか之が増して行かないのだからラヂウムを活用することに於て大した面倒がなかりさうに思はれるだらう。處が之を醫療用に供すべしとするものと商品として使用すべしとなすものとの間に孰れを先にすべきかに就きて随分辛辣なる議論がある。醫學者連は疾病治療の爲に用ゐずして時計の文字盤を輝らすために用ゐるが如きことに反對してゐる。そしてラヂウムの使用を外科醫療用にのみ限るべしといふ法律が制定せらるべきものだといふ議論さへ出て

ある。然るに一方に於てはラヂウムで暗黒中に輝く様にしたる羅針盤は幾百人の生命を救ふことがあるかも知れない。

④ the product of about 6,000 tons of one 「ラヂウム含有の鑽石六千噸 則ち 百四十四萬貫 (米噸として) の中から取り出したる製産高は僅かに一オンス則七夕六分計りのラヂウム鹽しかないのである」。to put something to work 「活用する」、economic use 「商業上の用途」、legislation has been proposed to 「……する法律が制定せらるべきだといふ議論が出てゐる」、legislation 「立法」「法律制定」、to illumine clock-faces この頃暗黒の中で時間の見られる時計があるがあれは文字盤面にラヂウムを附けてあるのである。radium-illuminated compass 上に述べた時計と同じく羅針盤にラヂウムを附してあるために暗黒でも船の進んでゐる方角が分る羅針盤。

342. 近頃ラヂウムの使用を國法を以て醫療用にのみ制限すべしといふ議論が出てゐる。この議論は疑もなく時計の文字盤に光を與へる材料を拵へたり之に類するが如き用途にラヂウムを餘り使用するの結果そんなことがなければ當然人類がラヂウムより享受すべき醫療的惠福を失はねばならぬといふことを虞るの餘り起つた議論である。

④ by legislative action 「立法の活動により」則「法律を制定しその法律の力で」。The action is inspired 「かういふ議論を提出した動機は……によつて刺戟せられたのである」。このあとの action は legislative action の action とものは別である。luminous material for the faces of watches 「時計の文字盤用の光輝を放つもの」之はラヂウムを使用して作れる暗黒中に光を放つやうな金屬の事。humanity will be deprived of 「人類は……を失ふに至るだらう」。medicall benefits 「醫

療上の惠福」。otherwise 「上に述べたことさへ無くば」。

343. 戦争前はラヂウムを得やうとすれば歐洲に之が供給を仰ぐより外に方法がなかつた。

④ go to a place for…… 「……を得んがために某處に行く」則ち「何處某處へ行かぬぬと……が得られぬ」。its は world の代名詞である。

344. 大阪商業會議所は過去に於て注目に値する程の何事をもしてをらぬ。其と言ふのも會員が其會員といふ肩書で以て顧客を引きつけることだけで満足してゐる次第なのだから。

④ The Osaka Chamber of Commerce 「大阪商業會議所」。この語の排置に注意せよ。worthy of attention 「注目に値する」。to have a handle to one's name 「己の名に肩書がつく」。

345. 今日までの處でラヂウムを含有する世界最大の地層はコロラド洲パラドックス谿に發見せられる。之は最も近い鐵道線路から五十哩以上の距離にある荒野の危ふ氣な道を通らねば行けぬ所にある。最多額ラヂウム製産者はここで採掘した鑽石を大陸を横斷して東へ運びユウ。ジアーシー洲のオレンヂにある工場で含有のラヂウムを抽出すのだ。何故鑽石採掘の現場で抽出作業をしないかといふと抽出する鑽石各一噸に對して若干噸の藥品及石炭が要るので鑽石を藥品所在地に運ぶ方が藥品を鑽石の所在地に運ぶよりも安くつくのである。

④ deposit は普通「沈澱物」「堆積物」の意であるが茲では stratum (pl. strata) 則地層と同義。so far discovered 「今日まで發見せられし中では」。trail 「山奥や荒野原などにて柵や獵

師などが通ふやうな危ふげな道路」。plant は「工場の機械一揃へ」の意で随つて「工場」となる。N. J.=New Jersey の略。北米ニュー・ジャージー州のこと。

346. 有名なるラヂウム専門學者の説に經濟學上の原則たる需要供給の原理はラヂウムの値段には殆んど關與しない。ラヂウムの賣價は抽出費額に由つて定められるそして値段は進歩した方法が発見せらるるに非れば安くは出來ない。

註 expert on 「……専門家」。is authority for the statement that……「……の説を立てゝあるがそれは信頼すべき説である」。law of supply and demand 「供給と需要の原則即ち供給が需要に比し多量の時値段が下落し少量の時値段が上騰するの原則」。has little to do with 「……に殆んど關係なし」。

347. 極東共和國なる名で新國家が立憲的の制度に由つてチタに於て正式に組織せられバイカル湖より東遠く浦鹽斯德及太平洋岸までもの廣大なる西伯利亞の地域に對し代議制度の政府を營まうといふのが一千九百二十一年三月二十九日在北京米國公使館への一片の通牒によりて公式に其存在を告知して來た。

註 a representative Government 「代議制政府」。east of ……より東方の。all the way 普通この句は「遙々」「態々」の義に使ふが茲では「……のあたりまでも」。

348. この西伯利亞の新興國が過去二年間に簇生した他の色々の國よりも多少でも永續するものかどうかは未だ分らぬが是まで興つた國とは異なる或種の相違點は注目に値するものがある。

註 to spring up=come into being, 例. A breeze sprang

up. の知し。remains to be seen 「後にならば分らぬ」之と同じ使ひ方で Worse things remain to be told. 「まだ悪い話がある」。compel attention 「注目を強要する」より「注目に値する」となる。

349. この新興國にはその國民間に絶對共鳴の一つの點がある其は則ち日本の軍事占領に對する反感である。換言すればこの新興國は日本と過激派露西亞との中間に立つ緩衝國であつて全亞細亞の局面に甚だ重大なる要素となるであらう。

註 In other words 「換言すれば」。buffer State 「緩衝國」則「互ひに相敵視する兩強大國に挟まつた劣弱國。之が双方の強國の衝突を緩和するの力を持つてゐる」。

350. この國統一前國內數多の地方に起つたり止んだりしてゐた内亂は自づと終熄した。

註 flicker 「(弱い燈光が) チヨロチヨロ輝く」「明滅する」。prior to 「……より先き」。to die by itself 「自然に消滅する」。

351. 延々として海の如く連る沖積土の上に凸起するもとの表面の遺物たる岩石の隆起が所々にあるのが眼を遮る計りでその他はその原は極めて扁平で地球面の彎曲をこの處で決定してもよい位である。

註 except for=but for 「……なくば」。boss 「凸出」。the earth's curvature 「地球が球體であるから表面が彎曲してゐること」。may be determined therefrom 「其から決定してもよい」地球の表面の彎曲を確證する方法多々あれどもこの沖積土の原に立つても之が(彎曲が)見える位廣々とした平原をなしてゐる。

252. ジオン。コーノスが「假面」を書いた時之が出

版人を物色するに可なり骨が折れたのだ。其は全く廿日鼠は山岳を持出すことが出来ぬといふ諺の如くどんな出版人だつて無名の士の書いたものを扱ふことが出来ぬといふ理由の爲めだ。しかし一度充分勇氣ある廿日鼠（出版人のこと）の発見せらるるや、この書は一躍して有名の書となつた。そしてこの名聲は年月の経過とともに益々高くならねば不思議といつてよい。

㊦ **John Cournos** は露西亞人であつて米國で教育を受け倫敦へ来て英文小説家として大家となつてゐる面白い經歷の人（1881年生れ）。問題の“The Mask”は一千九百十九年世に出た小説である。had some difficulty in _____ ing「……するに多少難筆をした」。on the ground that「……といふ理由で」**mice do not bring forth mountains**「小さな者がいくら大勢でしやぎつてもだめだ」の意の諺。茲では本屋（出版人）を廿日鼠に譬へてツマラヌ書物は出版しても損する計りだといふ意なり。once=as soon as ; immediately after……leapt into fame「一躍して評判者とな」。with the passage of time「年月を閱するに従つて」。

353. 戦争勃發後二ケ年を経過しない内に既に佛國政府と外交官達はボルドーに逃げて仕舞つてゐた。佛國人に既に深く愛せられてゐたヘリツク氏は獨りパリに留まつた。斯くの如くにして一千八百七十一年のエリヒュー、ウオツシユバーンの先蹤を學んだわけである。

㊦ to break out「勃發する」。to establish oneself in the affections of……「……に愛せらるゝに至る」。

354. 彼があつた「うろつき足」——これは彼の母が彼

が日々家庭から離れて何處かへ出掛けて行く彼の性癖を斯う皮肉にしかも可愛さをこめて言ひ表はした——で母親の側を離れて逃げ回はる頃からこの問題に對して疑を抱いたのであつた。

㊦ from the time (when) he began to run away from his mother's apron-strings「子供がヨチヨチ歩みだすと紐を子供の腰に結びつけそして他方の端を母親の前掛紐に結びつけておく。斯うして子供が母の側を離れぬ様又は道を歩む時倒れぬやうにするのだが。彼が母親の前掛の紐から逃げ始める頃とは母親の目をかすめて家の外に出掛ける頃。則ち稍長じて自由に外に出掛けるやうになつた頃から」。この apron-strings. の他の用例を與へると。He is still tied to his mother's apron-strings「彼はあの年をして未だ親の側が離れられない」。He is tied to his wife's apron-strings「彼は女房孝行だ」。propensity「性癖」。hearth「ストーヴのある場所の意。それから家庭の意となる」。

355. 「學校——徐行」なる揭示は自働車乗の人々にはよく見かける揭示である。かういふ揭示を見るに至つたのは斯くの如き地域に於ては自働車内の大人（をと）が最大の用心を出さねばならぬが街路上の學童には出来るだけ用心することを少くしてやらねばならぬといふ事實を社會が認容せる結果である。

㊦ locality「地域」「地區」。grown-up は形容詞で「成長したる」の意より「成年者」の意となる。minimum は maximum の反對で「最少限」則ち自働車が走る街路に於て幼児に全然用心なしに歩く譯に毎かぬがその用心を最少限度に止むること。

356. 風説に據れば軍備縮小會議を開催しては如何との事に関して歐洲諸國政府の意嚮を探るために非公式の内意伺を發したさうである。

report says 「風説に據れば」。feeler は動物の觸手（さばり）で其より先方の意嚮を探る言葉又は手紙。所謂「さぐりを入れる」のさぐりである。to sound は海などの深さを測量すること。其より「人の心を探る」「氣を引いて見る」等の意となる as regards 「.....に關して」。regards の語尾の s に注意せよ regards は動詞で三人稱單數の S なのである as が conjunction でありながら同時に regards の subject をなしてゐる。a disarmament conference と a を附してあるのは開催するやらしめないやら其處までは未だ定まつてはゐない會議のことであるからだ。

357. 現今程自叙傳の流行した事は嘗てなかつた。處が又今此處に見るが如く一公爵夫人が自叙傳を公にして自分の過去一生涯のことをすつかり社會公衆にさらけ出すのを見るは極めて稀有のことである。

autobiography 「自叙傳」例 Benjamin Franklin's Autobiography. vogue 「流行」。この頃は猫も杓子も皆自分の過去を顧み自叙傳を著すといふのである。unveil her life to the public gaze 「已の一生を公衆に視せるやうに發表する」則ち自叙傳を著して自分の一生涯の出來事を公けにする。unveil は veil (被ひ) を取る」則ち「公表する」の意。

358. 同夫人の不幸なる婚禮——之に續いて癲狂院に憂閉せられたこと等が極めて詳らかに記されてあつて斯うした悲惨な境涯を送らねばならなかつた人の一生に對する同情を鋭く唆る。

asylum は「隔離療養所」で必ずしも癲狂院といふ義に限つてはゐないが incarceration (幽閉) なる文句から察して癲狂院と解した。嚴重に癲狂院といふには lunatic asylum と言はねばならぬ。to evoke pity for 「.....に對する同情を喚び起す」。to be called to 「.....する様(神によつて)命ぜらるる」。to pass through such tragedy 「斯様な悲惨な境涯を

送る」。

359. 余の知る處ではレスリー氏の筆になるマンニング僧正の新傳記は一般公衆並に新聞界より大歡迎を以て迎へられてゐる。

So far as I have seen 「餘の見たる限りでは」。which we owe to Mr. Leslie 「それが出來たことに就てはレスリー氏の御蔭に由る」則ち「レスリー氏の著」。to find a welcome fromに「歡迎せられる」。the press 「新聞界」。

360. 彼は教育からいふとイートン學校の出身でケンブリッジ大學のキングスカレッジの卒業生で。家の系圖からいふと愛蘭人でもあり又亞米利加人でもある。英國國教高教派を脱して改宗したので羅馬正教徒であり。そして政治上の意見としてはシン・フエイン黨に屬してゐる。

この文は人の履歷とか出身などを列挙する時の形の一例と思つて出した。Eton boy 「イートン校で學んだ人」今は boy でなくとも斯う言ふ。又 Etonian とも呼ぶ。Eton College は英國の最も名高き學校で西紀一千四百四十年 Henry VI の創設に係る。この學生は制帽としてシルクハットを常に被つてゐる。by descent 「血統から云ふと」。High Anglicanism 「英國々教高教派」。conversion 「改宗」。Roman Catholic 「羅馬正教々徒」。in politics 政治上の主義に於ては」。

361. この僧正はその晩年に於てギボンス僧正（この人は最近物故した）とかアイアランド大主教といふやうな大西洋彼岸の（亞米利加の）徹底的民主運動先覺者と氣脈を通じた。斯くして大統領ウイルソン氏の考案よりも三十年も前に國際聯盟の先驅をなしたのである。

註 In the closing stage of his career 「彼の晩年に於て」.
 became an ally 「同盟者となつた」。則「……と氣脈を通
 じて運動を興にした」 across the Atlantic 「大西洋を隔て」
 亞米利加より斯う言へば英國を指す事となり英國からならば米國
 を指すことになるが茲では米國を指すらしい。who has recent-
 ly been taken from us 「この人は最近吾人の手より奪取せ
 られた」則「死去した」。to foreshadow 「豫表する」。a
 generation 「一代則子が生れて又自分が子を生む年代になるま
 での間の長さ。通常計數的に一世紀の三分ノ一則三十三年若くは
 三十年を以て one generation とす習慣となつてゐる。
 President Wilson's design 國際聯盟規約は米國前大統領ウイ
 ルソンの考案に成るものである

362. 若し吾人にしてこの勇敢なる先覺者、英國の俊
 傑中でも決して下位に屬してはゐない彼に偉人の稱
 號を拒むならば其は吾等の盲目を自白するに均しく
 はあるまいか。

註 a confession of blindness on our part 「我等に人の優劣
 を見分る眼識のないことを告白すること」。were we = if we
 were. to refuse this unhesitating pioneer the title of
 a great man (pioneer が refuse の indirect object で ti-
 tle がその direct object である) 「この躊躇逡巡せざりし開拓
 者(勇敢なる先覺者)に偉人の稱號を興へることを拒むこと」。
 one who……Britain は pioneer の同格。not the least
 among 「……の内決して下に位する者に非ず」。the Worthies
 of Britain 「倫敦市内に於て nine eminent citizens of Lon-
 don (倫敦九傑)を選定してあるが之を指すのである」。

363. 美術とか智力に於ては最高の天才ではなかつた
 けれどもマンニングの博きに亘る天賦の才能は無限
 の功名心を遺憾なく發揮せしめた。

註 scope=opportunity, vent. to give scope for 「……を發
 揮せしむ」。

364. 彼はすぐれて容姿閑雅で、様子のよい運動家で
 動作や言語や、禮儀振りに於て貴公子風の所が多か
 ったそしてナポレオンの如く非常に人の心を捕へる
 微笑みを持つてゐたそれで彼の敵すら彼に魅せられ
 たである。

註 athlete 「運動家」この語は athletics 「體育」「運動」の起
 りであるが athletics を知つてゐて athlete を知らぬ人が多
 い。in bearing, language, courtesy はあとへ来る much
 を modify する adverbial phrase である。to be much of
 「……風のところ多し」既出。a winning smile 「人の心を捕
 へる微笑」「その微笑を見ると如何なる人も之に抵抗出來ぬやうな
 微笑」。

365. 家族關係の圓滿なること及銀行業よりあがつて
 來る尨大なる財産のために彼の幼年時代は宛として
 お伽話の様であつた。則ち輝き渡り綺羅びやかであ
 つた。

註 Thanks to は厚意の「感謝」の意を失うて as the result of
 の如き意となり「……のために」「……の結果として」。to derive
 ……from 「……より得る。生ずる。獲得する」。banking 「銀
 行業」「銀行に金を預けてその利子で暮すこと」。

366. 太平洋が吾人の空想を眩せしむる陸と海とのパ
 ノラマは概してその海陸の景色以外に殆んど何等の
 珍奇もない。そしてそれが從來この方面の多くの熱
 帯小説が單に繪の様に美しいといふこと以上に多く
 出でざる以所である。

註 landscape 「山水の風景」若くは「山水畫」。seascape

は又 sea-piece とも言ひ「海洋畫」。landscape and seascape panorama 「繪の如き海と陸との美はしき廣闊なる眺め」。to leave little scope for (363) の give scope for を對照せよ。as a rule 「概して」。all too=quite. 之を only too (very ; exceedingly) の phrase と比較せよ。to fall short of 「缺乏する」「.....を缺く」。

367. 獨逸はレパレーション(賠償)の方がプレパレーション(準備)よりも困難なる事に氣がつきつゝある。

㊦ reparations are harder than preparations これは一つの word-play (言葉のもじり) で preparations の p を除いて reparations となし共に歐州戦争以來八ヶ釜しい語である。則ち諸君も識らるゝ如く歐州戦争が偶然に突發した様に見ゆるけれども獨逸は長い年月の間之が準備 (preparations) をしてゐたといふことは周知の事實である。戦後獨逸がベルザウムその他へ戦争のため荒廢に販せしめたものを恢復するために多額の賠償金 (reparations) を支拂はねばならぬ 位置に立つてゐる。開戦準備に幾十年かかつたのも随分骨の打れたことであらうがこの戦争の跡始末の賠償問題の方が嚙より辛く苦しいことであらうとの意。

368. 少し以前に彼は二三の短篇小説物に手を着けて見たことがあるがその中の何れも世間へ出さなかつた。そして「ザ・ブラック・サークル」は嘗に印刷に附せられて世に出る最初の彼の長篇小説たるのみならず又實に抑も彼の書いた最初の作であるのだ。

㊦ tried his hand on 「.....に手を着けて見た」。awhile back 「少し以前」この場合 back=ago 例へば for years back (過去數年間) の如し。to appear in print 「印刷して世に出る」。

369. 我國民が音樂思想のない國民だとは一般の通り評判であるがこれは事實の證明するところではない

と予は固く信じてゐる。過去數年間予は主として下流社會に於て子供や青年達の間にはける樂才及樂聲を採求して來たのであるが予は如何に多くの才能がありながら之を涵養する機會が無いといふ理由だけで空しく失はれて行くことを發見して一驚を喫した次第である。疑もなく現今では如何なる貧しい家にも備へてある蓄音機が音樂趣味特に是以外の方法ではよい音樂を聴くの機會極めて尠き人々の音樂趣味の程度を昂めるに預つて大に力あつた。國民の大多數に於て趣味が此處(音樂)に存するといふ事及只この趣味は持打て置かずに之を引出てやることを要するといふ事に就ては余は些の疑をも有せぬ。

㊦ the usual cry 「通例誰しも口にする定評」。to bear..... out 「證明する」。to look out for 「探求する」。to run to waste 「醬油とか酒とかが樽の隙目から漏れ出てムダになつて仕舞ふこと。その他折角のものが全然ムダになること」。through sheer want of 「只.....が缺けてゐる斗りで」。sheer=mere gramophone 「蓄音機」又 phonograph とも言ふ。the large majority 「大多數」全數を 100 とせば 51 も majority だし 99 も majority と言へやう large majority とは majority の度合の大きい事。

370. 斯んな淺薄な人間に議論するのは寸効もない(こんな人間にいくら説き聞かせたつてだめだ)。

㊦ argument would be wasted on him 「彼には議論は空費せられるであらう」則ち「彼にいくら説き聞かせて無効に終る」。

371. この人の著書を読んだ人は初めは彼を以て猥りに他の短を發き又過去のものを破壊し去るのは巧み

だが新しきものを建設することに就いては何等の献言する所なきが如き多数の輩と同一視する心持になる。

㊦ **to rank our author with** 「この著者を……と同じ階級に置く」「同一視する」。**excellent at …… ing** 「……することは巧なり」**to find fault (with a person or thing)** 「(人或は物の) 短所を指摘する」。**to break down** 「倒壊する」「破壊する」。これの反対は **to build up** 「建設する」。

372. 彼は良醫たるに背かず治療に着手する前に先づ診断に於て正確ならんことを欲するのである。

㊦ **like the good doctor that he is** 「彼は實際良醫であるんだがどの良醫でもやる様に」。

373. 十二歳の時未來の畫伯ジョン・クロームは或醫師の書生となりこゝで二年過ごして後フランス・ホイッスラーと言ふ馬車・家屋・看板等の塗師屋に年期奉公に入れられた。そして斯くしてクロームは未だ十五にもならぬ内に或意味に於て繪具と刷毛とに接するに至つた。

㊦ **errand-boy** 「使ひ歩きの小僧」こゝでは醫師の家だから「書生」と譯しやう。**to apprentice** 「年期奉公に入れる」。**came in contact with** 「……と接觸した」。**paint and brushes** 「看板屋の商賣道具たるとともに畫家必携品」。**after a manner** 「或る意味に於て」。

374. 程なく彼は或る年若き印刷屋の小僧と知合になつた。そしてこの兩人は共に繪を學び始めた。そして彼のホイッスラーに對する年期が明けた時彼は斯道研究に専心傾注した。

㊦ **to fall in with=encounter. out of his apprentice**

ship to …… 「……への年期奉公が満期となる」。**gave himself seriously to that art** 「眞面目にその道に自己の全部を捧げた」則「専心斯道の研究に傾注した」。

375. 某統計家の計算によれば紐育市を絶えず比較的いくらか綺麗に掃除して置くには年々二千七百萬弗近くの金が要るさうである。

㊦ **to figure** 「計算を立てる」。**it will cost in the neighborhood of** 「……近くの金が要るだらう」。**to mop up** 「綺麗に掃き淨める」**to keep New York mopped up** 「紐育を綺麗にしておく」。

376. 「活動寫眞業の元祖の一人」たるペンジャミン・ビー・ハンブトン氏は力説して曰はく、「活動寫眞ではよい少女が入用だ。良家の出にして教育ありその背後に傳説を有する少女を要する」と。彼は更に曰へるに「絹の財布は革では出来ぬ」といふ古語は之を近代語に焼き直すとよく活動女優はお粗末な出の者からは仕込めないとも言へやう。

㊦ **to announce in italics** 「力説する」**italics** は活字の一種で **italics** の如きものであることは諸君は先刻御承知であるがこの **italics** は語意を強める場合に用ふるゆゑ **announce in italics** は「力説する」となる。**back of her** 「彼女の背後に」**back** は此處では **adverb. adage** 「古語」「諺」。**A silk purse cannot be made of leather** 「いかに上等の革でも之を以て絹の財布は作れぬ」我が「瓜の蔓に 茄子は生らぬ」と大同小異か。**might be paraphrased into** 「別の語で言ひ直すと……となるだらう」。**screen actor (actress)** 「活動役者(女優)」。**coarse material** 「粗末な材料」こゝでは **vulgar people** の意。

377. 露西亞人殊に貴族社會又智識階級の露西亞人の勞農政府に對する態度はこの著者のよく事情を明らかにする數多の例話によりて述べられてゐる。

註 to touch upon=treat (subtree) briefly 「軽く述べる」。
illuminate は throw light upon 「説明する」「事情を闡明する」の意で illuminating incidents 「色々の出來ごとを拉し來りその出來事を讀めば自づと事情が分るやうなさうした出來事」。

378. (露國の) 共產主義者等は磨り切れたボロ着物を着る流行の魁をなしてゐる。見苦しい風采にして政治的効果を繋ぐ一つの主張なりとすれば其は甘くその目的に適つて居る。そは余の知れる限りでは共產主義者等は眞に邊幅を構はぬ人達であるから。

註 Communist 「共產主義者」(こゝでは露國の勞農政府謳歌者のことを指したのだ)。communism 「共產主義」。to lead the fashion in 「率先して……いふ流行を作る」。threadbare 「衣類等の磨り耗つた」。pose 「姿勢」「態度」「主義」。maintained for political effect 「政治上の或る目的を達せんがために維持せらるる」。so far as I could judge 「余の見る所では」。unconcerned with externals 「外觀には無頓着なる」。

379. 過日も余等はペトログラドへ共に旅行してゐたのだが余は余の靴と彼の靴との對照に氣がついた。余のは一足二十弗した亞米利加の行き届いた資本主義で經營してゐるさる店から買うた計りのだつたが彼のは踵がなくなつて居るし爪尖が口を開いて居る古びた間に合せ物だつた。

註 boots は通例長靴と譯してはゐるが決して騎兵や雨天に巡查が穿つてる如き long boots のみを指すのではない。我等が編み上

げと稱してゐる位の大きさの靴も boots である。not long out of a store 「店屋の手を離れてあまり間のない」「買ひ立ての」。conducted on sound capitalist principles 「行届いた資本主義の下に經營せられてゐる則資本を惜まないであらゆる設備を施しある店」。his an ancient makeshift=his boots were an ancient makeshift. makeshift 「間に合せ品」。gaping 「大口を開ける」。

380. 突然彼は軀を前の方へかがめて私の靴を撫でゝ見た。「露西亞でこんなやうな品を又買へる様になる日はあるでせうかねー」と彼は何の豫告もなしに突然思ひ掛ない問題に思ひ掛ない見解を下す露西人一流の突拍子な考へ方を以て斯う申しました。

註 I wonder? は疑問文の中若くは終に附すると疑問の度を強くしたり若くは疑問の上に歎息の意を加へる。speculative leap 「默想上の高跳」則ち「今までの話してゐ若くは考へてゐたことから飛び離れた問題に心が突然に走せ行くこと」。are likely to 「……に有り勝ちな……すること」。point of view 「見解」。

381. 余はこの時靴の紐を解き始めた。彼は驚いたやうな顔付をした。私は曰つた「一寸この靴を穿いて見て御覽なさい。そして御足に合ふやうでしたらお使ひなすつて下さい。私はもう一足持つてゐるんです。それに露國を去るところですから」。彼は己の靴は充分己の用に足りるし且これでも四隣の人々の靴と比べれば上等の部だからと之を拒んだ。スルト余は客車の窓の所へ歩いて行つてその脱いだ靴を列車外にブラサゲた。「サー線路上の歩道を通つて來る最初の農夫がこの靴を得るかそれか貴君か孰らか

です」と余が曰つたので彼もとうとう我を折つた。

④ **to unlace** は **undo, untie, unlearn** などの **un** で **lace** (組み紐) で結んであるのを解くこと。 **to try.....on** 「着用して見る身體に合ふか合はぬかを試すために」。 **I walked to the car-window** この時二人は ペトログラード行の列車内にゐたのだ。 **dangled** 「アラアラするやう 吊り下げた」。 **right of way** 「鐵道線路とか他人所有の原野等に於て永い習慣からそれを通行し得る権利のこと」それより「鐵道線路の 兩側の人の歩む狭い道」。 **to wilt** 「萎れる」「凋む」の意より「我を折つて相手の言ふ通りにする」。

382. 日本では野球は此頃傳染病のやうに流行してゐる。いつか近い將來は巴旦杏の様な眼をした「赤ん坊」が東京競技場に於て長い一と打でホームランをやつて人々を狂奔せしむる日が来るだらうと世人は噂してゐる。

④ **almond-eyed** 「巴旦杏の實のやうな眼をした」これは日本人の眼の黒いのを指したのだ。 “**Babe**” 「野球家は皆概して無邪氣で殊に **runner** となつて一の壘から次の壘に到達するときの如き全く無心の赤ん坊と異ならぬから野球家のことを **babe** といふ」。 **to throw the people into a frenzy** 「人を狂喜せしむ」。 **to line** は野球用語で **high fly** の反對で殆んど地面に接せん計りに低い眞直ぐな **hit** を打つことを言ふのである。この種の **hit** は非常に早く飛ぶので捕りにくいので往往この **hit** をなした **batter** は多くの壘を奪取することが出来ることがある。 **line out a home run** 「本壘打をなす」。

383. 早稻田大學のチームは今亞米利加を巡歴中であるがその目的は吾人の聞くところに由ればエールやハーヴァードやその他の米國大學諸チームの首級を擧げて歸國するが爲といふよりは「この技の遊び方

を修得するが爲だとの事だ。

④ **not so much.....as.....** 「.....といはんよりは寧ろ.....」 **of carrying back.....及 of learning the game** の **of** は **the object of** の **of** である。 **to carry back the scalps of** 之は **American Indians** がその昔首狩に出て白人の首を澤山斬り取つて歸ることを譽れとしてゐたことから「.....の首級を 携へて返る」より競技等に於て「勝利を獲て歸る」の意。

384. 日本國の最も古き遊技の愛好者にして野球の狂熱的の面白さに牽かれてこの技に轉換しつゝあるもの多數あるとの評判である。

④ **Report has it** 「斯々いふ風聞がある」この **it** は **that** 以下の **clause** の先行主格。この **has it** はこの外 **This mornidg's paper has it that.....** 「今朝の新聞に斯々の記事が出てゐる」の如くにも用ふる。 **turning for excitement to baseball** 「熱狂的興味を得んがために野球に向ふ」則ち「野球の熱狂的興味に牽かされて野球を開始するに至る」。

385. この計畫を聞いてある日本の野球熱心家は日米兩國の外國官達の採れるあらゆる手段よりも野球の方が遙かに大なる兩國間の平和維持の働きをなすだらうと確信するに至つた。この人の説に據ればバットを相交へる (野球技を闘はす) 位の人々は之を捨て、バットよりは重い飛道具に取換へるやうなことをすまいとの事だ。

④ **leads a Japanese enthusiast to believe** 「日本の熱心家をして.....を信するに至らしむ」。 **agency** 「媒介物」「仲介者」。 **to cross bats with** 「.....とバットを交ふ」「**baseball game** を闘はす」。 **artillery** 「大砲の如く彈丸を放出する機械」(重もに大砲を指す) の集合名詞である。こゝで飛道具と譯すると

面白い。蓋しバットも一つの飛道具と稱するを得るから。

386. シカゴ大學の選手が千九百十五年に日本へ渡つた時には日本の之に對抗せんとして差出し得るあらゆる相手を撫で斬りにした始末であつた。

註 the Chicago University nine 「シカゴ大學の野球選手」(野球戯に於ては九人で一組をなすから nine といふのと team といふのと同一)。to make a clean sweep of 「奇麗に片付ける」「全滅せしむる」。to put up against 「.....に對抗せしむる様.....を押し立てる」よく選挙などの際に 候補者として推立てることを put up as candidate で表はす。

387. 日本の資本家中に合衆國の例に倣ひ野球戯を以て營利事業化せんと考案中のものがある。

註 to commercialize 「商業化する」「營利の 目的物とする」。after the pattern of 「.....のやり口に倣つて」。

388. 昨年中野氏は運動大使の様な格式で合衆國に来てゐた。

註 in the rôle of 「.....の役割にて」。rôle は演劇用語で俳優の勤める「役割」の意。

389. 倫敦在住の日本人の多數が見物人の前の列の方へ無理に押し出てゐたのが眼立つてゐた。

註 to squeeze oneself into 「無理に.....へ割り込む」。squeeze は元來蜜柑や海綿濡手拭等を絞ることを指すのだが無理に狭い場所へ這入り (into) 若くは出る (out of) になる。

390. 幸ひ天氣晴朗だつたので殿下には最もよい時に於て倫敦目貫の場所を御覽せらるゝ機會を得給うた。

註 a beautiful bit of London 「倫敦の美しい場所」「目貫の地」。at its best = at its best state.

391. 今日萬人が口先計りで自由なる民主政治の尊む

べきことを稱へてゐるが、一方世間の様子を見るに人々は國家の箇人に對する義務を無暗に八釜しく言ひながら箇人の國家に對するの義務に就いては一向に實行してをらぬ。

註 pay lip service to 「唇の奉仕をなす」則ち 口先計りは堂々たる議論を吐いて.....のために謀るが一向實行には努めない。この文は「アモクラシー。デモクラシー」とこの頃は猫も杓子もデモクラシーでなくちや夜も明けぬやうに騒いでゐるが 社會の實況を見ると國家は國民のためにこれをしなくてはならぬ あれをしなくてはならぬと國家の國民に對する義務計り八釜しく論じて 國民の對國家の義務に就ては殆んど實行さるゝところを見ない。それほどデモクラシー (民主政治) が大切なら國家は自分のものなだから先づ國家に對する國民の義務をどしどし果したらよからうぢやないか」といふ意義である。

392. 私はこの時甚だ恐怖を覺えたそして私は平素の吾に似氣なくもブルブル顫へる指で小銃に裝填を直しながら慌てゝ隠場所もがなとあたりを搜がし廻つたのであつた。

註 to reload 「彈丸を入れ換へる」。inspite of me (or myself) 「我にもあらで」「自分の平素はこんな風ではないのだが思はず知らず」。to cast about for 「.....がないかと搜し廻はる」。

393. 私はこの時まるで木の葉の様に打ちわなゝきそして汗のために外が殆んど見えませんでした。

註 to shake like a leaf 「木の葉の如く打顫ふ」木の葉は風が少し計、吹いてもザキ劇しく揺れ動くところから斯う曰ふ。これと同じ意味で to shake like an aspen 「はこやなぎの木 of 如く打顫ふ」といふのもある。

394. 私の心が私の靴の中に沈んだ (非常に驚愕する

の意)といふ句を以つてしても猶私のこの時の感情を適當には表はしてゐぬ。

㊦ *one's heart sinks into one's boots* 「非常に驚愕する」「ぎよつとする」。*portray* はこゝでは動詞で「描寫する」。

395. 初めは私はこの野牛がしたゝか撃たれてあるからもう死に瀕してゐるんだらうと思つて氣を安んじてゐた。ところがその考は捨てなくてはならなくなつた。彼野牛は顔を私の方へ向け耳を前方に投げ出して私と斜に相對して座つてゐた。宛然注意そのものの像の如くに。否私の心配な目には兇猛そのものの像の如くに見えた。

㊦ *to buoy one up* 「元氣付ける」。*with the hope that* 「……だと思つて」。*head facing me=with his head facing me* 「頭則顔を私の方へ向けて」。*ears flung forward=with his ears flung forward* 「耳を前の方へかき上げて」「犬など何か熱心に注意することがあると耳を前方へピンと立てる。その状態。*the picture of alertness* 「注意とか警戒とかいふ無形の性質を繪にしたら斯ういふ姿とならうかと思はるゝやうな顔付態度」。*wickedness=the picture of wickedness*。

396. 一時間若くは恐らくは一時間以上の間——余はこの場合時間などは計らなかつた——私は失神した人の如くそして絶望しながら私の樹に死に神の如くに嚙り附いてゐた。

㊦ *at that juncture* 「この際」。*to keep count of time* 「時間を計る」。*to hold on to* 「……に嚙りつく」「離さぬ様しつかりつかまる」。*like grim death* 「恐ろしき死の如くに」「死神の如く」死の神が一度び何某を死なせやうと眼をつけたらどうしても斯うしても之を離さぬ(大病の人が病床に呻吟すること幾年月なるも遂には冥土に引とられて仕舞ふ)やうに。

397. 音響の量の多少が睡れる人を眼醒ましむるか否かを決するものではなくしてその音響の怪しき未知の性質の音響たるか否かが之を決するものである。例へば睡れる人が文字通りに家を震動せしむるが如くに家の側を通つて行く急行列車の音に氣も附かずに眠り續けながら室内の譯の分らぬ些々たる音にはバツと眼が醒めるやうなものである。

㊦ *volume* 「撥がり」「容量」。*whether the noise is of a suspicious and unknown character* の次に *decides whether a sleeper is to be awakened* を入れて見よ。*to sleep through the noise of* 「……の音にも氣がつかずにすやすや眠り續ける」。*literally* 「文字通りに」則ち *jars the house* (家と震動させる) といつたのは決して誇張の言ではない文字通りにそうであるの義。

398. 吾人は博物學を學んで箇々の動物がその屬する種の通有習慣を脱しやうとしても甘く行かないものなる事を知る。幾百千代かの間必要上よりして動物の採用するところとなり且耽溺して來た習慣は一箇の動物として之を排除し難き一つの力を有してゐる。

㊦ *have little success in* 「……せんとするも甘く成功せぬ」。*break away from* 「斷ち切る」「……より脱する」。*species* 「動植物學の種」。*to indulge in a habit* 「ある習慣に陥つて之に耽溺する」。この *indulge* を過去分詞として *habit* を形容するやうにすると *a habit indulged in by* ……となる。*to resist* は「御く」「はれつける」等の意。*to resist a temptation (an offer)*。

399. 彼は親切な男だ。その反對に彼は忘恩を惡むことはげしい——又誰か忘恩を惡まないものがあらう

や。

■ **Conversely** 「その反對に」, **as who does not?** 「誰かせざらんやの如く」則「それに又何人か.....せざらんや」。

400. 何人も毎年十二ヶ月の休暇をとることが出来ぬ。休暇なるものは千篇一律の常軌生活を一時免除といふ形式となつて來るに非れば少しも有難いものではない。

■ **take twelve months' vacation each year** 「毎年十二ヶ月の休暇をとる」とは年が年中遊で計りたること **is no fun** 「ちつとも面白いことはない」。

401. 英國は一週間のうち二日だけその全人口を養ふに足る食料を産するのみである。残る五日間の食料の供給は之を合衆國、南米、在外屬領及び歐大陸に仰がねばならぬ。

■ **Great Britain** は嚴密に言へば **England** と **Wales** と **Scotland** より成り立つ **Great Britain** 中の大なる嶋を指すのである。この意は **Great Britain** にて産する食料品は全嶋の必要量の七分の二にしか當らぬ。残る七分の五は米國その他から仰がねばならぬといつてゐるのだ。序でながら英國皇帝の正當なる稱號は次の如く言ふ

Georg V., by the Grace of God of the United Kingdom of Great Britain and Ireland and the British Dominions beyond the Seas King, Defender of the Faith, and Emperor of India, 随分長々しい **title** ではないか。 **For the supplies of the other five days it must look to.....** の如く **to look to some one for.....** 「.....の供給を何某に仰ぐ」。

402. 多くの探勝家は高くアルプス山上に咲く花を眺

めて深く喜ぶけれどもコロラド州、カリフォルニア州、オレゴン州、若くはワシントン州などに在る満目花で蔽はれたる高山草原に比肩すべきものが又他に何處にかあらうや。

■ **take delight in** 「.....に興味を抱く」「.....を喜ぶ」。
compare with 「.....と肩を並べる」「.....に拮抗する」。**compare** を斯く自動詞の意義に使つた例を挙げると

No country can compare with Japan in beauty of scenery. (風景の點に於て日本に比肩し得る國無し)

How does the one compare with the other?

(甲は乙に比して優劣如何)

It compares favorably with the other.

(甲は乙に比して遜色がない)

403. 段々と私の腰部が強く締まつて來るのでポツポツ擡頭しかけてゐた飢餓の苦痛が鎮められた。飢餓と言へばそれもその筈約九時間といふものは私は何も口にしなかつたのだもの。

■ **making themselves felt** 「其自身を感じしむる」則「擡頭する」

404. 貴君が人生に於ける孰れの岐路を選むとも後になつて自分が通らなかつた方の道の方の景色が今自分が通つてゐる道のよりも興趣多きに非ずやと疑ふに至るであらう。

■ **fork of road.** 「道路の別れ路」人生で言ふならば商賣人にならうか農夫にならうか。一生獨身で通さうか家庭生活に入らうかといふやうな決心の別れ道。 **later on** 「後になつて」。

405. 自分の妻が完全無缺の寶玉であり自分の子供等

が皆智的には麒麟兒、身體的には申分なき模範兒だといふことを得々として矜とするが如き模範的の夫則ち離婚裁判の語だけを聞いても慄然として驚くが如き夫の龜鑑たるやうな男でも自分の最も親しき友に自由の身で己の好きな通りに出来たら屹度愉快だらうと洩らすことがある。

■ **Darby and Joan** 之は (**Darby** 氏 1730年に死んだ) 英國の模範的夫婦で一才我國の高砂の尉と姥式の夫婦であつた。それで **Darby** と言ふと **ideal husband** の意となり **Joan** といへば **ideal wife** の意となる。 **wants the world to know** 「世間に……なることを知らしめたい」則ち「……が自慢である」。**prodigy** 「並外れの者」「不可思議」より「俊才」「鬼才」の意となる。**paragon** 「龜鑑」。 **shudder at mention of** 「……の話を知りただけでも慄然として驚く」。**masonic friends** 「秘密結社の朋友」。

406. 彼の強味は何人にも明白なるその目的の熱誠なると正直なる點並に自分が平素唱導してゐることを萬難を排して之を實行せんとする不撓不屈の決心に存する。

■ **lies in** 「……に存する」。**transparent** 「透明なる」則ち「誰にもよく分る」。**of purpose** は **sincerity** 及 **honesty** の兩語にかかる。**what he preaches** 「彼が平素説教する事柄」「自己の所説・主張」。**to practise** 「實踐する」この語の名詞は **practice** である。續の相違に注意。**at all risks** 及 **at all hazards** 共に「萬難を排して」「如何なる障害ありともものとせず」の意。

407. この獸群中に今一頭ヴエンドレデイと呼ぶ獅子がゐたが之は往年佛蘭西から輸入せられたものであ

る。曲藝團やら見世物師連やら活動寫眞撮影などに引張り廻はされてすつかり瘦せはててこの時には老齡と結核のために瀕死の状態にあつた。

■ **lot** 「一つの集團」。**Circus-, show-,** など **hyphen (-)** を附した儘で續く語がないのは最後の **movie-broken** の **broken** を共用にしたためである。この意味は **broken by circuses, shows, and movies** (曲藝團やら見世物師連やら活動寫眞などに酷使せられて) の意。**tuberculosis** 「結核」。肺結核は **pulmonary tuberculosis** といふ。**consumption** も肺結核であるが之は世間語で前者はと語である。普通ツベルクリン注射といふのはこの **tuberculosis** から出てゐる。

408. 遅蒔ながら獨逸が聯合國賠償委員會の課した條件を承諾したのを見て眞の世界回復の緒に就いたのだと多數の人々は觀測してゐる——但し獨逸がその契約履行を怠らぬ限りはである。この獨逸の屈服一今にも佛軍がルール谿の彼方へ侵入しさうな形勢が刻々と迫るまでは遅延してゐたのだが——この屈服によりて「巨大なる脅迫が世界から取去られた」と紐育ヘラルド紙は斷じてゐるそして全世界の凡ての國民はこの新しき平和・靜謐・安定の前途」を祝福しても可なりだと言つてゐる。

■ **eleventh-hour** 「第十一時の」これは正午若くは深夜に僅かに一時を餘すのみだから「遅蒔の」「大におくれた」の意となる。**Allied Reparations Commission** 「聯合國の賠償委員會」。**to default on one's agreement** 「契約履行を怠る」。**shadow** は英諺 **Coming events cast their shadows before (them)** 「事件の起る前には屹度前兆がある」の **shadow** と同じ用法で軍隊侵略の影(則ち評判)がだんだん黒く濃くルール

谿に擴がつた。Ruhr は Rheln 河の一支流で佛蘭西境の獨逸の工場地。

409. 或る勞働頭首連は小賣値段の下落に釣合へる勞働賃銀減額に對して勞働者連も同意してゐることを認めてゐるとともに雇主達がこの點に於てやり過ぎるといけないぞと警戒を與へる頭首等もある。

㊦ labor leaders 「勞働者仲間の首領」。commensurate (形容詞) with 「……と釣合つた」。to go too far 「遣り過ぎる」。

410. 學校費を削減して而してあとになつて監獄や感化院などの方面にその金を用ひるが如きは拙劣なる經濟政策である。

㊦ to cut down on schools 「學校の費目に於て經費削減をなす」この場合の on は「……の項目に於て」。use the money on 「その金を……に費やす」。

411. 火焰に包まれてゐる鑛山の中に跳び込んで自分の生命を顧慮しないで半ば窒息せる一人の坑夫を救ひ出す人ありとせんか是れ當然偉丈夫と稱すべきである。斯かる人は賞牌を贈られ彼の名は國中到る處に電信で通報せられる。處が茲に昨年斯うした賞牌贈與や喧傳することなしに幾百名の坑夫の生命が救はれた。それは大部分合衆國鑛務局のお蔭ではあるが改良安全装置の爲である。

㊦ at the risk of 「……を失ふも覺悟の上で」。is rightly rated a hero 「偉丈夫と稱するも何の不當もない」この場合 rightly は The man is rated a hero の文全體を modify する。rate 「評價する」。from coast to coast 「國の果てより果てまで」。due to 「……のお蔭で」。

412. 若し老衰したいと思ふ人はぐづくづするに限る人の生命を奪ふ速度は早驅に非ずして匍ふが如きのろさにある。兎に角これがヴツヅ・ハッチンソン博士の説である。紐育のコスモポリタン雜誌に寄稿して同博士は次の事實を指摘してゐる。それは東洋ではあれほどの平和と安逸と繁劇などが全くない長閑な生活を以てして猶生命が短い。平均の壽命は彼等が所謂西方夷狄と呼ぶ歐米人の三十六年乃至五十六年に對し印度では十九年乃至二十一年。支那では二十二年乃至二十五年である。我等白人種の祖先は簡易なる生活を送つたものだ。が三世紀前に於て歐洲各都市は一千人中五十乃至八十の死亡率を有した。一世紀前には三十乃至五十が普通であつた。今日では神經を緊張せしむる繁劇な殺人的の速度を以てして人口過度に稠密せる紐育や倫敦やシカゴに於ても有史以來最低の死亡率を持つてゐる。則一千人に就き十一二分ノ一乃至十二二分ノ一である。大躰として近世文明の繁劇は現代人をして夭折せしむるといふ證據は驚くべき計り尠い。否全く無いと言つてもよいと言ふのが同博士の意見である。

㊦ wear out 「銷耗する」「消磨する」こゝでは人間のことを言つてゐるのだから「衰亡する」。at any rate 「兎に角」「少くとも」。point out 「指摘する」。with its peace,……「その平和……を以てして」「……がありながら」。freedom from hurry and bustle 「慌たゞしき生活を知らぬ事」「呑氣・靜穩な状態」。it is in the Orient……that life is short 「壽命の

短いのは東洋の諸國に於てである」it は that 以下の代りで強勢法の it である。as compared with 「……に對して」「……が……なるに」。“western barbarians” これは支那が自國を中國とか中華とか誇稱して凡て外國人を夷狄と呼ぶことを滑稽的に利用して歐洲人のことを斯う言つたのだ。landing us in premature graves=bringing us to premature graves 「早世せしむ」。序だが早産のことを premature birth といふ。

413. 看護婦とはどんなものか。それは單に如何にして體溫を計るか如何にして患者に沐浴をさせるか若くは如何に病狀記録を記すかといふやうなことを識つてゐる白衣の婦人といふだけではないのである。シカゴの巡回看護婦協會の總務長エドナ・エル・フォーリー確言して曰ふことに優良なる看護婦とは彼女ならでは救ひ得ざる人命を救はんがために日夜奮闘するものであると。同女史は更に次の如き某知名外科醫師の言を引用してゐる。その醫師曰く「手術をなせしは予なるも患者の命を救ひしは看護婦達なり」と。

in white dress 「白衣を纏へる」。in に衣服を「着用せる」の意あり。a gentleman in frock-coat; a woman in black 等の如し。take a temperature 「檢溫器で體熱を量る」。to quote a person as saying:…… 「何某が斯々言つてゐると傳へる」。

414. もう相當に古い話であるが嘗て三名の外科の大家が立會で或る不慮の災害の際殆んど危險に瀕せる重態患者に大手術を施したことがあつた。手術は完全になされたが患者の生命は宛然一すじの絲で釣り

下けらるゝ荷物の如くであつた。

A good many years ago 「かなり多くの年月の前」だから「もう相當に古い話だが嘗て」といふやうな意となる。major operation 「大手術」。to perform an operation on a patient 「患者に手術を施す」on に注意。operate を動詞に使う場合でも on を要する。之を passive にして He was operated on とすることが出来る。hung の現在形は hang だ。to hang by a thread 「危ふき状態」。

415. この外科の醫師達は去りがけに注意書を満載した紙片を残して行つた。蓋しこの患者は型の定まつた病症では無かつたから。行きがけの残し言葉として看護婦は斯う言はれた。「Aさん。特に一言しておくがこの患者(婦人)は千中一の見込も覺束ない。しかし吾々醫者共は精一杯のところを盡したのだ。この上は仕事は全く貴女の手に移るのである」。

a typical case 「典型的の病症」「他に類例の多い型に嵌つた病症」。chance 「勝目」「恢復の見込」。not one chance in a thousand 「十中九分九厘までは望無し」。it's up to you 「其れは汝の職責に在る」。

416. 現代の露國音樂作曲家中に於てラチマニノフの名程高く知れ渡つてゐるのは外に無い而して彼の「オール・ナイト・ヴィデル(終夜のお籠り)」は近世教會音樂に於ける劃期的作品の一なりと言はれてゐる。

contemporary 「現代の」。landmark 「境界標」「陸上目標」の意より「歴史上際立つ事件」。

417. 戦前までは腕時計は婦女じみた事の表徴となつ

てゐたが戦後になつてからは殆んど軍人の實印の如く無くてはならぬものとなつて仕舞つた。四圍の状況は吾人の衣服に關する考をも變更せしむる。

㊦ *effeminacy* 「婦女らしき事」。 *sign manual* 「自筆の署名」「自署の名前」といふ熟語。自筆の名は丁度日本の實印の如くその本人に絶えず伴ふものだから「無くてはならぬもの」と譯した。 *Circumstances alter our opinion of clothes.* 環境は吾人の衣服に關する意見をも變ぜしむ。

418. 「この大コルシカ人(奈翁)がセント・ヘレナ島にて死んだ分、則ち何時何分のその分の第百周年を記念する禮砲は一時間と廿二分だけ早目に發砲せられたそれで激し易き大奈翁崇拜者等はこの過失はこの擧式を批難せんとする共和黨員等の側に於て故意にせしものなりと攻撃してゐると紐育ウオールド紙の特派員が言つてゐる。

㊦ *to mark* 「印づける」則「記念する」。 *the great Corsican* 「大コルシカ人」奈翁はコルシカ島の生れだから「奈翁」の意。奈翁は一千八百二十一年五月五日セント・ヘレナ島で死んだので一千九百二十一年(大正十年)同月同日は百年忌であつた。 *to be deliberate on the part of* 「……の側に於て故意にやつたことである」。

409. 彼は又起業の才幹を有し、活動家であり日常生活の趣味は單純であり態度は勿態振つたところなくそして篤實の士である——かうした事實の方が大多數の米國人の眼にはより多く要領を得てゐる。

㊦ *which may be more to the point* *many Americans* の *clause* はこの文全體を *modify* してゐる。だから解し易く書き直すなら *He is also an organizer of industry,*

.....and sincere, and the above fact may be more to the point.....many Americans. となる。 *to the point* 「要領を得てゐる」。 *simple in his tastes* 「あれが好き之れが嫌ひといふ様なこと少く日常生活の趣味に於て單純である」。 *unpretentious in his manner* 「態度座に様子振つたり氣取つたりすることが無い」。

420. 兵器(軍艦大砲等)會社どもは萬國軍備競争場を開いてゐるといつてもよい。その競争場に於て軍備の競争は一の國を他の國に對し外部から嫉しかけることによつて益々強烈とならせた。

㊦ *to play off one person against another* 「一方の人を喚しかけて他の人に喧嘩せしむる」。

421. まだ讀者も記憶してゐやうがオブレゴンは最近に暗殺されんとして遁れた。彼の傳記作者の多數の言にして信すべくんば斯ういふ離れ業は彼には頻出の事である。

㊦ *it may be remembered* 「讀者猶記憶せん」。 *survive* は *to live after* の義の他動詞で「……よりもあとに生き残るの意」。 *survived an attempt on his life* 「彼の命を奪はうとの企圖よりあとに生き残つた」則ち「暗殺に遭ふところを甘く遁れた」。 *a very common achievement with him* 「彼にとりては頻出の離れ業である」この文句の前に *which* (上記の事實全體を指す) *is* を入れて譯すべし。 *if his biographer is to be believed* 「若しも彼の傳記にして信すべくんば」の意の處を「傳記作者にして信すべくんば」と言ふ。

422. 奈翁は彼の向ふ所敵なき鷲の旗を西はアルプス山脈より東はピラミツド屹立する埃及まで南はテイガス河(西班牙と葡萄牙の二國內を流る)より北は

モスクワ河（露國）まで推し進めた。その席卷の範圍は歴山王やハンニバルやシーザーの功業をも凌駕してゐる。彼は彼の大なる天才により彼の活動慾により、而して無節制にも近き燃ゆるが如き天性によりて、凡ての他の史上の英傑よりは傑れたどこまでも世界最大の武將である。上に述べた無節制に近い燃ゆるが如き天性は戦争の仕事には常に具合がよいが平和の均衡には危険である。

㊦ **victorious eagles** 「勝利をしむる鷲」とは佛蘭西皇帝の紋章は鷲であるから奈翁の向ふところ必ず鷲の繪の畫かれたる旗印が伴ふ然るに到るところ彼は戦争に勝つたから **victorious eagles** である。**in their blight** の **their** は **eagles** を指す。「奈翁の旗印の席卷した範圍から言へば」の義。**He remains the great captain** 「彼は何處までも矢張り大武將たるを失はぬ」。**to the point of** 「……の程度に 達するまで」。**equilibrium** 「平衡」「均衡」。

423. 奈翁は戦争の技術をして従來世人の知悉せる蘊莫を突破してそれ以上に達せしめた。處がこの技術が却つて災をなして彼を失脚せしめたのである。彼は己の生國（佛蘭西）の榮譽は則ち己の榮譽としこの兩者を不可分なりと考へて諸民族の運命を決するに武力を以てせんとした。恰も貴き犠牲を拂つて得たる引續きの戦勝によつて一民族に幸福を與へ得るかの如くに。恰も一民族は勤勞に依るに非ずして國威によりて生き得るかの如くに。恰も打亡ぼされたる民族はその獨立を破壊されたる以上は他日之を回復せんとして起ち上り數に於ても強くその目的に對

する信念に於ても強き軍隊を引具して現はれ出づることなきかの如くに。恰も文明世界にては正道は單に暴力に基礎を置ける權力を支配すべからざるが如くに。

㊦ **beyond all known heights** 「従來世に知られてたる高處以上に」則ち「従來極め盡した戦術の蘊莫を突破して」。**carried him to dizziness** 文の初めに **heights** なる語を使つた關係上 **dizziness** と來たので「あまり高くて眩暈せしむるに至つた」則ち「この戦術その物のために失脚するに至つた」。**to identify A with B** 「Aと Bとを同一物と看做して」。**it was by arms that……peoples** は **he wished to settle the fate of peoples by arms** の意味を強めたる形。**to settle the fate of peoples** 「民族則國家の運命を決する」。**victories dearly bought** 「貴重なる犠牲を拂つて得たる勝利」。**live on glory** の **on** は **The Japanese people live on rice** の **on** と同一の用法である。**their independence crippled** は **with their independence crippled** なので **crippled** は「跛にせられたる」「不能にせられたる」。

424. 白聖館の飼育動物は特別の保護者を持つてゐる。其はウイリアム・ジャクソンといふ南國生れの黒人である。そして彼はこの飼育係の職務をルーズヴェルトの統治時代に始めた。このルーズヴェルト家は活潑な一族でこの家の男の兒等は澤山なそして色々の種類の寵愛動物を飼うてゐたので之等の動物の世話をする專管人を要したのである。當時の動物は單に仔鳥や犬や羊に止まらず兎・廿日鼠・海龜・蛇・その他蠢動し若くは匍匐する動物なら何でもといつた

鹽梅に立派な一個の動物園位はあつた。時々この動物等は彼等の檻を遁れ出で、白聖館の方に侵入して行つたさうである。そして何しろ人に對して甲乙の差別をつける奴等でないから大統領に面會しやうと待つてをる高貴の訪問客の脚にも匍ひ上つたといふことである。

■ regime 「統治」「政治」。detail は軍隊語で「小派遣隊」の義 special detail は「持派人」則「管專者」。to look after 「世話する」。regular menagerie of 「……より成立つ立派な動物園」公立の動物ではないのだけれども下手な動物園に劣らぬ位澤山動物がなる。being no respecter of persons 「この人はえらい人だから 匍はずに置かうこの人は詰らぬ人だから 嚙んでやろうなど、人によりて甲乙の差別を設けない」。これは Law is no respecter of persons (國法には貴賤貧富の差別なし) の如く屢出る形である。

425. 青年は常に因襲に對して幾らか反抗性を有つてゐる。

■ in revolt against 「反抗する」。conventions 「過去よりの因習」。

426. 餘り遠からぬ未來に於て婦人の現在の服裝は捨てられて全然異なつた服裝が採用せられるだらうといふことは明朝太陽が上るといふ事實と同じ位確實である。

■ at no very distant future 「餘り遠からぬ未來に於て」。at に注意。'A' will be abandoned for 'B'. (Aを捨て、Bをとる)。

427. 一般に次の一の教訓を心に記しておくがよい。

それは斯うだ。控目。例へば過度にならぬ様に控目にするといふ事は處世術並にその他の術の秘訣である。

■ in general 「一般に」。to bear in mind 「心に銘記する」。Key to 「……の秘訣」。

428. 今度の戦争に於て凡ての人は宣傳を用ひたそして私の考ふるところでは凡ての人は程度こそ違ふけれども眞實を抑壓するの義に於て或は嘘偽を流布するの義に於て之を誤用した。予一箇人としては戦争の唯一の目的は敵を敗るに在る以上はその目的を達せんがために鹽素瓦素までも利用するが如き今日の戦争に奚んぞ嘘を使ふことを控へねばならぬ譯があらうやである。

■ in varying degree 「違つた程度に於て」「程度こそ異なれ」。put forth 「公けにする」「發表する」。personally 「一箇人としては」「他人はいざ知らず小生一存では」。I see no compelling reason why 「……せればならぬといふ退引ならぬ理由ありとは思はぬ」。abstain from 「……を慎む」「絶つ」

426. もし君の敵手が必要以上に寡言であるならば彼は公明に背くの罪を犯してゐるのだ。もし彼にして必要以上に喋舌であるならば彼は宣傳の罪を犯してゐるのだ。宣傳を言ふは公けに他を批難することである。宣傳は嘘偽の別名となつて仕舞つた。

■ sins against publicity 「公明正大といふ道徳を破つてゐる」。sins by propaganda 「宣傳といふ罪を犯す」。synonymous with 「異語同意である」。

430. 太平洋の相對する兩岸(日米)の恐怖論者は最

近兩國間に開戦の可能なることを頻に説いてゐるが孰れの側も攻勢にいでる様子もない。互ひに他方から攻めてかかつて来るものと考へてゐるから。

㊦ on both sides of the Pacific 「太平洋の西岸」だから日米兩國の意。 possibility of a war 「戦争が起りさうであること」。 seems inclined to 「……したい心持があるやうに見ゆる」。 take the offensive 「攻勢を執る」。

431. チャーリー・チャップリンはロス、アンゼレスのホリーウッドなる自分の仕事場で活動フィルム撮影の目的を以て演技中九死一生の目に遭つた。彼の着衣に火が着いたのだとして殆んど瞬く内に彼は全身火焰で以て包まれた。この名優は遅滞なく病院に移されたとして病院で調べて見ると彼は手、顔、腕及脚等に火傷を受けてゐることが解つた。

㊦ have a narrow escape 「際どい遁れ方をする」「九死に一生を得る」。 studio 「技術者の仕事場」例へば寫眞師、美術家などの仕事するところ。此處ではチャップリンの専用の活動寫眞撮影場である。 to catch fire 「火がつく」。 to be enveloped in flames 「火焰に包まれる」。 star 「花形俳優」「評判の人」。 burn 「火傷」。

432. 吾等はいふ泰平の時代中に電燈は成るだけ儉約して使ふやう又あらゆる方法で儉約を守るやうにと命せられた否尠くともさうするやう可憐に要求せられた以上は舞踏會發起者やその他の手合は多少不安を感じてゐることだらう。

㊦ now that=since. to burn less light 「電燈を成りだけ少く燃やす」則ち餘計な燭光を燃やさぬやうにする。 piping

days of peace 「鼓腹して泰平を謳歌するの時代」 piping は「笛を鳴らす」の意で martial music (軍樂) に對する語。 dance organisers 「舞踏會を開催する發起人」。 feel worried 「不安を感じる」。

433. ブライス子爵はナショナル。ジオグラフィックマガジーン紙上に西伯利亞に關する記事を寄せて該地方の鐵道沿線から離れて旅行した時自分の意味を住民に理解させるの方法に難儀したことを述べてゐる。子爵の言ふことに「佛露語彙の彼方此方をいくらひねくり廻はしても。かういふ辭書に有り勝の如く。その場合に當て候まる文句が見付からないで一向起りさうもない場合に向くやうな文句が澤山にあつた。その中で私は斯ういふのを今でも覚えてゐる「あなたは鰐を見ましたか」——この問ひたる著しく不適當である蓋しこの國の河川湖沼は寒國であるため鰐などの生存する筈がないではないか。

㊦ make oneself understood 「自分の所思を先方に通ずる」之は大抵言語が異なる時の事。 waters of a country 「その國の河川湖沼及領海」複數に注意。

434. 紐育の活字組職工は總同盟罷業をしたそして何百といふ多數の雜誌を休刊せしめた。

㊦ walk out in a body=go on strike 「同盟罷業する」。

435. 軌條が滑つこい時にはいくら機關が動いても牽引する車輪は空廻はりをするのみだがこの時軌條上に一と摘みの砂を撒くと始めて車輪に捕へ處を與へ列車が動き出すものである。幾月かに亘りて我國の

鐵道運輸機關は順調に行き兼ねてゐた。ところで今や鐵道當路者は線路上に少々砂利を置くやうにしたそれで鐵道線路は平素の順境に向ひ始めてゐるやうに見える。

㊦ **no matter** (この次に **how, when, what** 等疑問副詞若くは疑問代名詞が伴へる時)「……に拘らず」。 **spin uselessly** 「空廻はりをする」。 **trickle** は液體ならば「一滴」砂の如きものならば「一摘」。 **grip** 「掴み」。 **under way** は汽車汽船等に於て「進行中」の義であるが **get under way** 「進行せしむる」則「順調に行く」と譯しておいた。 **executives** 「行政官」則「當路者」。

436. 三月の統計表の示すところに據ればこの頃の不景氣に拘らず各鐵道は収入不足どころか収入過剰を示してゐる是れ全く以前に増して作業能率の大なることの結果である。

㊦ **March figures** 「三月中の計數。則ち統計表」 **figures** と複數なるに注意。 **bad business** 「不景氣」。 **surplus** 「剩餘金」。 **deficit** 「不足」。 **attribute to** 「……に歸する」 **a result attributed to** 「……より來る結果」。 **efficiency** 「能率」。

437. 列國は獨逸の武裝を解除せしめんことを欲しそれがために獨逸國民に税金の負擔を軽くしてやつておきながら列國自らは同一のことをなすだけの知慮が無い。

㊦ **would** 「……せんことを欲する」。 **to disarm** 「……の武裝を解かしむ」。 **to free a person of** 「……をして……の桎梏より脱せしむる」。 **to do the same** こゝでは武裝を解除することを指す。 **have sense to do** 「……をなすの知慮」。

438. 我等は年幼き時マンハツタン島 (紐育市のある

島) 全部はその昔インディアン人種から少量のウイスキーと交換して買ひ取つたものだといふことを書物で讀んだことがある。今ではウイスキーの一樽もあれば殆んどこの島を再び買ひ戻し得やう (是は米國は現今禁酒國で一切酒類の製造若くは輸入を國法で嚴禁してゐるから斯う言うたのである。買ひ戻して元のインディアン時代の野蠻に歸らしめ得んの意)。

㊦ **buy……for……** 「……の代價を拂つて……を買ひ取る」。

439. 我國最大の問題は軍艦を建設するか友情を建設するか二者その一を撰ぶにある (兩語共 **ship** がついてゐる處にこの文の **wit** があるのだ)。

㊦ **warships or friendships** 「軍艦を造らんか友情を造らんか」軍艦を多數造ると隣邦から猜疑の眼を以て睨まれ親睦の態度を取つて來られぬ。軍備を廢すれば列國から親交せられるといふ意味を二つの語の語尾 **ships** を引つ掛けて **witty remark** としたのだ。

440. 若しも一國の教育組織にして學生に生計の道を得る方法のみを教へて如何にして生きんかを教へないのであるならば、それは大した價值のない教育組織である。

㊦ **worth a great deal** 「大なる價值あり」。 **how to get a living** と **how to live** とは大に違ふので前者は學校へ入るのは卒業后就職の便宜の爲であるといふ。教育の制度後者は就職問題を第二におきこの世を渡る方法則人格教育に重きを置く制度。

442. 凡ての他の人は盡く我が重大なる移民問題に關

してその所見を言つて仕舞つたのに既に現在亞米利加の土にゐる一千三百萬人の外國生れの人々からは一向語る所を聞かぬ。是等の人々は苦しき體驗を受けて來た人々だから本問題を直接に知つてゐる譯なんだ。

㊦ **to have one's say** 「言ふべきことを言つて仕舞ふ」「腹にあることを口に出す」。 **little has been heard from** 「……よりは殆んど何の聞くこゝろも無い」。 **foreign-born** は形容詞であるがこゝでは名詞に用ゐられ **foreign-born people** の意で衆多名詞。 **know the subject at first hand** 「人傳て又は傳聞して知つてゐるに非ずして自分親しく見聞若くは經驗して知つてゐる」。 **first hand** の對語は **second hand**。

442. 今日亞米利加が最も多く必要とするものは新移入者を外國生れの人々で充滿してゐる大都市その他の中心地より彼等の勞働と繁榮の餘地のある方面へ廻はしてやる政府筋の指導機關である。

㊦ **steer** 「指し向ける」「指導する」。 **arrival** はこゝでは「到着する人」。 **room** 「餘地」「餘裕」。

443. コーペンヘーゲンなる調査協會の發行せる報告に據れば今度の戦争が失はしめた人命の總數は三千五百萬ださうだ勿論この中には戦争にその原因を歸結し得べき凡ての非戦闘部員の死亡をも通算しての話である。歐洲の交戦國に於ける婦人數の男子數に超過する數は戦前の五百二十萬九千より一千五百萬まで増加したと同協會は報じてゐる。

㊦ **The cost of the war in human lives** 「人命に於ける戦争の費へ」則「戦争によつて失ひし人命の總數」。 **Copen-**

hagen は丁抹國の首都。 **traceable to** 「源を溯つて……に尋れ得べき」「原因は……なる」。 **excess of women over men** 「女子の男子に超過する數」 **over** なる前置詞に注意。 **the same authority** 「同じ出所」こゝでは **society for Research** を指す。

444. 彼は純朴なる理想家である——金石の如き堅牢なる「靈の力」は肉體の力に對抗する唯一の力であつてこの力こそは最も有力なる政府をも其が如何に嚴酷にして強情であつても彼の所謂正義の命に聽從せしめ得るの力あることを堅く信じて動かざる理想家である。

㊦ **an unshakable faith in** 「……に對する確乎不拔の信念」。 **adamant** 「金剛石の如く堅き物」。 **adamantine** 「同上の如き」「堅き」。 **opposed to** 「……に對抗せる」。 **yield to** 「聽從する」。

445. ザールール。バシヤーの彼の國人間に有する好評の一表現としてカイロ特信は彼の歸國が從來埃及に於て見られたこの種の如何なる催をも凌駕する示威運動で特徴づけられたと報じてゐる。

㊦ **popular with ; popularity with** の **with** に注意。 **Cairo dispatches** 「埃及首府カイロ市より發したる特別通信」。

446. 幾日もの間街路を練り歩いてゐた歡迎行列は今早朝再びその練り歩きを開始した。ザールールの姿を觀た時の密集せる群集の表はした狂熱は無際限であつた。

㊦ **parade the streets** 「伍を整へて蕭々として往來を練つて歩く」。 **parade** は他動詞に使つてあとへ場所の名詞を隨へる。 **at the sight of** 「……の姿を見て」「……の姿を見た時の」。 **to know**

no bounds 「際限を知らぬ」。彼の喜び限なしといふやうな和文を英澤 His joy knew no bounds とすると面白い。

447. この兩國間に戦争が起るなどとは問題外であるしかし双方の側に於て恐怖論者が互ひに相對向つて拳を振り廻はしてゐる時には我等が自分のしてゐることに氣がつく前にいつの間にやら戦争に迂り込むかも知れぬ可能性がある。

註 is out of the question 「問題外である」「問題にはならぬ」。to shake fists at each other 「睚み合ふ」。drift into war 「戦争に漂ひ込む」則ち「自分は戦争には這入りたくないのに波に流され押されていつか戦端を開く餘儀なきに至る」の意。what we are about 「吾等が何をしてゐるかといふこと」この about は engaged の意。

448. 斯くの如き勢力が猶存續せしむべきか否かは全然繫つて輿論に在る。そして問題は我等は議會に於けるそれ(輿論)の代表者を通してその主張を徹底せしめ得るやうな輿論があるか。そして又創立以來經來つた過去三十一年間に於て議會は社會の一般の進歩と歩調を共にしたか(社會の進歩につれて議會も進歩したか)と言ふに在る。

註 depends upon 「……に由る」「……によりて決定せらるる」。public opinion 「輿論」。capable of 「……をなすの能力ある」。make one's voice heard 「己の聲を相手に聴かれしむる」則ち「自分の意見を先方に充分通ずるやうにする」。keep pace with 「……と歩調を合はせる」「……の進運につれてこちらも進歩する」。

449. 活動寫眞術發明者ウイリアム・フリール・グリー

ン氏はホルボーンで活動寫眞同業者の集會に於て演説した後で急患に罹つて死んで仕舞つたがその心臓痲痺のために絶命する時に猶着色フィルムに就て實驗してゐたさうである是は昨日(一千九百二十一年五月九日)屍體檢分の時述べられた事實である。

註 cinematography 「活動寫眞術」。cinematograph 「活動寫眞」之を簡略にして cinema と通稱す。又 moving pictures; movie, movies ともいふ。collapse 「急變が來て俄然衰亡する」の意。to address a meeting 「會衆に演説する」。cinema trade 「活動寫眞同業者」trade はこの場合集合名詞で同業者。Holborn は倫敦市内の一地名。heart failure 「心臓痲痺」。inquest 「屍體檢分」急病で死んだものがある時其の死因が不分明か曖昧な場合には檢屍官(coroner)が出帳して檢分するだが其を指すのだ。

450. 「肖像畫家は被畫者(その繪姿を書いて貰ふ人)が古い着物を着ることを欲する——古ければ古い程よい。着物が着古るされればされる程その着物に着用者の個性を多く吸ひとつてをる。新しい衣服は何物をも表はさぬ」と是は某知名の畫家がデイリーミラー紙上に述べてゐる言である。

註 sitter 「坐する人」畫家の sitter とは「端坐して己の肖像を書いて貰ふ人」。personality 「個性」。absorb 「吸収する」。

451. 幾千といふ數の職工がこの工場で働いてゐるそして同工場は被雇人の社會上の幸福を計る點に於て世界の指導者として自ら誇る合衆國及英國の孰れの工場にも劣らぬ位に立派に住宅設備をしてある(ノ

—スクリップ子爵の日本で過ごした楽しき時間よ
り).

㊦ be engaged in 「従事してゐる」。 be provided with.....
「.....が備へ付けてある」。 housing arrangements 「住宅
設備」。 housing problem 「住宅問題」。 pride oneself on
「を誇とする」。 lead the world in 「.....の點に於て世界の魁
をなす」。 Employee 「被雇人」。多くの動詞に co なる suffix
を附すると「.....らるゝ者」の意となる。例を挙げると

- addressee (手紙の名宛人)
- payee (手形等の受取人)
- drawee (手形の支拂人)
- legatee (遺産受取人)
- lessee (lease 則借地契約を受ける人・則借家人・借地人)
- vendee (vend 則賣つて貰ふ人・則買主)

452. 「彼として是以上に言ふことは望ましくない」
といふ語を添へて昨日下午院でなした總理大臣の用慎
深き陳述は石炭問題の現勢に關して再び議論が始ま
つてゐるんだといふ印象を與へた。

㊦ guarded statement 「用慎深い陳述」。 coupled with 「.....
を添へて」。 conversations are being resumed 「又も
や議論が始まつてゐる」。 in regard to 「に關して」。 coal sit-
uation 「炭坑夫同盟罷工問題の現況」の意。

453. 記録的電話の通話——六千哩の距離はそれを隔
てゝ通話をするとしては随分離れた隔だたりである
殊に對話者の各々は周圍大洋の波に洗はるる二個の
孤島よりなるに於て。處が最近カタリナ島よりキュ
バ島へ通話したのは正しく是である。この距離は精
確に言へば五千六百〇三哩になる。

㊦ a record telephone talk 「^{レコード}記録的電話通話」。 a wide
space across which to hold a conversation を直譯すれば
「それを隔て。對話をなすべき廣き隔たり」。かういふやうな
which (則そのあとへ infinitive が従ふ形の) の例は
a chair on which to sit
a desk on which to write
の如きもの。 on all sides 「四面皆」。 Catalina は Califor-
nia 州の南端の海洋上の一嶋嶼。 Cuba は西印度諸嶋の一大嶋
to be exact 「精確に申せば」。

454. この新線によつてなされた最初の公式通話は合
衆國のハーチング大統領とキューバのメンスカール大統
領との間に行はれた。是は恐らく有史以來二箇の自
由國家の行政首領の間に取換はされた電話通話の唯
一の場合であらう。

㊦ over the new line 「この新電話線によりて」この over
に注意。 by 若くは through を使つても宜い。 the only in-
stance on record 「記録に上りたる唯一の實例」則「有史以來
始めての出來事」。 executives 「行政官」。

455. トラック (圓周をなす運動場) 運動よりも優れ
たる位置を占むべき運動は無い (トラック運動程優
れたる運動はない)。トラック競技會は何分團隊の
競技者よりも箇々の競技者に觀者の注意が集注せら
れるから大きなフットボールやボートレースの如き
演劇的の一致協調といふやうな分子が尠い。けれど
もトラック競技會が有機組織的集團の協調てふ點に
於て缺くところのものを各別々の努力の華々しさを
以て充分に償ふものである。

track athletics 「トラック (圓周をなせる競技場) 運動」。
 field athletics (野外運動) の對語。 meet 「競技會」。 to
 center upon 「.....に集中する」。 team 「野球のチーム」「庭球
 のチーム」のチーム。 what the track meet lacks in orga-
 nized co-operation なる noun-clause はあとへ來る makes
 up の object。 make up 「償ふ」「不足を補ふ」。 particular
 「箇々特別の努力 (全體としての努力では無しに)」。

456. 今日アツパー、シレジアを支配しゐる國はポー
 ランドに非ず獨逸に非ず將た又佛蘭西でもない。同
 國統治權は最近行はれた一般投票及ヴェルサイユ條
 約の條章に基いて最終の解決がつくまで聯合國の處
 理に委されてある。

in control of 「.....を支配してゐる」。 rest with 「
の隨意である」「.....の意に任す」。 pending 「.....の間」「
が片づくまで」。 under the provision of 「.....の條文に
 基いて」。

457. 民族自決主義は或る理想家には美はしく響かう
 がその實際上の運用は逆も容易とか平和的である
 と言ひ得るが如きものでない。

self-determination 「自己決定」の意だが茲ではこの頃入釜
 しい「民族自決」の意味。 practical working 「實際上の
 運用」。 far from being 「.....たることより遠い」則「逆も一
 なりと言ひ得るが如きではない。及びもつかぬ位駆け離れたこと
 だ」。

458. 佛蘭西國の署名は信頼するに足るものである—
 それが財政上の條約にしる政治上の條約にしる孰れ
 の場合にても。佛蘭西は一旦與へた條約からは決して
 引つ込まぬ。佛蘭西はその責務を實行せんがため

にはその有する血液の最後の一滴を流すことをも辭
 せざるとともにその有する黄金の最後の一オンスを
 も投げ出すであらう。

good 「信頼し得べき」「確實なる」。 go back on a treaty
 「協約から後退りする 則協約を履行せぬ」。 live up to one's
 obligations 「自己の責務を果す」。

456. 佛蘭西が帝國主義であるなど言ふ人があつて
 もそんな人の言ふことを信じてはいけませぬ。佛蘭
 西はその骨中の骨、靈中の靈たるアルザス、ロレイ
 ンを取戻した。しかし其以上には何物をも要求しな
 い。今日同國が強勢な現役陸軍を有し又目今同國が
 外國の領土をも占領してゐるのは其は同國の側に於
 て領土を併合せんとする望みがある爲ではなく又如
 何なるものをも取つて己のものとしやうが爲ではな
 く只自國へ貰ふべきものの支拂を強要せんがため
 である。

imperialistic 「帝國主義の」則「侵略的なる」。 bone of
 her bone and soul of her soul 「最も大切なるもの」。こ
 の文にある if は「.....であるのはそのわけは」の意味を有し次
 に來る it は if 以下の clause 全體を受けてゐる。 on her part
 「佛蘭西として」。 appropriate 「取つて己のものとする」。
 what is due to her 「彼女が貰はねばならぬもの」。

460. 身體の點から申せば彼は堂々たる成年男子の典
 型であつた。脊は靴を脱いで儘かに六呎を幾らか超
 してゐたそして體重は二百五十封度を下らなかつた
 と思ふ。けれども彼はブタブタと肥滿してはゐなかつ
 たら。そして一オンスでも餘計な肉を携へてをると

は見えなかつた。

④ **Physically** 「身體の點から言へば」。 **impressive** 「印象を興へる」則「堂々たる」「威風四邊を拂ふ」。 **stand six feet in one's stocking** 「靴脱いで六呎ある」「正味六呎の脊」。 **weigh two hundred pounds** 「二百封度の重量を持つてゐる」。 **ounce** は **pound** の十六分の一。一封度は百二十匁だから一ガンスは七匁五分計になる。 **superfluous flesh** 「餘分の肉」。

461. 彼は種子を見て花を察し赤ん坊を見てその成長後を察しそして一民族を見てその國民全体を察した。

④ **In the seed he saw the flower** 「未だ花が咲かずとも蒔く時の種子を見てこの草の花はどういふ花であるといふことを知つてゐた」。 **in the babe the man = in the babe he saw the man** 次の **in the tribe the nation** も同様。

462. 彼は人間の凡ゆる無邪氣にして健全なる活動には必ず神が何處にでも保護して付いてゐて下さるのだと言ふことを信じてゐたがこの信仰は彼の子供を理解する様から説明が出来る。如何なる人(おとな)も彼以上に子供を了解した人は今迄嘗て無からう。彼は或點に於て子供の心を持つてゐた。子供の心といつてもそれは子供らしい心と言ふのと非常に違ふよ。

④ **grown-up** は「生長し切つたる」といふ形容詞であつて又名詞にも使はれる。「おとな」の意。複数は **grown-ups**。 **in some respects** 「或點に於て」。

463. 貴君の親切な。うれしい。そして驚くべき御書面に對し斯んなに永々と御返事もせずに捨て置いたのは冷淡とか怠慢とかいふものの爲めだとまさか御

考へなされるまいと思ひます。それは全く中々やつて來ないしかもいつかはやつて來ると吾人はいつも楽しんで期待してゐるかの半時間の餘暇を待つてゐたが爲でした。

④ **leave a letter unanswered** 「手紙に返事をせずに捨てておく」。 **Keep the delightful delusion of expecting** 「……を今にも來るか來るか楽しんで待つて迷想を續ける(則實際は決して來ないのを)」。

464. 午食後余は出来る丈け人々の注意を牽かぬやうにと眼立たぬところへ脱けて出やうとした。その時余は同じ巨軀の男が食卓の角を廻はつて余の方へ進んで來るよと見る間にいつしか余の手は彼の手握られてゐた。

④ **luncheon** 「午食」これは **dinner** の「晚餐」と比べると軽い簡単な食事である。 **slip out of (or into)** 「音のしないやう竊かに出てゆく(這入る)」。 **out of the way** 「邪覺にならぬところへ」「人の眼に立たぬところへ」。 **attract attention** 「注意を牽く」。 **found my hand lost in his (hand)** 「私の手が彼の手の中に失はれた則包まれたことを知つた」。

465. 私共はブルックス監督が在宅しやうとは全く豫期しなかつた。けれども私共が刺を通ずるとすぐに監督が出て來られて私等を迎へ入れてくれたので非常に嬉しかつた。

④ **had little idea that**…… 「まさか……のやうなことは無からうと思つてゐた」。 **to our delight** 「我等の喜んだことには」「……だつたので大變嬉しかつた」。 **on our sending in** 「差出すや否や」。 **send in one's card** 「刺を通ずる」。

466. 本年の初の三ヶ月間に紐育州の議會政府は現今生きてゐる人の記憶に於てこんなことが嘗て一度も

無かつたことを爲し果した。

㊦ **current year** 「本年」。 **current** は「現在の」の義で **current literature** 「現代文藝」 **current number** 「雑誌などの本月號」などいふ。 **parliamentary government** 「議會によつて政治を行ふ政府」 「立憲政府」。 **within the memory of any man now living** 「今生きてゐる人ならば誰の記憶に於ても」 則「如何なる高齢の人でも聞いたことも見たこともない」。この一句を Macaulay の **History of England** 冒頭の類句と比較せよ。 **I purpose to write the history of England from the accession of King James the Second down to a time which is within the memory of men still living.** — Macaulay.

467. 殆んど凡ての部に亘つてかの古い分權制度が廢棄せられ而して近世式の中央集權的責任行政制が行はれるやうになつた。

㊦ **practically** 「名稱の上ではさうではないが事實上、則殆んど」。 **principle of divided authority** 「分權組織」。 **relegate something to** 「……に貶黜する」 「廢棄して……に委して仕舞ふ」。 **scrap-heap** 「屑溜」。 **put into operation** 「運轉を開始する」。

468. 新任知事を批評するもの等は彼を以て有産階級の味方なりとなし一般人類の權利に關しては熱心ではないと考へてゐる。この批評家等は知事に對し不公正な(酷な)見方をしてゐる。

㊦ **picture** 「心に描く・想像する」之には **to oneself** が伴ふのが普通。 **interest** には **party having common interest** 「利害休戚を同じくする仲間」の意がある例へば **the brewing interest** 「醸酒家仲間」の如きもの。 **property interests** 「財産を所有してゐる連中」 則「有産階級」。茲の **who is** 以下

は **friend and helper** の **modifier**。 **do a person injustice** は **do a person justice** の反對で「不公平なる處置を與ふ」「酷な觀察を下す」。

469. 恰も歐洲があれだけの音樂上の優越を有しながら猶且亞米利加のスタインウエーよりは立派なピアノを製造し得ざりし如くに歐洲はあれだけ衣裳の流行に於て優越と機敏とを有するに拘らず亞米利加のボン・トン以上の立派なコルセットを未だ産出してゐない。

㊦ **with all**……の形に於て「あれだけ……があるにも拘らず」。 **musically** と副詞にしたのは「音樂上に於てあれだけ優れながら」と **with all her eminence** なる **adverbial phrase** を **modify** するからである。

470. 六十年間商賣上の心配やら六ヶしい仕事をなすに方つて凡ゆる形式の障礙を通り抜ける心の緊張を経て來たのだから大抵の人ならば氣短かな氣むつかしい老翁になつたことであらう。然るにファニング氏は溫顔親切なこと宛然僧正の様である。

㊦ **all manner of=every kind of** 「凡ゆる種類の」。 **might have made crusty old tyrants of most men** 「大抵の人を短氣な怒りっぽい老人となしたかも知れぬ」この **of** は **My father intends to make a soldier of me** 「父は僕を軍人にしたい希望である」の **of** で物を製造する原料の **of** である。 **as kindly as a cardinal** 僧正などといふものは偉い人でありながら甚だ親切なものだがこの **Mr. Fanning** が今偉人になつてゐるけれども人には親切だの意。

471. 予は思ふに紐育市の現状は世界中如何なる他の都市の其よりも危殆に瀕してゐる。若しこの大都市

を養うてゐる商業にして衰退することあらばこの巨大なる多数の人達はどうなるであらう。といふのは歐洲の通貨及商賣の衰退を今にして引留め得ずんば又商賣と信用の世界的問題を世界的事件として解決をつけるに非ざれば慥かに紐育の商業の衰退するの日が来るに相違ない。

註 seems to me 「予に……いふ風に想はるる」「予思ふに」。
As assuredly it will の as は for と同義で「何となれば……であるから」の意。to arrest 「阻止する」。to grapple with 「格闘する」「取つて押へる」。

472. 東京府府中町では約三百人の小作農夫が地主の小作米減額の願を拒絶した結果として紛紜を惹起してゐる。

註 tenant farmers 「小作人」。as a result of 「……の結果として」。cause trouble 「面倒を惹起する」。in kind (in cash 「現金で」の反對) 「品物で」。rent in kind 「品物で支拂ふ借地料」則「小作米」。

473. この工場の娯楽室兼午餐室には完備した装置の飲食店があつて熟練なる料理頭と多数の助手とが之を切廻はして凡ての職工に實費で滋養に富む手際よき料理の食品を供給してゐる又自宅から自身の食物を携帯して来る人等の便宜のために數多の辨當暖め器が用意せられてある。

註 recreation 「保養」「娯楽」。recreation ground は「遊園地」。preside over 「……を支配する」「管理する」。at cost 「原價で」「實費で」。for the use of 「……の用に供せんが爲めに」「……の便宜のために」。

474. その當夜私がその場に來て見ると大廣間には詰

め込み得る限りの人がぎつしり詰まつてゐた。

註 on the appointed evening 「定められた夜に」「當夜」 was crowded to its utmost capacity 「その最大包容力まで詰め込んであつた」「詰め込み得る限りの人が詰まつてゐた」。

475. 吾人が獨逸の壓迫と野蠻を嫌惡するの情は大戦の開始以來のことであるが伊太利國民が奧太利の暴虐と殘忍とに惱まざるゝ實際の經驗は實に過去幾世紀からの間この永く苦んでゐる民族の脇腹に口を開いた癒えざる創痕の如くであつたといふことは歴史を少し讀めば分ることである。

註 A little history will tell us that…… 「歴史を少し許り讀めば……といふことがすぐ分る」。dates back to 「……以來のことである」「源を……に發してゐる」。of Austrian tyranny and cruelty は experience にすぐくつ附けて讀むがよい。open wound 「口を開いた創痕。中々癒えざる創痕」。

476. サー。ベーシル。ザーハロフ氏は過日來カールトンに滞在中であつたが。私は先日同所で氏を見かけた。この物靜かな年配の人が世界屈指の大富豪の一人で且殆んどロスチャイルド家の其に等しき財界の勢力の所有者なりとは一寸何人も認めることは出來まい。サー。ベーシル氏の主たる特色はどんな種類の廣告でも廣告は大の嫌であつていつも表面に現はれないで背後に隠れた一勢力の儘で推し通さうと望むといふことである。而してその隠れた一勢力といつてもそれが中々に恐ろしき勢力なのだ。

註 the Carlton 「ホテルの名」。catch sight of 「チラリと姿を見かける」。Few people recognize in this man one

of.....「この人が one of.....だと氣のつく人は殆んどなからう」。**secret** 「秘訣」「獨特のアート」。**shrink from** 「.....を避け嫌ふ」。**to remain a power in the background** 「背後に在る勢力者の位置を占むる」「黒幕となる」。**at that** 「その點に於ては」。

477. 苟も多少人間の情熱を解する正直なる思想家の腦裡には一千九百二十一年の四月の中程の石炭騒動の危急時期に於て英國は革命の瀬戸際まで行つてゐたといふ事は否定し難い事柄だ。

註 **It is beyond denial that.....** 「.....なることは否定し難い」。**in the minds of** 「.....の腦裡に於て」則「口にそれとは言はずとも心の中ではさう思つてゐる」。**honest thinkers** 「事物を正直に考察する人」。**crisis** 「危機」**coal crisis** は「石炭騒動」と譯さうか。**the critical days** 「或數日間は危急に瀕してゐたがその時期」。

478. 當時どんな事が勃發したらうかと言ふことは必ずしも空想を逞うしないでも一寸考へれば分る。

註 **run riot** は犬の「じやれ狂ひ廻はる」の義から人がその行動・言語・若くは空想に於て「埒を破つて奔放する」の意。茲では「無暗に空想を逞うする」の意。

479. 此等の放浪者どもの中には革命狂もゐたであらう。如何なる犠牲を拂ふも現存社會の破壊をなさんとするかの共產主義者が居つたことであらう。そして斯うした場合によく他人の財産が欲しさに手を「ムズムズ」させて獲物を嗅ぎつけて集まつて來る少數の年若き盜賊や惡漢がゐたことであらう。

註 **loafers** 「無宿の徘徊者」。**ready for** 「いつでも機會さへあれば.....せやうとしてゐる」。**at all costs** 「如何なる犠牲を拂ふ

とも」。**the usual minority of** 「いつも斯うした所に寄りつくに定まつてゐる少數の.....」。**scent loot** 「獲物の匂ひを嗅ぐ」。**loot** は **material noun.** **with itching fingers for** 「.....が欲しさに指をムズムズさせながら」我國の「食指大に動く」に近い。**itch** は「痒い」の原意。

480. 坑夫達は先方の條件を撥ね返したのは正當である。蓋しその條件は實價に於て生活必需費の線以下に百萬の坑夫の賃金を下げやうとするのだから。一例を挙げるとサウス・ウエールズの坑夫の場合に於て現在賃金の四割九分五厘を削減しやうとしてゐる是は一週三十八志十一片の賃金となす譯で之の購買能力から言へば一千九百十四年の物價で十七志にしに當らぬ——實に奴隸的賃金である。

註 **in real value** 「實價に於て則眞のれうちに於て」**face value** の反對。**below the line of bare necessity** 「生活必需品費だけの水平線以下」則「生活するだけが覺束ない」。**in purchasing power** 「購買の能力に於て」。**reckoned.....as** 「と同様と見做さる」。

481. 勞働者等には英國目下の産業は非常に弱つてゐるから以前よりは勞を増して而して賃金が減るか其が厭なら勞なく賃金なきか孰れか其一を撰ばねばならぬ事を教示せねばならぬ。他方資本主等には適度の生活費に足るだけの賃金を保證し而して随つて収益の標準と豫期とを縮少するかそれが厭なら總破産に陥つて何もかも失ふか孰れかをとらねばならぬ事を自覺する様にしてやらねばならぬ。双方とも自己犠牲を以て進むより外に活路がない。

④ to educate in the knowledge that 「……なることを教育する」。 way out 「出口」より「活路」「救済策」。 all round 「あらゆる側に於て」。

482. 先月の今頃は我國は或る騒動を將に起しさうな状勢であつた。そして其は平素物に動せざる冷靜な人々の心にまでも社會の現存秩序の根底を動搖させさうに思はれたのだつた。

④ This time last month 「先月の今頃」。 on the verge of 「……に瀕する」「將に……に陥らんとする瀬戸際に立ちて」。 upheaval 「隆起」「高まり」こゝでは「社會の騒動」。 normally 「平素は」「通常は」。 phlegmatic 「喜怒哀樂共あまり發表せぬ性質の」「遲鈍の」「冷淡若くは冷靜の」。 temperament は「氣象天性」より「……の氣象を持つてゐる人」。

483. 凡ての黨派を通じて一同の遺憾に堪へぬことは十有六年間下院議長の席を占め三十年以上下院に議席を有したローサー議長が全國的の尊敬と賞讃とを土産に今回退隱したことである。

④ to the regret of 「……の遺憾とすることは」。 carrying with him 「……を携へて」「……を土産に」。

484. ダブリン市滞在三週間の結果として予が蒐め得たる事柄は最初の數日を経て發見した事柄以外に多くを出ない。

④ sojourn 「滞在」。 I gathered little I had not discovered after the first few days 「最初の數日を経過して後發見しなかつたことは極く少し蒐めた」則「蒐めた材料は殆んど全部最初の數日に發見して仕舞つたので三週間も滞在してゐてもその後はあまり新しち材料が集まらなかつた」。

485. 夫故に愛蘭首都の人民等は彼等の都が日日衰頹

してゆくのを見て心の底に大きな恐怖と悲痛とを持つてその日の業を營んでゐるそして未だ年若くして前途に望を繋ぎ得るやうな手合はまさか今後の世の中は今日より悪化はすまいと思つて又よい日もあらうと其を楽しみに暮してゐる。

④ Thus it is that 「かくて……の事柄が生ずる」則「夫故に」の意味。 fall into decay 「衰頹に赴く」。 go about one's daily business 「生業を營む」。 live in expectation of 「……に望みを繋いで暮して行く」。 in the knowledge that 「……なることを知つて」。 they could hardly be worse の they は times を受ける。「今は亂脈の絶頂で今日より一層悪い時代といふものは起る筈がないから是から後の世の中は是より幾分ましである其を楽しみにする」の意。

486. 到る處に恐怖が襲うて来る。人々が就眠の際に夜の中にどんな事が起らうかと憂慮を抱いて床に就くそして朝起きるやこの日の暮れまで無事に行けるだらうかと思つて起き上るのだ。

④ in fear of 「を憂慮して」。 what the night will bring 「この夜のうちに何事が起らうか」。 awake to a pay 「夜が明けて眼を醒ます」。この形で一例を擧げると I awoke to a stormy day. 「眼が醒めたらその日は大雨風だつた」。 of which they may never see the close に於て of は close of と續けるところで「その日の結末則暮れるのを永遠に見ないかも知れぬ。其日の中に死ぬかも知れぬ」。

487. 一千九百二十一年五月五日は奈翁死亡の百年祭に當るのでその爲めに數多の評論雑誌やその他に奈翁に關する記事が澤山出た。

④ is responsible for 「……に對して責任がある」「……のあるために……が起つた」。

488. 私は是は例の希望が先づ起つて其から思想が起るといつた鹽梅の場合だと斷言するが兎に角是が可能性につきては近頃各方面に於て論議せられてゐるのを屢聞いてゐる。

註 possibility と I との間に which を入れて譯して見よ。その which は have heard の object になつて discussed は which を modify してゐる。a possibility I have heard discussed 「このことの可能性については論議せられてゐるのを屬聞く」。quarter 「方面」。of late 「近頃」。I dare say 「余は斷言す」。a case of the wish being father to the thought 「よく世間で The wish is father to the thought. (希望は思想を生む) といふことを言ふが是はその一つの場合だ是は詩人 Wordsworth の The child is father to the man. (子供は大人の父なり。則 善良なる子供は善良なる大人となり不長なる子供は不長なる大人となる) といふ名句より出來たもの。

489. 人間が他の動物の如くに現在の數を維持してこの世に生存し能はしめらるゝものは實に「自然」と「營養物」との合併の資である。

註 nature and nurture 「自然と營養物」の人體に必要なは論を俟たぬが nature と nurture とが綴及發音が似てゐる故面白いから擧げたのである。

490. 諸君は彼の噂を聞いたことがないツて。其は尤もである。彼は當代最重要なる國民の一人である。彼は無數の人命を救助した。彼は更により多く無數の人命を救ふの方法を他人に教へた。しかしながら我等の文明が現在の狀態なるものだから紐育のやうな大都市の真中にゐながらそしてこの大都市の凡ての新聞印刷所や公報機關や評判製造所からは呼べば

答へられるやうな近い處に住みながら二十年間偉大なる無名を以て暮し得たのであるしそして諸君も彼の名すら聞いたことがなかつたのです。

註 of our day 「當代の」。our civilization being what it is 「何しる現代の文明も御覽の通りの狀態なものだから」。live in distinguished obscurity 「偉大なる無名狀態で暮す」則「世には知られずとも偉いことは全く偉い」。live in obscurity 「埋没して一生を送る」と對比せよ。in New York city itself 「堂々たる紐育中に住しながら」。within hailing distance of 「……から呼べば答へられるやうな距離に於て」。この within ……of の他の一二の例を擧げると

within ear-shot of (……から聲の聞えるところに)

within a stone's throw of (……へ石を投げれば届く距離に)。

公報機關及評判製造所とは 興信所とか通信社とかその他雜誌など人の噂や批評をなす機關を指す。

491. 兩人共マサツチユセツツ州の新英蘭の町ブリムプトンに生れたのだが兩人の家は社會上の階級に於て非常な隔たりのある家であつたから兩人が親しくなるに至つたのは大學に於て同じ年級に這入つてからのことであつた。

註 New English とは北米合衆國の東北隅の小部則 Main州 New Hampshire州 Massachusetts州 Vermont州 Connecticut州 及 Rhode Island を指す。come of a family 「……いふ家の出である」「……いふ家柄の人」。in the social scale 「社會上の階級に於て」。it was not until …… 「……して後始めて」。

482. 彼は肱掛椅子に身體を埋めるやうに坐つて。拇指と食指との間に頤を撮まんでは一方の眉が他の眉よりも高く眼の視線はどこへも集注せず何か考へ

事でもあるやうに私を通して彼方を見てゐた。

註 **Looking through me** 「私を通して見る」とは「眼は私に注いでゐるが私を見てゐるのではない私以外の物を考へてゐるのである」。**focus** は名詞にすると「焦點」動詞にすると「焦點に集める」。**his eyes not focused** 「眼は何處を見るときもなく只ぼんやりさせて」**his** の前に **with** を置いて考へよ。

493. 彼は當時年齢十八歳であつたが少くとも廿五歳には見えた。圖抜けて脊高くそして押出しが立派でそして既に廣い意味の世間師の風采を備へてゐた。これが後になつて、彼の驚くべき計りの厚顔と勝れたる才智と相俟つて彼の同胞人類を利用虐使するのに大に彼立つことになつた。

註 **personable** 「押出しの立派な」「見て呉れの善き」。**equipped with** 「……を備へたる」。**man of the world** 「世間師」「世間通」。**man of the great world** 「廣い世間の世間師」。**coupled with** 「……と伴うて」「と相俟つて」。**undoubted talents** 「疑もなき才智」則「勝れた才智」。**stand him in excellent stead** は **stand him in good stead** と同じで「大に役に立つ」。

494. 彼の母は彼を僧侶にしようと思つてゐたのだが恐らく世の中で彼位僧侶たるに適しない人間も少なからうと思はれる程の人物だから僧侶生活は彼を放逐した。彼が僧職の資格を得るために修學してゐた。バドヴの神學校では殆んど不信者の如き彼の天性の粗暴さに憫れ果てゝ、彼を放校に處したのであつた。

註 **career of the priesthood** 「僧侶生活」。**intend a person for** 「生長後その人を……にならせやうと思ふ」。**There never lived a man less suitable for** 「……にこの人よりも猶一

層 不適當な人は今迄決してなかつた」之は例の **negative + comparative=superlative** の一場合である。**qualify** を自動詞に使ふと **for** を従へて「……の資格を得る」。「資格」といふ名詞は **qualification** といふ。**holy orders** (此場合 **orders** は常に複數)「僧職」。

495. カサノヴァの淺黒い傲然と構へた顔があつた。あの厚つばい赤い唇を侮蔑的に歪めた有様は輕蔑の權化であつた。

註 **a study in scorn** 「輕蔑の研究資料」則「輕蔑とはどんなものか見たい者は彼の顔を見るがよい」。之は **a picture of scorn** 及 **an incarnation of scorn** と同じ意味である。

496. 「君、十ダカット (貨幣の名) やるが僕の言ふことを何でもするか」と囚人は尋ねた。この言ひ出た額はこの男の所有する全額であつたのだ。「人殺しだけは御免だが其外の事なら何でもするよ」と今一人の囚人は答へた。恰も彼の如き乏しき財産の者には宛然一の大金と思はれた金額の聲を聞いて眩惑したやうな顔をして。

註 **ducat** は奥太利の貨幣で英貨九先令餘りに當る。**What would you do for ten ducats?** 「十ダカットの金を貰つたら そのお禮にどんな事をするか」則「十ダカットのお金をやるから何ですか」の意となる。**Anything short of murder** 「人殺しだけは除いて外は何でも」**short of** は「缺けたる」「及ばざる」の義。**modest** 「控へ目な」より「乏しき」の意 **one of his modest estate** 「彼の所有せるが如き乏しき財産の持主」則「彼」を指すのである。

497. ジャック・ロンドンは今若しも彼の年少の成熟期が修養と閑暇の境遇の下に過されたのであつたならば彼自身にどんな結果を齎らしたであらうと色

々と起り得べかりし場合を空想して樂んだ。

註 Jack London は一千八百七十六年生れの米國の作家。身を貧困より起した人。indulge in 「……に耽る」「……を以て楽しみとする」。speculation upon 「……に關する空想」。possible effects 「斯うしたらあゝなる。あゝすれば斯うなるといつた鹽梅に起り得べき結果」。formative period 「成熟期」。under conditions of 「……の境遇の下に」。conditions of culture and leisure 「修養と閑暇の境遇」とは「學問を修業するだけの用事でその他は閑暇であるの境遇」。

498. 彼は一友人に贈つた書中に曰はく「貧の効用を翫味なさるがよろしい。そうすれば貴君はそれだけ人間が賢くなるでせう。まあ考へて御覽。もし私に財産があつたなら私がどうなつて仕舞つたかを。私は屹度澤山の交際家に取巻かれた一王子のやうになつて仕舞つたであらう。そして不測の災はないとしても三十歳にならぬ前に強烈なる酒を呷ふる結果死んで仕舞つてゐませうに」。

註 It is well that you 「……なさるが宜しい」。lack of wealth 「貧窮」。virtue 「効用」。all the better for it 「それあるがため其だけ前よりなくなつて」。good fellow 「交際上手の人」「人好きする人」。barring accident 「災難が起れば仕方がないがそれを除いて」「災難は起らぬものとして」。

499. 私は彼ジャック・ロンドンに最年少の學校時代に表はした萎縮した小さな姿の哀感を思ひ出して眼を潤ませながらも靜かに一笑するのを聞いたことがある。當時彼の母は彼に麻の服を着せてゐたのだが彼はそれが他の學友の服装とは違つてゐると思つたそして死ぬ位耻かしいと思つたことが幾度あつたか知らないさうだ。

註 with a dimness in his eyes 「兩眼に曇りを以て」則「兩眼を潤ませて」。pathos 「哀感」figure 「……の姿をして社會に現はれる」。cut a brilliant figure 「立流な印象を残した」これの反對は cut a poor (miserable) figure. the shrinking little figure he had cut 「彼が當時表はした萎縮した小さなみすぼらしい姿」。clad=dressed. died a thousand deaths of shame 「耻かしさのあまり千回も死んだ」則「耻かしくて度々死ぬ様な思ひをした」これは Shakespeare の文句に

Cowards die many times before their death;

The valiant never tastes death but once,

「懦夫は眞の死の前に幾度か死すれども

勇者の死するは只一と度のみ」

とある文句から斯ういふ die a thousand deaths といふ形を生んだのだらう。

500. 今日ジャック・ロンドンのわざとなる無頓着な服装を手厳しく批難する多數の人達はジャック・ロンドンが嘗ては服装問題に關しては流行の奴隷だつたことがあるのだと聞いては大に意外に思ふことであらう。

註 harsh critic 「手烈しき批評家」。slave of convention 「流行の奴隷」。in matters sartorial 「衣服の問題に於て」。

501. 其(小さな帆船を操つること)は其だけで一箇の技術である。そしてジャック・ロンドンは早い十臺(十三四歳の頃)に既にこの技術の名人となつた。

註 by itself 「其丈で」「他に關係なく」。by oneself=alone. a past master 「名人」。in one's teens 「十臺に於て」則年齢の數に teen のつく時代 thirteen より nineteen まで。in one's early teens 「その十臺の早い内」則「十三四歳」。

502. 彼は夢想家ではあるけれども、そして又随分夢見て暮してはゐたが、同時にこの青年は若しも彼にして舟を操つるに方つて實際的の法則を適用せねば舟は覆らうし彼は鹽水づかり若しくは其以上のひどい目に會ふであらうといふ事位は解つた。

註 withal「同時に」。 brine「鹹水」to be brine-soaked「鹽水漬かりとなる」。こゝの he be=he would be 上の would を兼用したのだ。practical system「實際上の、實用に供せらるゝ法則」これは文の初めに、彼は夢想家といつたのでこの語が出たのだ。空想と實際とは大抵は相伴はぬもの故。

503. 随分世間にはロイド、チョーチ氏の計畫や政策に反對もし賛成もする激烈なる政敵もあらうし激烈なる崇拜者もあらうが兎に角同氏は一箇の人間として慥かに興味深き人たるは争ひ難い。彼が南阿戦争に生命を危くして迄も極力反對した時代から常に彼の人格は政敵から眞價を認められてゐなかつた。

註 is incontestably full of「争ひ難く……に満ちてゐる」則ち「……に満ちたるは争ひ難い」。from the time he risked に於て time の次に when を入れて譯して見るがよい。in opposition to「……に反對して」。Boer「フーア人則南阿非利加の和蘭出の白人」。the Boer War「南阿戦争」。underrate「過少に見積る」「眞價以下に考へる」これの對語は overrate である。

504. モンテーンは自殺に關する彼の論文中に述べて曰く、如何なる災厄と雖もその當人をして自殺しやうといふ氣を起させるだけ苦しい災厄は斷じて無いと。

註 essay on suicide「自殺論」ou に注意。ills=misfortunes. illness と混同してはいけない。take one's own life「自殺す

る」。これに似た句に take one's own life in one's hand「自己の生命を危地におく」「危きを冒す形あり」。

505. 乞食を職業とする者に與へたる慈善は空費どころか其よりは悪い。

註 bestowed は charity を modify する形容詞。professional beggar「進退谷まつて乞食をするに非ず自己の不具とか病氣とかを賣物にして乞食營業をなすもの」。

506. 幾月かの間否幾年かの間といふ方が寧ろ適當だらう——歐洲政策に關して佛國と英國との意見に相違があつた。

註 —— one might almost say……—「否寧ろ……といふ方が適當かも知れぬ。divergence between……間の意見の扞格」。with regard to「……に關して」。

507. 斯様な雨量の少ない地方ではこの桑林は眞晝の暑熱を避ける場所として絶好の場所であつた。桑樹は相接して密に植ゑこまれてあるので枝が互に相重り合つてゐたし繁茂せる葉は他所では夢想だも出來ぬ位冷やりした深き蔭をこしらへた。それで私は屢この木蔭に幾時間もの間過したのであつた。龜は睦じさうに對をなして地面に散亂してゐる果を食べによくやつて來た。そして此等の龜は桑の果を並外づれて好んでゐるやうに見えた。そして私は如何にして彼等がそんなに澤山平げられるのかと驚歎した。

註 dry「降雨量少き」。countryside「或る田舎の地方、部落、村落」。refuge from「……を避けるに佳い場所」。interlace「交錯する」。leafage「木の葉の集合名詞」又 foliage とも言ふ such cool deep shadows as one could only dream of「夢想のみし得る。則ち夢想だもする能はざる位冷やかな深き木

陸」. their shelter=shelter of the trees. in affectionate couples 「睦まじけに二匹伴れになつて」. fruit は物質名詞. sprinkle the ground 「地上に散亂する」. of which の of は inordinately fond の fond に續く. inordinately 「並外れに」「無暗に」. dispose of 「片附ける」「やつつけて仕舞ふ」.

508. 昆蟲類が温帯地方にては殆んど窺知し得られざる計り澤山に群生してゐるのは此の邊である.

註 in luxuriance 「豊富に」.

509. この昆蟲の樂園の各種の住民のどれだつて余の獲た一の昆蟲程興味深いのはなかつた. 則ちこの一つに由つて興味の上から言つて壓倒された. 余はこの昆蟲に類似のものすら從來見たことが無く又その後バルカン半島滞在二箇年中に於て二度と再び斯ういふのに出遭はさなかつた.

註 denizens 「住民」「市民」こゝでは昆蟲どもを指す. were dwarfed 「小さく見えしめられた」dwarf は名詞では「矮人」. of which の of は the like の後に續くもの. the Balkans 「バルカン半島」であるが何故複數にして書くのかといふと Bosnia, Harzegevinia, Roumania, Bulgaria, Turkey in Europe 及 Greece の諸國がこの半島に介在してゐるからである. the がつくのは複數の固有名詞だからだ.

510. それは可なりの大さの昆蟲で翅を広げて翅から翅へ計つて二吋を超え. そして翅は中央の處では長さと同じ位の巾を持つてゐた.

註 of some size 「相當の大さの」. as broad as long 「長さと巾と相等しい」.

511. その翅は美はしく透明で且つクリーム色であつて天鷲絨式黑色の斜の條や斑點の列が並んでゐるの

で昆蟲學の心得なき人は. この動物を蛾と思ひ違へても無理からぬのであつた. しかし何しろ鱗狀表面がないから蛾でないことは明かであつた.

註 creamy white 「クリーム色の」. velvety black 「天鷲絨式黑色の entomological は entomology (昆蟲學) から出た形容詞. non-entomological 「昆蟲學に通ぜざる」之に the が付いて「昆蟲學を知らぬ人々」. might be forgiven for..... ing 「.....することに對して許されるであらう」則「.....するも無理ではない」. mistake A for B 「A を B と取りがへる」. which the absence of の which は proved it to be の be の complement.

512. 誰しも現今では. 自然界の如何なるものと雖も目的なきものはない. そして生物の身體附屬物の形態及種類に於て最も奇であり又異狀なる變種と雖も何か定まつた目的に供するために存するんだといふことを十分に信じてゐるけれども. 吾人は思はず如何にして斯ういふ變形翅が「適者生存」の法則の行はるゝ處に生せしめらるゝに至つたのかと疑ふ氣になる.

註 Believing, as we do, that..... 「我等は.....なることを信ずと雖も」 as we do の do は believe の代動詞. appendages 「翅とか脚とかその他主體の附屬物」. serve a purpose 「或目的に役立つ」. is led to 「.....する様に誘ひ込まれる」則「.....する氣になる」. law of "survival of the fittest" 「適者生存」の原則.

513. 裕かに暮してゐる人達は色々元氣のいゝことを言ふけれども經濟的獨立は結局幸福の第一條件である.

㊦ **In spite of all the soulful utterances of people comfortably off** 「日々の生活に心配のない有産者達がやれ人生幸福最大の條件は愛であるとか信仰であるとか何だか元気よいことを言ふけれども」。comfortably off は well off と同義で「富裕なる」「何不自由なく暮す」等の義。之の反対は badly off 若くは ill off である。remains 「依然として……たることを失はず」。

514. ロイド. チョーチ氏の修辭學は冷靜なる頭腦を包んでゐる。そして若し予にして氏の批評を短き文句で約言せよと言はるれば予は、彼は善にしる惡にしる物事を貫徹する人だと申したい。

㊦ **His rhetoric covers a cold brains** 「彼の修辭學は冷靜なる頭腦を包む」とは彼は人に向つて巧妙なる挨拶交渉等をなすがその言語の裏には冷靜なる頭腦が横つてゐる。sum up 「約言する」。for good or evil 「善にもあれ惡にもあれ」。put things through 「物事を貫徹する」。

515. 彼は矛盾の多い捕捉し難き様な人である。そして世界的大人物であつて一方國內に於てもオリヴァー・クロムウエル以來何人も持つたことがないやうな勢力のある人だ。

㊦ **tantalizing** は Tantalus (希臘神話で Zeus 神の子にして父神の秘密を發きたるがために地獄に於て其耳を水中に浸され水を飲まうとすれば水が退き去るといふ渴刑を受けたる王) より出來た形容詞で「捕捉し難い」「捕まへ處のない」「じれつたい」等の意。a world figure 「世界的の人物」。兎角世界的偉人は自國內に於ては評判のよくないのが通例であるが彼は國內に於てもオリヴァー・クロムウエル以來稀有の勢力家である。

516. ロイド. チョーチはしかしながら接近して見ると非常に快活な戯談すきな人で他人が面白い話をす

ると中々喜んで之を聴くし、場合によつては、偉い智識階級の人言に耳を傾ける時甚だ眞面目な態度を取り得るの人である。只此の人は有効なる行爲に依つて支持せられざる言説に對しては其が如何に思慮深く美はしき言説なりとも竊かに侮蔑を抱くの人である。

㊦ **at close quarters**. 「接近して」。delight in 「……を喜ぶ」。highbrow 米國の slang で「智識階級の人」。contempt for 「……を侮蔑する心」。back up 「援助する」「支持する」。

517. ロイド. ジョーチの晚餐の食卓は近親のものや家族の人々のみの集りの時には活々した談論で賑はふ。これの等の會話の内公人及公共問題に關する批評の這入つた會話のあるものにして出版されたならば現代の文學上の大著作よりは今のところ遙かに興味の深いものであらう。

㊦ **could they but be published=if they could but be published. be of interest=be interesting.**

518. 赤ん坊と面會するに際しては成りだけ自ら赤ん坊の如くに振舞ふことを要する。さればとて無論吾人は身體の大きさを減ずることも、日常着てゐる着物を赤ん坊の着物に變へることも出來ない又吾人の面會せんとする赤ん坊の前へ出るのに乳母車に乗つてゆくわけにも參らぬし親とか乳母に抱かれて行くわけにも行かぬ。ではどうすればよいかといふに最上の方法は唇をつぼめてポーツポーツといはせたり。顔面を色々な格好に丕めたり。櫛ぐつたりすることなど從來是が赤ん坊を喜ばす身振りだと先入主的に

頭に這入つてゐる考を全部宛も我等が室内に入る時帽子掛に帽子を掛ける如くに赤ん坊の前に出る前に捨て、仕舞ひ、赤ん坊が他の赤ん坊に會ふ時に表はす様な勿躰振つたしかも親はしげな沈黙を基調として我等の身のこなしを作ればよいのだ。

㊦ exchange A for B 「A をやめて B にする」。 perambulator 「乳母車」。 as it were 「恰も」。 preconceived ideas 「先入主になつた考」。 what manner of behavior entertains a baby の文に於て what=that which だから that manner of behavior which entertains a baby である。cooing は元來鳩が友の鳩にクックツと呼ぶ聲なのであるけれども茲では大人が赤ん坊をあやす時唇をつぼめて妙な音をたてる有様を指す。grimacing 「様子振つた顔面を歪めたり顰めたりする事」。model 「形作る」「考案する」。evince 「表はす」。on 「……に基きて」。

516. 彼女が舞踏をなすところ乗馬するところ、テニスを遊ぶところは之を見るだけに愉快である。彼女が笑ふ時は眼で笑ひ語る時この人獨特の活々しさで話した、彼女は如何なる時にも未だ嘗て疲れたとか退屈したといふやうな顔付をしたことがない。彼女を只一語古い形容詞で評すれば對手を引きつける力を持つてゐた。

㊦ savor (動詞)=suggest presence of 「……のあることを暗示する」一例を示せば

This offer savors of impertinence. (この提供は無禮の嫌あり)。

savoring vivacity 「その vivacity は suggestive of her presence である。則彼女獨特の活々した様子」。seemed bored 「退屈したやうな顔付をする」。in one hackneyed word

「一つの平凡な語で申せば」。

520. 今度の戦争は余には人間は餘りに鬪争好きの動物だから全人類の利益は一個人の利益と一致することを永遠に認容することが出来ないといふことを證するが如く思はれた。

㊦ too combativeto recognize 「餘りに好戰的にして……を認めることが出来ぬ」。

521. 事實一オンスは理論一噸に匹敵する (百の理論も一の事實に如かず)。

㊦ is worth 「……に匹敵する」。ounce は一パウンドの十六分の一で我七匁餘、然るに ton は二千パウンド則我二百四十貫。

522. 私が未だ若年の時私自身すら其何たるか知らぬ事柄に對してフワフワした憧憬を抱いてゐた。

㊦ fluff は毛布などの表面の毳(げば)で fluffy 「毳の様にフワフワせる」。toward I didn't know what 「己のその何たるを知らぬ事柄に向つて」。斯ういふ I don't (didn't) know の如き文句の次に what, which, when, how 等の疑問代名詞若くは疑問副詞を置いて noun-clause 若くは adverbial-clause を構成する。上のは noun-clause で toward の object であるが adverbial-clause の一例を擧げると

He is now roaming God knows where. (彼が今何處をうろついてゐるか神ならでは分らぬ)。

523. 一種獨特の美術的感情の殆んど全般に瀰漫してゐるこの兩民族は地球上に於けるその正反對の位地にも拘らず多くの共通の問題と一箇の共通の天恵を有せることを觀察するは興味ある事である。日本も伊太利も共に貧しく人口過多である。共に耕地の不足及天然の資源の不足に悩まされてゐる。共に食料及工業原料の適當なる供給を缺乏してゐる。そして

兩國共地震の多きに苦められそして國中山岳が多い。然るに兩國共火山國に對する天の報償なる特異にして激しく感情を動かすが如き山水の美を賦與せられてゐる——この山水の美は丁度眼醒むる計り美しい。不拘束な。相手を魅する。そしてその上猶危険なる或る明快にして始末におへぬ女の美を思はしむるが如き美である。

㊦ despite 「……にも拘らず」。 their antidotal positions 「互に相手の足の裏を踏むの位地」則「東半球の人と西半球の人同志は antidotal positions である。伊太利と日本とは antidotal といふ程充分遠さかつておぬけれども先づ大きく斯う謂つたのだ。 antipodal の名詞形は antipodes といふ常に複數に書す。

524. 私はカイロに三箇月に垂んとする間滞在してゐたけれども尙殆んど何事も分らぬ。宛も同地に行かなかつたも同様である。

㊦ close upon (or on =nearly. might just as well..... 「……するも亦同じだ」。

525. 私は好奇心からアゼンスに行きましたのです。只見たかつたからです。それと同じ理由で贅澤な旅客を乗せて希臘列島を航海し回はる蒸汽快走船に傭人となつて乗り込んで航海したのでした。そして夏が來た時。アレキサンドリアへ投げるが如く下された。此は千八百九十年臺の話しで丁度埃及が復活し初めてゐる頃でした。當時のアレキサンドリアは逆も未だ今日のアレキサンドリアの様にはなつてゐなかつたが。それでも猶相當よいところであつた。私一箇としてはアレキサンドリアは嫌である——それは餘り歐洲臭い。餘りに東部地中海臭味を帶び過

ぎてゐて私の趣味に適せぬ。成程金を拵へたり。海水浴をなすには良い場所かも知れぬが。その他の方面から觀ればつまらぬ所だ。

㊦ out of curiosity 「好奇心より」。 to work one's passage 「船賃を拂ふ代りに船内で傭人となつて働いて彼岸に渡して貰ふ」。 steam yacht 「蒸汽機關を備へ付けたる快走船」。 dump 「塵箱から塵をどかんと投げ捨てる」。 in the nineties = the period between 1890—1899. It wasn't the place it's become since 「其は其が爾來 (since) なりたるが如き土地でなかつた」則「當時の其は今日の其には及びもつかなかつた」。 Levant はラテン語で東方の意で通常地中海東部歐阿亞の沿岸及嶋嶼地方を指すの語。 Levantine は是から出來た形容詞。 good spot to make money in 「金を作るにいい場所」この in に注意。 otherwise = in other points.

529. 凡此等は予の心に一つの驚異の念を與へたが。この驚異の念を脱却するのには永くかかつた (いつまでも頭に残つて去らなかつた)。

㊦ to outgrow = to grow out of 「……を脱する」「……を失ふに至る」。 out- を動詞の前に附して「勝つ」「制する」「凌ぐ」「超過する」の意味を與へる場合甚だ多い。二三の例を擧げると
outface 「睨めつけて閉口ます」
outfight 「勝ち敗る」
outlast (用例 It will not outlast six months.) 「……より長く續く」
outrun (用例 The thief outran the constable.) 「……よりも走り越す」
outshine 「……よりも強く輝く」
outstay 「……よりもあとに残る」
outlive (用例 He outlived his disrepute.) 「長く生きて——を失ふ」

527. 旅館の主人は余に支配人になつて呉れぬかと頼

んで来た。余はカイロの地が大して厭になつてゐなかつたので之を引受けた。そしてこの地の夏を我慢した後この地の冬を過しこの地を全部見、そしてその最もよい姿を見やうと思つた。

註 take on=undertake (work, responsibility) tired of 「……に飽く」「……が厭になる」 tired with 「……で疲れる」と對比せよ。 by a long chalk=by far 「非常に」。 stick=remain at home の意味で Are you going to stick indoors all day? の如く使ふ。それで stick out は「頑張る」「突つ張る」「我慢し通す」の意である。埃及の夏は随分酷熱なので斯う曰うたのだ。 at its best 「その最もよい處を」。

528. 彼は如何なる事柄にも關與することを欲した。それで誰かが彼の助を借りないで何か計畫を始めると彼は自分が當然有する権利を騙取せられた様に感じたのだ。

註 have a finger in 「……に干與する」。 defraud a person of 「……を騙り取る」。 one's dues 「某の當然受くべき権利」。

529. 私は一日の大部分を私の専用自務室に坐つて電話が掛つて來ると之に答へたり。帳簿をつけなどした。或は之に飽くと廣場に出掛けて馬丁や洗濯人や御者どもに聲を掛けて勵ましてやつたり。馬に注意したり馬車が眞新らしい位綺麗に掃除せられてチェーンと揃つてゐるやうにさせるのでした。

註 answer the telephone 「電話の問合せに答へる」丁度 answer a letter や answer a question の如く。 jolly up 「軽口など言つて氣を晴らしてやる」「元氣づけてやる」。 keep an eye upon (on) 「……に注意を與へる」。 turn out=assemble for duty 「勢揃へをする」「集合する」。 spick and span 「眞新しの」。

530. 私の小さな埃及人の友フアーミーは時々私と一緒に觀劇に行つたがこの男眼も耳も全然劇に集中して坐つてゐるのが常であつた。

註 all eyes and ears 「或る物を見聞せんために眼及耳を十二分に緊張して。則眼は出来るだけ視廻り耳は出来るだけ聴て」。

531. 或日私は電話で私が一度彼女に訪問を致したい旨を言つた。するとそれを聞いた彼女は恐慌をなして只管歎願的に訪問して來て呉れるなと頼んだ。

註 at that 「其を聲いて」。 take fright 「俄かに驚く」「恐慌を起す」。 stay away 「近寄らぬ」「離れた儘の位地にゐる」。

532. 余は當時若かつた。それでこの秘密の情話。これ等の媾曳きと内密話しなど深く我生活の内部に喰入つたのであつた。

註 tryst 「時と場所を定めての會合の約束」それで break tryst は「さういふ約束を破る」keep tryst は「同上を守る」。 eat one's way into 「……に深く喰ひ入る」。

533. 吾人が是非特筆せざるべからざる新しき重大なる事實は政府は明かに。若し彼等にしてこの際從來なし來りし以上に緊禪一番して政費を節減するに非んば耻辱の黒雲に包まれて辭職せねばならぬに至るだらうといふ事を實際に於て氣がついて來た事である。

註 are aware that 「……に氣が付いてゐる」aware の次に名詞が伴ふ時には of を間におく。 pull yourself together 「緊禪一番せよ」。 go out of office 「退職する」。

534. 一般公衆は石炭罷業に關して言葉の奔流や虚實相錯れる統計の泉（滔々たる懸河の如き雄辯や嘘半分眞實半分の尨大なる統計的數字）に惱まされて今

では全く心が混亂してゐる。人々は何故我等は恐ろしき奈落の懸崖に持來されたのかを問うてゐる。そして問ふのも尤もである。人々は何處といつて精確に名指し得ないけれども儘かに何處かで。我等は道を曲りそこなつたに相違ないのだと感じてゐる。何となればこのやうに危険の多いそして恐らく救済の途なき大災害の外に何の落ち着きどころとてなき道を通るの要がある筈がなかつたのだ。

㊦ **torrents of words** 及 **waterspouts of statistics** は共に言論や統計の擧示の類りに行はれることを斯く形容したのだ。**real and imaginary** 「眞實のもあり架空的のもの則嘘偽のものもある」**statistics** を **modify** してゐる。**in regard to** 「……に關して」。**and no wonder** 之は挿句で「そして其は尤な話だが」の意。**abyss=bottomless pit. somewhere or other** 「何處かで」。**take the wrong turning** 「路を曲る時違つた方向へ曲がること。路を踏み違へる事」。**with one** の **one** は **path**.

535. この理由を最も飾りなき語にして言へば斯うだ吾人は經濟狀態の許す以上の賃金を支給し得るかの如く装ほつてゐたのだ。其がこの事件全體の本統の骨子なのだ。

㊦ **reduced to its lowest terms** 「最も低き(則ち飾り氣のなき平易な。highest の反對) 言辭に煎じ詰めて言へば」。**the long and short of** 「……の概要」「……の大略」。之に似た **to make a long story short** といふ **absolute phrase** がある「手短かに言へば」の意。

536. 人は一時の間そして一の定まつた目的のために經濟學の法則に打克つことが出来るけれども其だからと言つて經濟學の法則を變じたのでない事宛も人

が高跳びをしたり手を以て鞅韉に捕まつて相當の時間の間身體と地をはなれて揺り動かし得るからと言つて。それがために引力の法則が變更せしめられたと言ひ得ないと同様である。

㊦ **hold on to** 「……に嚙りつく」。

537. 幸ひ。この代表委員等は盡く英國生れで英國育ちであるから。彼等の血管中にはゆつくり急ぐの氣分が流れてゐる。

㊦ **be of British birth** 「英國生れである」この形で **He is of low birth** 「彼は卑賤の出である」。**have it** の **it** はあとの **to hasten slowly** を受ける。**Hasten slowly** は英國の諺であつて「靜かに急げ」則我「急がば廻はれ」に匹敵す。

538. 各帝國領土が満足に代表議員を出してゐないとすれば税金を納めることを要求せられるのは妥當ではない。「議員の選出なくんば納税の義務なし」とは聯合王國に對すると同様に帝國に對しても合理的の法則である。

㊦ **the Dominions** は英國の南阿。カナダ。濠洲等の在外帝國領を指す。**be represented** 「議會に議員を送る」。**cannot with decency be asked** 「妥當を以て要求せられ得ぬ」則「……を要求するは妥當に非ず」。「**No taxation without representation**」は今の合衆國が百五十年前英國の羈絆を脱した時の **motto** である。**the empire** は茲では英本國にその凡ての屬領を加へた總體の國。**the United Kingdom** はイングランド。ウェールス。スコットランド及アイルランドの四國の合したる王國則英本國の事。

539. 新任委員の仕事は帝國國防委員に依りて爲さるべく考へられてゐて。しかも彼等が多くの他の喫緊なる用事を控へた人々より成つてゐるため自然逐行

するの時間がなかつた事柄を處理するにある。

④ **Committee** は幾名かの委員總體をさす。委員の各一人宛は **one of the committee** か **a member of the committee**。或は **He is on the committee** といふ。formed as it is of 「何しろ.....より成り立つてゐるものだから」。 **irons in the fire** 「捨てゝおけぬ事柄」こゝでの **irons** は鋏 (着物などに火熨斗をするための) の意。

540. この頃の様には勞働賃の高い世の中では外觀の體裁を保つ事などは暫く措き、家の屋根を雨の漏らぬ様にすること位の事でも、ほんの數年前ならば信せられぬ位の法外な額と思はれた金額を支拂はねばならぬ。

④ **dear labor** 「勞銀の高いこと」。 **Keep the roof water-tight** 「屋根を雨漏らぬに保つこと」。 **tight** は「.....の通らぬ」「.....の這入る隙のない」の意の **suffix** に使はれる。次の例

air-tight (空氣の入らぬ)

gas-tight (瓦斯が漏れぬ)

water-tight (水が漏らぬ)

wind-tight (風が入らぬ)

let alone 「.....は別として」。

541. 序ながら言ふが、見苦しい事を我慢する人々やら體裁を保たんが爲めには如何なる勞働をも辭せぬ人々やらで家屋裝飾業者及その傭人等は今や破滅に頻しつゝある。

④ **Incidentally** 「序でだから言ふが」。 **what with = partly with** 「幾部分.....のために」則「.....やら.....やらで」。 **put up with** 「.....を我慢する」。 **smartness** 「氣の利いた小ざつぱりとした服装をなしぬる事。或は洒落た家を構へてゐること」。 **in a fair way to** 「八九分通りは.....する」他の一例

He is at at last last in a fair way to succeed.

(彼は漸く成功の途に就いた)。

542. 普通の小さな住宅の所有者等の場合に於ては、家が今にも上から倒れて來るのを防ぐが如き場合を除くの外、その他の修繕は一切見合はさなくてはならぬ。

④ **other than** 「.....以外の」。 **do without** 「なしに濟ます」他の一例

I cannot do without my dictionary even for a minute. (假令一分間でも辭書がないとやり切れぬ)。

543. 世にかういふ説をなすものがある則ち毎三十年目に世人は一回戦争をしなくては承知しないと。この大膽なる皮肉を換言すれば一大戦争を戦ひたる國家が國力を恢復し之を忘るるに三十年を要する譯である。

④ **generation** は人が生きて子を産むに至る位の間を言ふ通例一世紀の三分の一となす。 **cynicism** 「皮肉な言ひ草」。

544. 鐵道が村の中を貫いて走るやうになると、その村の周圍の社會と接觸せしめその村の發達を促進することになる。若し一大工場でもその村にあるとか石油井を掘り中てるとか鑛泉でも發見さるゝとかの事があれば眠れる村は眼醒めるのだ。成程都市は生き物だから自然成長はするが都市には由つて以て生活すべき何物かを有せねばならぬ。單に人口が多いからと言つて其で都市を成すとは言へぬ。

④ **put it in touch with** 「.....と接觸させる」。 **oil struck = if oil is struck there**。 **to strike oil** とは「堀抜井戸を掘り中てる様な装置で石油の有り場所を探し回らつて掘り中てること

」。 *medical spring* 「鑛泉にして病氣を治す力のあるもの」。
to live on..... 「.....を糧として生活する」。 *something on which to live* 「由つて以て生きて行くべき生活の資料」。

545. ある癌腫に関する説明的記事を讀んだことがあるが其に斯ういふことが書いてあつた 則ち その物は初めは無害で且成長の鈍きものであるが何物かが之を刺戟して面白からぬ活動を開始させると、其は狂的に増殖してあまりに成長が速かなるために其自身の内部に向つて反噬するに至るのだそして癌罹病者を倒す毒素を發生するのは實はこの壓潰された癌腫内部の組織である。

㊦ *start something into zeal* 「今迄眠つてゐた 或物を刺戟して元氣を出させる」。茲に *unholy zeal* としたのは この場合活氣を呈して呉れるのは有難からざる事柄だからである。

546. 一日の最初の食事は日の出と正午との中間に食べるこの時の食事で彼等は飽くまで食べる。そして空腹が迫つて來て食べざるを得ないやうになるまでは其以外一日の中何も食べない。

㊦ *eat to satiety* 「飽くまで食べると」。

547. 私がこの地で大なり小なり關係した凡ての田園使用黒人の内で一人として如何なる場合にも眞實を語り得るものを見たことがない。陋劣な一種の狡猾は彼等の通有性である。彼等は他人を欺くことを以て褒むべきことだと考へてゐる。彼等は不正直にすることが自分の利益だと考へる時には正直を装ほふことすらしないのみか露骨に嘘をついてゐるんだといふことを公言する。

㊦ *have something to do with a person* 「..... 交渉がある」 「關係がある」。 *negroes I have had anything to do with* の *with* は省かれてゐる *negroes* の次の *whom* をあとに隨へべき處で「大なり小なり多少の關係のあつた黒人達」。 *a prevailing trait* = *a common trait* 「通有性」。 *pull the wool over the other fellow's eyes* 「他人を欺く」。 *make a pretence of* 「.....の風を装ほふ」。

548. 私の田園使用黒人等の美點の一は彼等が殆んど遺恨を含まぬことだ。但しこれは大部分彼等の對白人關係に於てある。どの植民者でも屹度數多の割切なる例話を挙げ得ざるは無い。田園使用黒人の記憶は恩讐二つながら捕へてをることが出来ないやうに見える。

㊦ *harbor revenge* 「遺恨を胸にためておく」「恨みを含んでゐる」 *for the most part* 「大部分は」。 *applies to* 「當てはまる」。 *not a planter but can* = *not a planter that can not*. *cases in point* 「割切なる場合」「上の語しに丁度あてはまる場合」。 *lose grip on* 「.....の把握を失ふ」「放す」。

549. 永年に亘つての古い怨みは暴行を誘ひ出すこともある。

㊦ *of years' standing* 「永年續いてゐる」。 *lead to* 「その結果として.....に立至る」。

550. 只一つ儲かな事があるそれは何にもせよ黒人が之が善いものだと氣に入つたものがあれば金の算段がつく限り必ず之を買ふ。是故に國中到る處に平氣の平左でやつてゐるあの詐欺がある譯だ。

㊦ *take a fancy to*..... 「.....が氣に入る」「.....が好きになる」。 *raise the money* 「金を才覺する」「金を苦面する。調達する」。

551. 彼等にとりては習慣といふ古い踏み馴れた道か

らわきへ外れるといふことは全く未知の者に會ふのと同じ感がするらしい。彼等は古きを捨てて新しきを採用するに當りて、まさか眞の苦痛といふ程でなくとも恐怖とか心配とかの感情が起きるのである。

㊦ deviate from 「……より離れて岐路に入る」「わきへそれる」。
old and tried path 「古きそして萬人に試されたる道」。
if not 「假令……では無くとも」。
lay aside 「棄てる」。

552. ジョン・ビルダーは彼の家族全體に對して、暴君振を發揮してゐる。彼の妻は堪へ難き程度にまで窘められてゐて彼の二人の娘は父に對して反逆をしてゐる。年下の方の娘の如きは最近父に對して警察裁判の告訴を提起した其の理由は父親が棒で以て彼女を殴打するまでの事すらしたといふにあるのだ。

㊦ tyrannise over 「……に對して虐政を行ふ」。
beyond endurance 「忍び難き迄に」。
be in revolt 「反逆をする」。
go the length of ……ing 「……をする程の事までやる」。

553. さりながら彼女の豊かな聲は朗かに管絃樂の上に響き渡り、そして音樂に渴望せる會堂の遠き隅々をたつぷりした。音量で以て満たしたのでした。管絃樂の最終の樂曲が消え去るや否や聽衆は割れるが如き喝采を放つた。そしていつもやる如くに同じものをもつとやつて貰ふことを所望した。彼女は度々呼び戻されて舞臺に現はれたのだその度毎に彼女の黒いガウンの黒玉のバリエットが光に中つて絶間なしにピカピカ輝いた。そして彼女が感謝の意を表して辭儀をした時ユラユラと揺めいたのであつた。

㊦ boom 「響き渡る」。
the avid auditorium 「熱心に渴望せる會堂(會衆の意)」。
broke into applause 「一時にど一つと喝

采をする」。
die out 「音樂の音曲が徐々に消えゆくさま」。
paillettes 「婦人服上衣につけたる飾り」。
came into view 「面前に現はれた」。
corsage 「コルサーヂ」則婦人の胸衣。
bow her thanks 「謝意を表するためにお辭儀をする」。

554. 家庭の琵琶(一種の六絃琴)には何の罅隙もなかつた(琴瑟相和してゐた)。ハーロツク夫婦は歌劇雜俎の記録に戯談半分に斯業者中の模範的夫婦だと呼ばれた。

㊦ a rift within the lute 「不和の兆」。この成句を應用して any rift in the domestic lute としたのだ。small beer 「アルコール分の極く微弱な麥酒」それより「瑣々たる事柄」。かういふ phrase がある think no small beer of 「……のことを軽くは考へぬ、尊重してゐる」。
the Darby and Joan この兩人は實際英國に存した(Darby は John Darby と稱し 1730年死亡妻は Joan) 夫婦相和の龜鑑として後世に名高い。Henry Woodfall なる者この兩人のことを詩に歌つてゐる。profession 茲ではその職業に従事する人々といふ集合名詞。

555. 彼女は到る處で音樂會を催した。そして平和時代として儲け得る以上の金を儲けた。

㊦ the piping times of peace 「泰平の時代」。
the piping time of peace とも言ふ。yield 「産する」。

556. 彼は實際己の時間を最上階の自分の書齋の中とリムジーン型自働車の中とで過ごした。その自働車では彼は毎日午後子供等を伴れて、セントラルパークを通りリヴァーサイドド、ライヴへ乗り廻はすのでした。所が彼は兎角自働車の中よりも書齋の中の方が面白いやうに見えるからと言つて其が彼の父親の情に於ける瑕瑾ではない。

㊦ reflection on 「批難を招く事柄」。
interested in 「……に興

味を覺ゆる」。Central Park 及 Riverside Drive 皆 New York にある。

557. 現今の老人達は今日程社會の正業を有し責任を有する人々が年少の人々の幾多の無政府的思想及怖るべき行動に對して論難せざるべからざりし事は未だ嘗てなかつたと信じてゐる。彼等老人の言へるに、どの時代だつて今日程無分別な叛逆的な青年の處置如何の問題を有したことは嘗てない。

註 are convinced that.....「.....を確信してゐる」。established and responsible members of society「社會に定業を有し自己の行動及子弟後進の徒等の言動に對して責任を有する人達」。remoustrate「論難する」。younger generation「第二の國民」「年若き連中」。have on one's hand「抱へ込んでゐる」「脊負ひ込む」。

558. 彼女は言つた「本統にラルフさんは甚ど過ぎるわ。實際甚どいわ。妾はあの方にアエタ。クラークさんをあの方の自働車で送つて頂かうと當てにしてゐましたのです。それにあの方は來て下さらないのだもの。もう一つ困つた事にはアエタ。クラークさんは足首を踏み違へて殆んど一足も歩けないのですもの」。

註 It's too bad of Ralph「ラルフは甚だ悪い」。この It is + adjective + of a person 構造注意。例

It is very kind of you to say so.

it really is=it really is too bad of Ralph.

count on「あてにする」。put in an appearance「其場にやつて來る」。To cap the climax「頂上に帽子を着せることには」則「更に困つたことには」to make matters worse と同義。

559. 「それにどうして私はミス・エリー・ローズなりその他の方に戀などが出来ませう。私の場合が何分……」。彼は言葉を言ひ終らず口を噤んだ。然し彼の雄辯なる茶色の眼は言ふに勝る無量の意味を述べてゐた。

註 make love to「.....に戀をしかける」。leave unfinished「中途でおく」。the look in his eyes spoke volumes「眼は深き意味を述べた」。

560. 吾人の所謂過去と稱するものの寄木細工を構成する凡ての際立つ特徴の内私に私が捕兎器の仕掛けてあるところへ出掛けるために規則正しく夜の明けるずつと前に寢床から飛び出すのを常としたあの寒い冬の朝程鮮明に記憶してゐる事柄がない。

註 salient features「際立つ特徴」。make up「構成する」。what we call「吾人の所謂」。tumble out of bed「ころぶが如くに寢臺より起き出でる」。

561. 熱心なる協同の仕事並に遊びの御蔭で十一月の婚禮日迄には我等兩人は各々相手の氣質及性癖に關しては相當の理解を有せざるもの殆んどなき程になつた。

註 By virtue of「.....の効果によりて」「.....のお蔭で」。work and play together「この兩人は結婚前に於て共同の事業に従事しそして遊ぶ時には一緒に遊んだので」。by our wedding date「結婚日までには」。there was little「殆んど少しもなかつた」。have an inkling of「.....に就き多少の智識を有する」。inkling=a hint; a slight knowledge. as concerned=as regards.

562. ジャックは常に嫉妬なる感情は未だ起した事がないと公言した。そして嫉妬の情は劣等なる獸性な